

大学番号：公010

[平成30年度設置]

計画の区分：大学の設置

認可

公立小松大学

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人公立小松大学
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務課

職名・氏名 カカリイン アオキ
係員 青木 あい

電話番号 0761-23-6600

（夜間） 0761-23-6600

F A X 0761-48-3248

e-mail soumu@komatsu-u.ac.jp

- （注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

- 3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

生産システム科学部

＜生産システム科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	32
7. その他全般的事項	33

保健医療学部

＜看護学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	37
2. 授業科目の概要	42
3. 施設・設備の整備状況、経費	52
4. 既設大学等の状況	53
5. 教員組織の状況	54
6. 附帯事項等に対する履行状況等	74
7. その他全般的事項	76

＜臨床工学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	81
2. 授業科目の概要	85
3. 施設・設備の整備状況、経費	93
4. 既設大学等の状況	94
5. 教員組織の状況	95
6. 附帯事項等に対する履行状況等	111
7. その他全般的事項	113

国際文化交流学部

<国際文化交流学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	117
2. 授業科目の概要	121
3. 施設・設備の整備状況、経費	133
4. 既設大学等の状況	134
5. 教員組織の状況	135
6. 附帯事項等に対する履行状況等	151
7. その他全般的事項	154

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

公立大学法人公立小松大学

(2) 大 学 名

公立小松大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒923-0921
石川県小松市土居原町10-10
〒923-8511
石川県小松市四丁町ヌ1-3

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(イシダ ヒロト) 石田 寛人 (現職就任30年4月)		
学 長	(ヤマモト ヒロシ) 山本 博 (現職就任30年4月)		
学 部 長	(キムラ シゲオ) 木村 繁男 (現職就任30年4月)		
学科長等	(キムラ シゲオ) 木村 繁男 (現職就任30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」
令和元年度に報告する内容 → (元)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
生産システム科学部 生産システム科学科 学士(工学)	工学関係	4年	80人	— 年次	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から報 告年度までの平 均入学定員超過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— () []	—	— () []	—	— () []	—	80人 (—) —	人	80人 (—) —	人	1.01倍	—	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	400 (—) [—]	— (—) [—]	422 (—) [—]	— (—) [—]			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	305 (—) [—]	— (—) [—]	240 (—) [—]	— (—) [—]			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	193 (—) [—]	— (—) [—]	113 (—) [—]	— (—) [—]			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	80 (—) [—]	— (—) [—]	83 (—) [—]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A	—		—		—		1		1.03				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成 2 7 年度		平成 2 8 年度		平成 2 9 年度		平成 3 0 年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	80 [—] (—)	— [—] (—)	83 [—] (—)	— [—] (—)	
2 年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	79 [—] (—)	— [—] (—)	
3 年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4 年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計			— [—] (—)				— [—] (—)		80 [—] (—)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
平成27年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
平成28年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
平成29年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
平成30年度	80 人	1 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	1 人	0 人	・その他(一身上の都合)(1人)
令和元年度	162 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		1 人		1 人	0 人	

・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)

・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{\text{---}}{\text{---}} = \boxed{\text{\#VALUE!}} \%$$

【平成28年度】

・通信教育課程の開設の場合:「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

平成28年度の退学者数(a)	=	—	=	#VALUE!	%
平成28年度の在学者数(b)	=	—	=		

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{\text{---}}{\text{---}} = \boxed{\text{\#VALUE!}} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{80} = \boxed{1.25} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{162} = \boxed{0} \%$$

6

2 授業科目の概要

<生産システム科学部 生産システム科学科>

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通教育科目	導入科目	キャリアデザイン・チーム論Ⅰ	1前	1		1					14
		アカデミック・スキルズ	1前	1							
		テーマ別基礎ゼミ	1後	2		13	4		2		
		情報処理基礎	1前	2		2	3				
		南加賀の歴史と文化	1後	2							
		小計(5科目)	-	8	0	0	13	4	0	2	
	一般科目(人間力)	哲学	1前	2							1
		心理学	1前	2							1
		人間の発達と心	1前	2							1
		日本の伝統芸能	1前	2							1
		人文地理学	1後	2							1
		文化人類学	1後	2							1
		医療と文化	1後	2							1
		文章表現法	1後	2							1
		言葉と文化	1後	2							2
		小計(9科目)	-	0	18	0	0	0	0	0	8
	一般科目(社会力)	日本産業史	1前	2		4					9
		自然資源と環境問題	1前	2							
		経済学	1前	2							
		政治学	1後	2							
		社会学	1後	2							
		公共政策論	1後	2							
		社会福祉論	1後	2							
		日本国憲法	1前	2							
		小計(8科目)	-	0	16	0	4	0	0	0	
	一般科目(科学力)	データ科学と社会	1前	2		3					3
		情報処理応用A	1後	2			2				
		情報処理応用B	1後	2							
		クリティカルシンキング	1後	2							
		統計学	1前	2		1					
		現代科学技術論	1前	2		5					
		小計(6科目)	-	0	12	0	7	2	0	0	
	一般科目(健康と体力)	健康と体の科学	1前	2							3
		スポーツ演習(バレーボール)	1前・後	1							
		スポーツ演習(硬式テニス)	1前	1							
		スポーツ演習(フットサル)	1前・後	1							
		スポーツ演習(卓球)	1後	1							
		スポーツ演習(バドミントン)	1前・後	1							
		小計(6科目)	-	0	7	0	0	0	0	0	
	英語科目	英語Ⅰa	1前	2							5
		英語Ⅰb	1前	2							3
		英語Ⅱa	1後	2							3
		英語Ⅱb	1後	2							4
		英語Ⅲ	1後	2							1
		英会話Ⅰ	1後	2							1
		英会話Ⅱ	1後	2							1

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通教育科目	導入科目	キャリアデザイン・チーム論Ⅰ	1前	1		1					14
		アカデミック・スキルズ	1前	1							
		テーマ別基礎ゼミ	1後	2		13	4		2		
		情報処理基礎	1前	2		2	3				
		南加賀の歴史と文化	1後	2							
		小計(5科目)	-	8	0	0	13	4	0	2	
	一般科目(人間力)	哲学	1前	2							1
		心理学	1前	2							1
		人間の発達と心	1前	2							1
		日本の伝統芸能	1前	2							1
		人文地理学	1後	2							1
		文化人類学	1後	2							1
		医療と文化	1後	2							1
		文章表現法	1後	2							1
		言葉と文化	1後	2							2
		小計(9科目)	-	0	18	0	0	0	0	0	8
	一般科目(社会力)	日本産業史	1前	2		4					9
		自然資源と環境問題	1前	2							
		経済学	1前	2							
		政治学	1後	2							
		社会学	1後	2							
		公共政策論	1後	2							
		社会福祉論	1後	2							
		日本国憲法	1後	2							
		小計(8科目)	-	0	16	0	4	0	0	0	
	一般科目(科学力)	データ科学と社会	1後	2		3					3
		情報処理応用A	1後	2			2				
		情報処理応用B	1後	2							
		クリティカルシンキング	1後	2							
		統計学	1後	2		1					
		現代科学技術論	1前	2		5					
		小計(6科目)	-	0	12	0	7	2	0	0	
	一般科目(健康と体力)	健康と体の科学	1前	2							3
		スポーツ演習(バレーボール)	1前・後	1							
		スポーツ演習(硬式テニス)	1前	1							
		スポーツ演習(フットサル)	1前・後	1							
		スポーツ演習(卓球)	1後	1							
		スポーツ演習(バドミントン)	1前・後	1							
		小計(6科目)	-	0	7	0	0	0	0	0	
	英語科目	英語Ⅰa	1前	2							6
		英語Ⅰb	1前	2							3
		英語Ⅱa	1後	2							3
		英語Ⅱb	1後	2							4
		英語Ⅲ	1後	2							1
		英会話Ⅰ	1後	2							1
		英会話Ⅱ	1後	2							1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
英語科目 共通教育科目 その他外国語科目	実用英語Ⅰ	1前・後			2						1
	実用英語Ⅱ	1前・後			2						1
	実用英語Ⅲ	1前・後			2						1
	実用英語Ⅳ	1前・後			2						1
	小計(11科目)	－	8	6	8	0	0	0	0	0	11
	中国語Ⅰ	1前		2							1
	中国語Ⅱ	1後		2							1
	フランス語Ⅰ	1前		2							1
	フランス語Ⅱ	1後		2							1
	ドイツ語Ⅰ	1前		2							1
	ドイツ語Ⅱ	1後		2							1
	ロシア語Ⅰ	1前		2							1
	ロシア語Ⅱ	1後		2							1
	スペイン語Ⅰ	1前		2							1
	スペイン語Ⅱ	1後		2							1
	小計(10科目)	－	0	20	0	0	0	0	0	0	5
専門基礎科目	応用数学Ⅰ	1前	2			1					
	工業数学	1前	2			1					
	応用物理学	1前	2			1					
	工学力学	1後	2			1					
	プログラミングⅠ	1後	2			1	1				
	材料力学及び演習	2前	2			1					
	工業熱力学及び演習	2前	2			1					
	流れ学及び演習	2前	2			1					
	電気回路及び演習	2前	2			1					
	振動工学及び演習	2後	2			1					
	小計(10科目)	－	20	0	0	8	2	0	0	0	0
専門共通科目	数値解析	2後	2			1					
	技術英語Ⅰ	2後	2								1
	技術者倫理	2後	2			2					
	機械設計製図Ⅰ	2後	2			2	1		1		
	生産工学	3前	2			1					
	ロボット機構学	3前	2			1	1				
	技術英語Ⅱ	3前	2								1
	機械設計製図Ⅱ	3前	2			2			2		
	機械工作実習	3前	1			3	1		2		
	機械電気工学実験Ⅰ	3前	1			5	2		2		
	生産技術	3後	2			1					
	課題探求プロジェクト	3後	1			13	4		2		
	技術英語演習Ⅰ	3後	1								1
	機械電気工学実験Ⅱ	3後	1			4	3		1		
	学外技術体験実習A	3前・後		1		1					
	学外技術体験実習B	3前・後		2		1					
	課題研究ゼミナール	4前	1			13	4		2		
	技術英語演習Ⅲ	4前	1								1
	卒業研究	4通	8			13	4		2		
	小計(19科目)	－	33	3	0	13	4	0	2	0	1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
英語科目 共通教育科目 その他外国語科目	実用英語Ⅰ	1前・後									1
	実用英語Ⅱ	1前・後									1
	実用英語Ⅲ(未開講)	1前・後			2						1
	実用英語Ⅳ(未開講)	1前・後			2						1
	小計(11科目)	－	8	6	8	0	0	0	0	0	10
	中国語Ⅰ	1前		2							1
	中国語Ⅱ	1後		2							1
	フランス語Ⅰ	1前		2							1
	フランス語Ⅱ	1後		2							1
	ドイツ語Ⅰ	1前		2							1
	ドイツ語Ⅱ	1後		2							1
	ロシア語Ⅰ	1前		2							1
	ロシア語Ⅱ	1後		2							1
	スペイン語Ⅰ	1前		2							1
	スペイン語Ⅱ	1後		2							1
	小計(10科目)	－	0	20	0	0	0	0	0	0	5
専門基礎科目	応用数学Ⅰ	1前	2			1					
	工業数学	1前	2			1					
	応用物理学	1前	2			1					
	工学力学	1後	2			1					
	プログラミングⅠ	1後	2			1	1				
	材料力学及び演習	2前	2			1					
	工業熱力学及び演習	2前	2			1					
	流れ学及び演習	2前	2			1					
	電気回路及び演習	2前	2			1					
	振動工学及び演習	2後	2			1					
	小計(10科目)	－	20	0	0	8	2	0	0	0	0
専門共通科目	数値解析	2後	2			1					
	技術英語Ⅰ	2後	2								1
	技術者倫理	2後	2			2					
	機械設計製図Ⅰ	2後	2			2	1		1		
	生産工学	3前	2			1					
	ロボット機構学	3前	2			1	1				
	技術英語Ⅱ	3前	2								1
	機械設計製図Ⅱ	3前	2			2			2		
	機械工作実習	3前	1			3	1		2		
	機械電気工学実験Ⅰ	3前	1			5	2		2		
	生産技術	3後	2			1					
	課題探求プロジェクト	3後	1			13	4		2		
	技術英語演習Ⅰ	3後	1								1
	機械電気工学実験Ⅱ	3後	1			4	3		1		
	学外技術体験実習A	3前・後		1		1					
	学外技術体験実習B	3前・後		2		1					
	課題研究ゼミナール	4前	1			13	4		2		
	技術英語演習Ⅲ	4前	1								1
	卒業研究	4通	8			13	4		2		
	小計(19科目)	－	33	3	0	13	4	0	2	0	1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 科 目	応用数学Ⅱ	1後		2		1					1
	複素解析	1後		2		1					
	化学入門	1後		2							
	統計・確率論	2前		2		1					
	エレクトロニクス概論	2前		2		1					
	プログラミングⅡ	2前		2		1					
	機械加工学	2後		2		1					
	電気制御学	2後		2		1					
	機械材料学	2後		2		1					
	機械要素設計	2後		2		1					
	エネルギー資源と開発	2後		2		1					
	アルゴリズム論	2後		2		1					
	応用電磁気学	2後		2		1					
	環境適合技術論	3前		2		1					
	制御工学	3前		2			1				
	電子回路	3前		2			1				
	情報科学概論	3前		2		1					
	データベース論	3前		2		1					
	資源有効利用学	3後		2		1					
	人工知能	3後		2		1					
	電気機器工学	3後		2			1				
	画像認識論	3後		2			1				
	データマイニング	3後		2		1					
	地球環境と環境流体	4前		2		1					
	センサと通信	4前		2		1					
	インテリジェント生産システム	4前		2		1					
	小計(26科目)	-	0	52	0	11	3	0	0	0	1
合計(110科目)		-	69	134	8	13	4	0	2	0	45
卒業要件及び履修方法											
1 共通教育科目(計38単位以上) (1)導入科目 必修8単位 (2)一般科目 人間力6単位以上、社会力6単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上 (3)英語科目 必修8単位 (4)(1)～(3)で履修した科目以外から5単位以上 2 専門科目(計86単位以上) (1)専門基礎科目 必修20単位 (2)専門共通科目 必修33単位、選択必修1単位以上 (3)専門科目(コース別) 専門分野別に生産機械コース、知能機械コースの2つを設け、 コース必修科目8単位及び選択科目24単位以上の計32単位以上 【生産機械コース選択者】 ・コース必修科目8単位 「機械加工学」「電気制御学」「資源有効利用論」「地球環境と環境流体」 ・選択科目から24単位以上を選択 【知能機械コース選択者】 ・コース必修科目8単位 「アルゴリズム論」「制御工学」「人口知能」「センサと通信」 ・選択科目から24単位以上を選択 以上、共通教育38単位以上、専門科目86単位以上、合計124単位以上 3 履修単位の登録の上限 48単位(年間)											

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 科 目	応用数学Ⅱ	1後		2		1					1
	複素解析	1後		2		1					
	化学入門	1前		2							
	統計・確率論	2前		2		1					
	エレクトロニクス概論	2前		2		1					
	プログラミングⅡ	2前		2		1					
	機械加工学	2後		2		1					
	電気制御学	2後		2		1					
	機械材料学	2後		2		1					
	機械要素設計	2後		2		1					
	エネルギー資源と開発	2後		2		1					
	アルゴリズム論	2後		2		1					
	応用電磁気学	2後		2		1					
	環境適合技術論	3前		2		1					
	制御工学	3前		2			1				
	電子回路	3前		2			1				
	情報科学概論	3前		2		1					
	データベース論	3前		2		1					
	資源有効利用学	3後		2		1					
	人工知能	3後		2		1					
	電気機器工学	3後		2			1				
	画像認識論	3後		2			1				
	データマイニング	3後		2		1					
	地球環境と環境流体	4前		2		1					
	センサと通信	4前		2		1					
	インテリジェント生産システム	4前		2		1					
	小計(26科目)	-	0	52	0	11	3	0	0	0	1
合計(110科目)		-	69	134	8	13	4	0	2	0	44
卒業要件及び履修方法											
1 共通教育科目(計38単位以上) (1)導入科目 必修8単位 (2)一般科目 人間力6単位以上、社会力6単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上 (3)英語科目 必修8単位 (4)(1)～(3)で履修した科目以外から5単位以上 2 専門科目(計86単位以上) (1)専門基礎科目 必修20単位 (2)専門共通科目 必修33単位、選択必修1単位以上 (3)専門科目(コース別) 専門分野別に生産機械コース、知能機械コースの2つを設け、 コース必修科目8単位及び選択科目24単位以上の計32単位以上 【生産機械コース選択者】 ・コース必修科目8単位 「機械加工学」「電気制御学」「資源有効利用論」「地球環境と環境流体」 ・選択科目から24単位以上を選択 【知能機械コース選択者】 ・コース必修科目8単位 「アルゴリズム論」「制御工学」「人口知能」「センサと通信」 ・選択科目から24単位以上を選択 以上、共通教育38単位以上、専門科目86単位以上、合計124単位以上 3 履修単位の登録の上限 48単位(年間)											

【平成30年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通教育科目	導入科目	キャリアデザイン・チーム論Ⅰ	1前	1			1					14
		アカデミック・スキルズ	1前	1								
		テーマ別基礎ゼミ	1後	2		13	4		2			
		情報処理基礎	1前	2		2	3				1	
		南加賀の歴史と文化	1後	2							1	
		小計(5科目)	－	8	0	0	13	4	0	2	0	16
	一般科目（人間力）	哲学	1前		2							1
		心理学	1前		2							1
		人間の発達と心	1前		2							1
		日本の伝統芸能	1前		2							1
		人文地理学	1後		2							1
		文化人類学	1後		2							1
		医療と文化	1後		2							1
		文章表現法	1後		2							1
		言葉と文化	1後		2							2
		小計(9科目)	－	0	18	0	0	0	0	0	0	8
	一般科目（社会力）	日本産業史	1前		2		4					1
		自然資源と環境問題	1前		2							
		経済学	1前		2							2
		政治学	1後		2							2
		社会学	1後		2							1
		公共政策論	1後		2							1
		社会福祉論	1後		2							1
		日本国憲法	1後		2							1
		小計(8科目)	－	0	16	0	4	0	0	0	0	9
	一般科目（科学力）	データ科学と社会	1後		2		3					1
		情報処理応用A	1後		2			2				
		情報処理応用B	1後		2							
		クリティカルシンキング	1後		2							1
		統計学	1後		2		1					1
		現代科学技術論	1前		2		5					
		小計(6科目)	－	0	12	0	7	2	0	0	0	3
	一般科目（健康と体力）	健康と体の科学	1前		2							2
		スポーツ演習（バレーボール）	1前・後		1							1
		スポーツ演習（硬式テニス）	1前		1							1
		スポーツ演習（フットサル）	1前・後		1							1
		スポーツ演習（卓球）	1後		1							1
		スポーツ演習（バドミントン）	1前・後		1							1
		小計(6科目)	－	0	7	0	0	0	0	0	0	3
		英語科目	英語Ⅰa	1前	2							
	英語Ⅰb		1前	2								3
	英語Ⅱa		1後	2								3
	英語Ⅱb		1後	2								4
	英語Ⅲ		1後		2							1
	英会話Ⅰ		1後		2							1
	英会話Ⅱ		1後		2							1
小計(8科目)	－		0	14	0	0	0	0	0	0	21	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 科 目	応用数学Ⅱ	1後		2		1					
	複素解析	1後		2		1					
	化学入門	1前		2							1
	統計・確率論	2前		2		1					
	エレクトロニクス概論	2前		2		1					
	プログラミングⅡ	2前		2		1					
	機械加工学	2後		2		1					
	電気制御学	2後		2		1					
	機械材料学	2後		2		1					
	機械要素設計	2後		2		1					
	エネルギー資源と開発	2後		2		1					
	アルゴリズム論	2後		2		1					
	応用電磁気学	2後		2		1					
	環境適合技術論	3前		2		1					
	制御工学	3前		2			1				
	電子回路	3前		2			1				
	情報科学概論	3前		2		1					
	データベース論	3前		2		1					
	資源有効利用学	3後		2		1					
	人工知能	3後		2		1					
	電気機器工学	3後		2			1				
	画像認識論	3後		2			1				
	データマイニング	3後		2		1					
	地球環境と環境流体	4前		2		1					
	センサと通信	4前		2		1					
	インテリジェント生産システム	4前		2		1					
	小計(22科目)	-	0	52	0	11	3	0	0	0	1
合計(110科目)		-	69	134	8	13	4	0	2	0	45
卒業要件及び履修方法											
1 共通教育科目(計38単位以上) (1)導入科目 必修8単位 (2)一般科目 人間力6単位以上、社会力6単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上 (3)英語科目 必修8単位 (4)(1)～(3)で履修した科目以外から5単位以上 2 専門科目(計86単位以上) (1)専門基礎科目 必修20単位 (2)専門共通科目 必修33単位、選択必修1単位以上 (3)専門科目(コース別) 専門分野別に生産機械コース、知能機械コースの2つを設け、 コース必修科目8単位及び選択科目24単位以上の計32単位以上 【生産機械コース選択者】 ・コース必修科目8単位 「機械加工学」「電気制御学」「資源有効利用論」「地球環境と環境流体」 ・選択科目から24単位以上を選択 【知能機械コース選択者】 ・コース必修科目8単位 「アルゴリズム論」「制御工学」「人工知能」「センサと通信」 ・選択科目から24単位以上を選択 以上、共通教育38単位以上、専門科目86単位以上、合計124単位以上 3 履修単位の登録の上限 48単位(年間)											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・教育内容の向上を図るため、「医療と文化」の担当教員を「兼任教員」から「兼担教員」に変更（授業科目表上は変更なし）。
- ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「日本国憲法」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「データ科学と社会」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
（30年度において、翌年度より専任教員となる新田雅道教授が兼任教員として授業を担当）
- ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「統計学」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「化学入門」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。

【令和元年度】

特になし。

- (注) ・ 2(1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
36 科目	70 科目	4 科目	110 科目	36 科目 [0]	70 科目 [0]	4 科目 [0]	110 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{の開設の場合:「〇〇大学 △△学部 □」}} = \frac{0}{110} = \boxed{} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備考		
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計		末広キャンパス 借用面積：3,676 m ² 借用期間：25年	
	校 舎 敷 地	18,962.05 m ²	0 m ²	0 m ²		18,962.05 m ²			
	運動場用地	14,271.00 m ²	0 m ²	0 m ²		14,271.00 m ²			
	小 計	33,233.05 m ²	0 m ²	0 m ²		33,233.05 m ²			
	そ の 他	8,251.28 m ²	0 m ²	0 m ²		8,251.28 m ²			
	合 計	41,484.33 m ²	0 m ²	0 m ²		41,484.33 m ²			
(2)校舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計		末広キャンパス 借用面積：930 m ² 借用期間：25年 中央キャンパス 借用面積：4,030 m ² 借用期間：25年	
		16,305.47 m ² (4,555.95 m ²)	0 m ² (3,644.67 m ²)	0 m ² (4,926.47 m ²)		16,305.47 m ² (13,127.09m ²)			
(3)教室等		講 義 室	演 習 室	実験実習室		情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体	
		23 室	12 室	18 室		0 室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)		
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		生産システム科学部 生産システム科学科			20 室				
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
		生産システム 科学部 生産システム 科学科	13,558 [524] (13,667 [360])	46 [29] (824 [810])	29 [29] (811 [808])	156 (133)	96 (82)	0 (0)	
	計	13,558 [524] (13,667 [360])	46 [29] (824 [810])	29 [29] (811 [808])	156 (133)	96 (82)	0 (0)		
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		909.83 m ²		118 席		80,000 冊			
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		960.00 m ²		－					
(8)経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共通教育用の図書につ いては、国際文化交流 学部の図書として算定 を行っている(30) 設備の位置をについて リースにて対応するこ ととしたため(30) 設備購入費は大学全体
		教員1人当り研究費等	600千円	600千円	図書購入費	13,491千円 3,658千円	13,491千円	7,594千円	
		共 同 研 究 費 等	6,000千円	6,000千円	設備購入費	130,000千円 111,156千円	98,000千円	3,000千円	
	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		市内学生918千 円	636千円	636千円	636千円	－ 千円	－ 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		大学運営費交付金、資産運用収入、雑収入 等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
・ 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	公 立 小 松 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
生産システム科学部	4	80	-	320	-	-	-	平成30	-	
生産システム科学科	4	80	-	320	学士 (工学)	1.01	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市四丁町ヌ1-3	
保健医療学部	4	80	-	320	-	-	-	平成30	-	
看護学科	4	50	-	200	学士 (看護学)	1.03	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市向本折町へ14-1	
臨床工学科	4	30	-	120	学士 (臨床工学)	1.06	-	平成30	同上	
国際文化交流学部	4	80	-	320	-	-	-	平成30	-	
国際文化交流学科	4	80	-	320	学士 (国際文化学)	1.03	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10	
大学全体	4	240	-	960	-	1.03	-	平成30	-	
大 学 の 名 称	小 松 短 期 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
該当なし	-	-	-	-	-	-	-	昭和63	石川県小松市四丁町ヌ1-3	平成30年4月学生募集停止 平成31年4月地域創造学科の廃止を届出 現在専攻科のみ

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を
・通信教育課程の開設の場合:「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

5 教員組織の状況

＜生産システム科学部 生産システム学科＞

(1) ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	木村 繁男 (67) ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)
		キャリアデザイン・チーム論Ⅰ テーマ別基礎ゼミ 現代科学技術論 ※ 工業熱力学及び演習 機械電気工学実験Ⅰ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール エネルギー資源と開発 卒業研究
専	教授	山田 外史 (68) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		テーマ別基礎ゼミ 日本産業史 ※ 電気回路及び演習 数値解析 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 電気制御学 応用電磁気学 センサと通信 卒業研究
専	教授	山田 良穂 (66) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		テーマ別基礎ゼミ 日本産業史 ※ 機械電気工学実験Ⅰ 課題探求プロジェクト 学外技術体験実習A 学外技術体験実習B 課題研究ゼミナール 機械材料学 機械加工学 卒業研究
専	教授	安達 正明 (66) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		テーマ別基礎ゼミ 現代科学技術論 ※ 応用物理学 工業力学 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	木村 繁男 (67) ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)
		キャリアデザイン・チーム論Ⅰ テーマ別基礎ゼミ 現代科学技術論 ※ 工業熱力学及び演習 機械電気工学実験Ⅰ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール エネルギー資源と開発 卒業研究
専	教授	山田 外史 (68) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		テーマ別基礎ゼミ 日本産業史 ※ 電気回路及び演習 数値解析 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 電気制御学 応用電磁気学 センサと通信 卒業研究
専	教授	山田 良穂 (67) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		テーマ別基礎ゼミ 日本産業史 ※ 機械電気工学実験Ⅰ 課題探求プロジェクト 学外技術体験実習A 学外技術体験実習B 課題研究ゼミナール 機械材料学 機械加工学 卒業研究
専	教授	安達 正明 (66) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		テーマ別基礎ゼミ 現代科学技術論 ※ 応用物理学 工業力学 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	木村 繁男 (68) ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)
		キャリアデザイン・チーム論Ⅰ テーマ別基礎ゼミ 現代科学技術論 ※ 工業熱力学及び演習 機械電気工学実験Ⅰ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール エネルギー資源と開発 卒業研究
専	教授	山田 外史 (69) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		テーマ別基礎ゼミ 日本産業史 ※ 電気回路及び演習 数値解析 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 電気制御学 応用電磁気学 センサと通信 卒業研究
専	教授	山田 良穂 (68) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		テーマ別基礎ゼミ 日本産業史 ※ 機械電気工学実験Ⅰ 課題探求プロジェクト 学外技術体験実習A 学外技術体験実習B 課題研究ゼミナール 機械材料学 機械加工学 卒業研究
専	教授	安達 正明 (67) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		テーマ別基礎ゼミ 現代科学技術論 ※ 応用物理学 工業力学 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	木村 春彦 (66) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		テーマ別基礎ゼミ データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール アルゴリズム論 情報科学概論 データベース論 人工知能 データマイニング 卒業研究
専	教授	川端 信義 (65) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		テーマ別基礎ゼミ 現代科学技術論 ※ 流れ学及び演習 機械電気工学実験Ⅰ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 地球環境と環境流体 卒業研究
専	教授	田村 博志 (65) ＜平成31年4月＞ 理学博士
		テーマ別基礎ゼミ 統計学 現代科学技術論 ※ 応用数学Ⅰ 工業数学 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 応用数学Ⅱ 複素解析 卒業研究
兼任	講師	田村 博志 (64) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		現代科学技術論 ※ 応用数学Ⅰ 工業数学 応用数学Ⅱ 複素解析
専	教授	岩田 佳雄 (65) ＜平成31年4月＞ 工学博士
		テーマ別基礎ゼミ 日本産業史 ※ 振動工学及び演習 技術者倫理 ※ 機械設計製図Ⅱ ロボット機構学 ※ 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究
兼任	講師	岩田 佳雄 (64) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		日本産業史 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	木村 春彦 (66) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		テーマ別基礎ゼミ データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール アルゴリズム論 情報科学概論 データベース論 人工知能 データマイニング 卒業研究
専	教授	川端 信義 (65) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		テーマ別基礎ゼミ 現代科学技術論 ※ 流れ学及び演習 機械電気工学実験Ⅰ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 地球環境と環境流体 卒業研究
専	教授	田村 博志 (65) ＜平成31年4月＞ 理学博士
		テーマ別基礎ゼミ 統計学 現代科学技術論 ※ 応用数学Ⅰ 工業数学 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 応用数学Ⅱ 複素解析 卒業研究
兼任	講師	田村 博志 (65) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		現代科学技術論 ※ 応用数学Ⅰ 工業数学 応用数学Ⅱ 複素解析
専	教授	岩田 佳雄 (65) ＜平成31年4月＞ 工学博士
		テーマ別基礎ゼミ 日本産業史 ※ 振動工学及び演習 技術者倫理 ※ 機械設計製図Ⅱ ロボット機構学 ※ 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究
兼任	講師	岩田 佳雄 (65) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		日本産業史 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	木村 春彦 (67) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		テーマ別基礎ゼミ データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール アルゴリズム論 情報科学概論 データベース論 人工知能 データマイニング 卒業研究
専	教授	川端 信義 (66) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		テーマ別基礎ゼミ 現代科学技術論 ※ 流れ学及び演習 機械電気工学実験Ⅰ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 地球環境と環境流体 卒業研究
専	教授	田村 博志 (66) ＜平成31年4月＞ 理学博士
		テーマ別基礎ゼミ 統計学 現代科学技術論 ※ 応用数学Ⅰ 工業数学 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 応用数学Ⅱ 複素解析 卒業研究
兼任	講師	田村 博志 (66) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		現代科学技術論 ※ 応用数学Ⅰ 工業数学 応用数学Ⅱ 複素解析
専	教授	岩田 佳雄 (66) ＜平成31年4月＞ 工学博士
		テーマ別基礎ゼミ 日本産業史 ※ 振動工学及び演習 技術者倫理 ※ 機械設計製図Ⅱ ロボット機構学 ※ 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究
兼任	講師	岩田 佳雄 (66) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		日本産業史 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	新田 雅道 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※ プログラミングⅠ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール プログラミングⅡ 卒業研究
兼任	講師	新田 雅道 (59) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※ プログラミングⅠ
専	教授	富澤 淳 (59) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 日本産業史 ※ 機械設計製図Ⅰ 技術者倫理 ※ 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅰ 生産技術 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 環境適合技術論 資源有効利用学 卒業研究
専	教授	上田 芳弘 (60) ＜令和3年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール インテリジェント生産システム 卒業研究
専	教授	酒井 忍 (54) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 材料力学及び演習 機械設計製図Ⅰ 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅰ 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 機械要素設計 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	新田 雅道 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※ プログラミングⅠ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール プログラミングⅡ 卒業研究
兼任	講師	新田 雅道 (59) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※ プログラミングⅠ
専	教授	富澤 淳 (59) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 日本産業史 ※ 機械設計製図Ⅰ 技術者倫理 ※ 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅰ 生産技術 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 環境適合技術論 資源有効利用学 卒業研究
専	教授	上田 芳弘 (58) ＜令和3年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール インテリジェント生産システム 卒業研究
専	教授	酒井 忍 (54) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 材料力学及び演習 機械設計製図Ⅰ 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅰ 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 機械要素設計 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	新田 雅道 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※ プログラミングⅠ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール プログラミングⅡ 卒業研究
兼任	講師	新田 雅道 (60) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※ プログラミングⅠ
専	教授	富澤 淳 (60) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 日本産業史 ※ 機械設計製図Ⅰ 技術者倫理 ※ 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅰ 生産技術 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 環境適合技術論 資源有効利用学 卒業研究
専	教授	上田 芳弘 (59) ＜令和3年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール インテリジェント生産システム 卒業研究
専	教授	酒井 忍 (55) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 材料力学及び演習 機械設計製図Ⅰ 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅰ 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 機械要素設計 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	香川 博之 (53) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 機械設計製図Ⅱ 生産工学 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 統計・確率論 エレクトロニクス概論 卒業研究
専	准教授	石若 裕子 (51) ＜令和3年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 情報処理応用 A プログラミングⅠ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究
専	准教授	疋津 正利 (47) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 機械設計製図Ⅰ ロボット機構学 ※ 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 制御工学 卒業研究
専	准教授	池田 慎治 (45) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 機械電気工学実験Ⅰ 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 電子回路 電気機器工学 卒業研究
専	准教授	梶原 祐輔 (32) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 情報処理応用 A 機械電気工学実験Ⅰ 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 画像認識論 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	香川 博之 (53) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 機械設計製図Ⅱ 生産工学 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 統計・確率論 エレクトロニクス概論 卒業研究
専	准教授	石若 裕子 (48) ＜令和3年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 情報処理応用 A プログラミングⅠ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究
専	准教授	疋津 正利 (47) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 機械設計製図Ⅰ ロボット機構学 ※ 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 制御工学 卒業研究
専	准教授	池田 慎治 (45) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 機械電気工学実験Ⅰ 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 電子回路 電気機器工学 卒業研究
専	准教授	梶原 祐輔 (32) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 情報処理応用 A 機械電気工学実験Ⅰ 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 画像認識論 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	香川 博之 (54) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 機械設計製図Ⅱ 生産工学 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 統計・確率論 エレクトロニクス概論 卒業研究
専	准教授	石若 裕子 (49) ＜令和3年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 情報処理応用 A プログラミングⅠ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究
専	准教授	疋津 正利 (48) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 機械設計製図Ⅰ ロボット機構学 ※ 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 制御工学 卒業研究
専	准教授	池田 慎治 (46) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 機械電気工学実験Ⅰ 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 電子回路 電気機器工学 卒業研究
専	准教授	梶原 祐輔 (33) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 情報処理応用 A 機械電気工学実験Ⅰ 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 画像認識論 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	史 金星 (37) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 機械設計製図Ⅰ 機械設計製図Ⅱ 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅰ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究
専	助教	立野 大地 (34) ＜平成30年4月＞ 修士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 機械設計製図Ⅱ 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅰ 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究
兼任	教授	北岡 和代 (64) ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	教授	中島 素子 (65) ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		健康と体の科学 ※
兼任	教授	松井 優子 (52) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	教授	徳田 真由美 (52) ＜平成30年4月＞ 博士（看護学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	佐藤 大介 (38) ＜平成30年4月＞ 博士（看護学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	教授	中山 謙二 (72) ＜平成31年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 統計学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	史 金星 (37) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 機械設計製図Ⅰ 機械設計製図Ⅱ 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅰ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究
専	助教	朴 亨原 (35) ＜平成30年7月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 機械設計製図Ⅱ 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅰ 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究
兼任	教授	北岡 和代 (64) ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	教授	中島 素子 (65) ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		健康と体の科学 ※
兼任	教授	松井 優子 (52) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	教授	徳田 真由美 (52) ＜平成30年4月＞ 博士（看護学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	佐藤 大介 (38) ＜平成30年4月＞ 博士（看護学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	教授	中山 謙二 (71) ＜平成31年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 統計学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	史 金星 (38) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 機械設計製図Ⅰ 機械設計製図Ⅱ 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅰ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究
専	助教	朴 亨原 (36) ＜平成30年7月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 機械設計製図Ⅱ 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅰ 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究
兼任	教授	北岡 和代 (65) ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	教授	中島 素子 (66) ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		健康と体の科学 ※
兼任	教授	松井 優子 (53) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	教授	徳田 真由美 (53) ＜平成30年4月＞ 博士（看護学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	佐藤 大介 (39) ＜平成30年4月＞ 博士（看護学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	教授	中山 謙二 (72) ＜平成31年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 統計学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中山 謙二 (72) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 統計学
兼任	教授	井関 尚一 (66) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		アカデミック・スキルズ
兼任	教授	八賀 正司 (64) ＜平成30年4月＞ 学術博士
		アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	辻村 真一 (39) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理応用B
兼任	講師	井澤 純子 (48) ＜平成30年4月＞ 博士（情報科学）
		情報処理基礎
兼任	教授	岩田 礼 (65) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※
兼任	教授	宮崎 猛 (67) ＜平成30年4月＞ 農学博士
		アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題
兼任	教授	VANCE, Timothy John (66) ＜平成30年4月＞ Ph. D., linguistics (米国)
		言葉と文化 ※ 英語 I b 英語 II b

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中山 謙二 (71) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 統計学
兼任	教授	井関 尚一 (66) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		アカデミック・スキルズ
兼任	教授	八賀 正司 (64) ＜平成30年4月＞ 学術博士
		アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	藤田 一寿 (39) ＜平成30年7月＞ 博士（工学）
		情報処理応用B
兼任	講師	井澤 純子 (48) ＜平成30年4月＞ 博士（情報科学）
		情報処理基礎
兼任	教授	岩田 礼 (65) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※
兼任	教授	宮崎 猛 (67) ＜平成30年4月＞ 農学博士
		アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題
兼任	教授	VANCE, Timothy John (66) ＜平成30年4月＞ Ph. D., linguistics (米国)
		言葉と文化 ※ 英語 I b 英語 II b

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中山 謙二 (72) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 統計学
兼任	教授	井関 尚一 (67) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		アカデミック・スキルズ
兼任	教授	八賀 正司 (65) ＜平成30年4月＞ 学術博士
		アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	藤田 一寿 (40) ＜平成30年7月＞ 博士（工学）
		情報処理応用B
兼任	講師	井澤 純子 (49) ＜平成30年4月＞ 博士（情報科学）
		情報処理基礎
兼任	教授	岩田 礼 (66) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※
兼任	教授	宮崎 猛 (68) ＜平成30年4月＞ 農学博士
		アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題
兼任	教授	VANCE, Timothy John (67) ＜平成30年4月＞ Ph. D., linguistics (米国)
		言葉と文化 ※ 英語 I b 英語 II b

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	盛田 清秀 (65) ＜平成30年4月＞ 博士（農学）
		経済学 ※
兼任	教授	西村 聡 (65) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	講師	西村 聡 (63) ＜平成30年4月＞
		南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	教授	岡村 徹 (56) ＜平成30年4月＞ 博士（比較社会文化）
		アカデミック・スキルズ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼任	教授	杓谷 茂樹 (55) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		文化人類学 スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
兼任	教授	刘 迺华 (55) ＜平成30年4月＞ 文学 硕士（中国）
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (63) ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy (印国)
		英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼任	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (50) ＜平成30年4月＞ 博士（創造都市）
		アカデミック・スキルズ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	盛田 清秀 (65) ＜平成30年4月＞ 博士（農学）
		経済学 ※
兼任	教授	西村 聡 (63) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	講師	西村 聡 (63) ＜平成30年4月＞
		南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	教授	岡村 徹 (56) ＜平成30年4月＞ 博士（比較社会文化）
		アカデミック・スキルズ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼任	教授	杓谷 茂樹 (55) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		文化人類学 スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
兼任	教授	刘 迺华 (55) ＜平成30年4月＞ 文学 硕士（中国）
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (63) ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy (印国)
		英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼任	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (50) ＜平成30年4月＞ 博士（創造都市）
		アカデミック・スキルズ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	盛田 清秀 (66) ＜平成30年4月＞ 博士（農学）
		経済学 ※
兼任	教授	西村 聡 (64) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	講師	西村 聡 (64) ＜平成30年4月＞
		南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	教授	岡村 徹 (57) ＜平成30年4月＞ 博士（比較社会文化）
		アカデミック・スキルズ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼任	教授	杓谷 茂樹 (56) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		文化人類学 スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
兼任	教授	刘 迺华 (56) ＜平成30年4月＞ 文学 硕士（中国）
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (64) ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy (印国)
		英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼任	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (51) ＜平成30年4月＞ 博士（創造都市）
		アカデミック・スキルズ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	小原 文衛 (49) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		英語Ⅰa 英語Ⅱa
兼任	准教授	一ノ渡 忠之 (43) ＜平成30年4月＞ 博士（商学）
		経済学 ※ ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ
兼任	准教授	木村 誠 (38) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）
		アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼任	准教授	木村 誠 (37) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）
		アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼任	准教授	木場 紗綾 (37) ＜平成30年4月＞ 博士（政治学）
		アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼任	准教授	千葉 悠志 (32) ＜平成30年4月＞ 博士（地域研究）
		アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼任	助教	長辻 幸 (34) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		英語Ⅰa 英語Ⅱa
兼任	講師	三浦 要 (59) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	小原 文衛 (49) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		英語Ⅰa 英語Ⅱa
兼任	准教授	一ノ渡 忠之 (43) ＜平成30年4月＞ 博士（商学）
		経済学 ※ ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ
兼任	准教授	木村 誠 (38) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）
		アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼任	准教授	木村 誠 (38) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）
		アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼任	准教授	木場 紗綾 (37) ＜平成30年4月＞ 博士（政治学）
		アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼任	准教授	千葉 悠志 (32) ＜平成30年4月＞ 博士（地域研究）
		アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼任	助教	長辻 幸 (35) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		英語Ⅰa 英語Ⅱa
兼任	講師	三浦 要 (59) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	小原 文衛 (50) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		英語Ⅰa 英語Ⅱa
兼任	准教授	一ノ渡 忠之 (44) ＜平成30年4月＞ 博士（商学）
		経済学 ※ ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ
兼任	准教授	木村 誠 (39) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）
		アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼任	准教授	木村 誠 (39) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）
		アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼任	准教授	木場 紗綾 (38) ＜平成30年4月＞ 博士（政治学）
		アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼任	准教授	千葉 悠志 (33) ＜平成30年4月＞ 博士（地域研究）
		アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼任	助教	長辻 幸 (36) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		英語Ⅰa 英語Ⅱa
兼任	講師	三浦 要 (60) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宇根 義己 (38) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		人文地理学
兼任	講師	碓 陽子 (41) ＜平成30年4月＞ 博士（学術）
		医療と文化
兼任	講師	溝部 明男 (68) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		社会学
兼任	講師	木村 高宏 (43) ＜平成30年4月＞ 博士（政策科学）
		公共政策論
兼任	講師	井上 英夫 (70) ＜平成30年4月＞ 法学修士
		社会福祉論
兼任	講師	山崎 友也 (45) ＜平成30年4月＞ 修士（法学）
		日本国憲法
兼任	講師	榊原 千秋 (56) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		健康と体の科学 ※
兼任	講師	松下 裕子 (58) ＜平成30年4月＞ 体育学士
		スポーツ演習（バレーボール） スポーツ演習（硬式テニス） スポーツ演習（フットサル） スポーツ演習（卓球） スポーツ演習（バドミントン）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宇根 義己 (38) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		人文地理学
兼任	教授	横川 善正 (69) ＜平成30年7月＞ 文学修士
		医療と文化
兼任	講師	溝部 明男 (68) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		社会学
兼任	講師	木村 高宏 (43) ＜平成30年4月＞ 博士（政策科学）
		公共政策論
兼任	講師	井上 英夫 (70) ＜平成30年4月＞ 法学修士
		社会福祉論
兼任	講師	山崎 友也 (45) ＜平成30年4月＞ 修士（法学）
		日本国憲法
兼任	講師	榊原 千秋 (56) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		健康と体の科学 ※
兼任	講師	松下 裕子 (58) ＜平成30年4月＞ 体育学士
		スポーツ演習（バレーボール） スポーツ演習（硬式テニス） スポーツ演習（フットサル） スポーツ演習（卓球） スポーツ演習（バドミントン）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宇根 義己 (39) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		人文地理学
兼任	教授	横川 善正 (70) ＜平成30年7月＞ 文学修士
		医療と文化 英語 I a
兼任	講師	溝部 明男 (69) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		社会学
兼任	講師	木村 高宏 (44) ＜平成30年4月＞ 博士（政策科学）
		公共政策論
兼任	講師	井上 英夫 (71) ＜平成30年4月＞ 法学修士
		社会福祉論
兼任	講師	山崎 友也 (46) ＜平成30年4月＞ 修士（法学）
		日本国憲法
兼任	講師	榊原 千秋 (57) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		健康と体の科学 ※
兼任	講師	松下 裕子 (59) ＜平成30年4月＞ 体育学士
		スポーツ演習 [※] （バレーボール） スポーツ演習（硬式テニス） スポーツ演習（フットサル） スポーツ演習（卓球） スポーツ演習（バドミントン）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	川畠 嘉美 (49) ＜令和2年4月＞ 修士（文学）
		英語 I a
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (55) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		英語 I a
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (49) ＜平成30年4月＞ B. A. (Psychology) (米国)
		英語 I b 英語 II b
兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (43) ＜平成30年4月＞ PhD Cultural Anthropology (米国)
		英語 I b
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (42) ＜平成30年4月＞ PhD in International Relations (英国)
		英語 II b
兼任	講師	島内 俊彦 (48) ＜平成30年4月＞ 学士（外国研究）
		英語Ⅲ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅳ 技術英語Ⅰ 技術英語Ⅱ 技術英語演習Ⅰ 技術英語演習Ⅱ
兼任	講師	岩津 航 (42) ＜平成30年4月＞ Doctorat (Littérature comparé e) (仏国)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	川畠 嘉美 (49) ＜令和2年4月＞ 修士（文学）
		英語 I a
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (55) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		英語 I a
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (49) ＜平成30年4月＞ B. A. (Psychology) (米国)
		英語 I b 英語 II b
兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (43) ＜平成30年4月＞ PhD Cultural Anthropology (米国)
		英語 I b
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (42) ＜平成30年4月＞ PhD in International Relations (英国)
		英語 II b
兼任	講師	島内 俊彦 (48) ＜平成30年4月＞ 学士（外国研究）
		英語Ⅲ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅳ 技術英語Ⅰ 技術英語Ⅱ 技術英語演習Ⅰ 技術英語演習Ⅱ
兼任	講師	岩津 航 (42) ＜平成30年4月＞ Doctorat (Littérature comparée) (仏国)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	川畠 嘉美 (50) ＜令和2年4月＞ 修士（文学）
		英語 I a
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (56) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		英語 I a
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (50) ＜平成30年4月＞ B. A. (Psychology) (米国)
		英語 I b 英語 II b
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (43) ＜平成30年4月＞ PhD in International Relations (英国)
		英語 I b 英語 II b
兼任	講師	島内 俊彦 (49) ＜平成30年4月＞ 学士（外国研究）
		英語Ⅲ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅳ 技術英語Ⅰ 技術英語Ⅱ 技術英語演習Ⅰ 技術英語演習Ⅱ
兼任	講師	大竹口 麻里 (55) ＜平成31年4月＞ 修士（フランス語教授法）
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	名執 純子 (49) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ
兼任	講師	南保 英孝 (46) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 プログラミングⅠ
兼任	講師	田村 和弘 (61) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		化学入門

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	名執 純子 (49) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ
兼任	講師	南保 英孝 (46) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 プログラミングⅠ
兼任	講師	田村 和弘 (61) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		化学入門

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	名執 純子 (50) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ
兼任	講師	南保 英孝 (47) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 プログラミングⅠ
兼任	講師	田村 和弘 (62) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		化学入門

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実（実））、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・立野大地助教就任辞退。初年度前期に担当科目がないことから、朴亨原を科目を担当しない助教として採用し、平成30年度第1回AC教員審査に提出（平成30年4月教員審査済）。
- ・共通教育科目「医療と文化」の担当教員を、兼任教員から兼担教員である横川善正教授に変更。国際文化交流学部専任教員として平成30年度第1回AC教員審査に提出（平成30年4月教員審査済）。

【令和元年度】

- ・共通教育科目「英語Ia」の担当教員として、兼担教員の横川善正教授を追加（平成31年1月教員審査済）
- ・共通教育科目「英語Ib」の担当教員を、兼任教員のERTL JOHN JOSEF講師から兼任教員のFOX SENAN JAMES講師に変更
- ・共通教育科目「フランス語I」「フランス語II」の担当教員を、兼任教員の岩津 航講師から兼任教員の太竹口 麻里講師に変更

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2)－② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
13	4	0	2	19	12	3	0	2	17
(9)	(3)	(0)	(2)	(14)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)
13	4	0	2	19	13	4	0	2	19
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 - ・ **「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 - ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	8 名	8 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・ 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

(2)－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{19}{19} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{8}{17} = \boxed{47.05} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	助教	立野 大地	H29. 10	必修	テーマ別基礎ゼミ	①	H29. 10 他大学の教員着任のため就任辞退（29）
				必修	機械設計製図Ⅱ	①	
				必修	機械工作実習	①	
				必修	機械電気工学実験Ⅰ	①	
				必修	機械電気工学実験Ⅱ	①	
				必修	課題探究プロジェクト	①	
				必修	課題研究ゼミナール	①	
				必修	卒業研究	①	
合計（D）					後任補充状況の集計（E）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
1	人	必修	8	科目	必修	8	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	8	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合計（F）					後任補充状況の集計（G）		
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について**に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）		
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
1	人	必修	8	科目	必修	8	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	8	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{1}{19} = \boxed{5.26} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

本学部における専任教員就任辞退者は、開学年度の前期に担当授業科目を有しておらず、学生の履修等への影響は出ていない。後任については、候補者選を速やかに行い、平成30年4月のAC教員審査で審査を受けている。なお、当該後任については、授業を持たない専任教員として平成30年4月から採用し、授業の準備等に十分な準備期間を与えることで適切な履修につなげるよう対応を行った。
--

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設置時 (平成29年)	・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	留意事項 ・理事長・学長のトップマネジメントのもとに、設置計画を確実に履行し、的確な大学運営を行っている。 ・教育研究活動水準の向上に向け、全学委員会及び学部教授会の両体制から取り組みを行うことを予定している。 (平成30年度) ・設置計画の的確な履行に向け、各種審議会や全学委員会を組織し、理事長・学長のトップマネジメントのもとに大学を組織的に運営するための体制を構築した。 ・授業評価アンケートに基づく授業改善活動や学部内でのプロジェクト型研究の始動など、教育研究活動の水準向上のための活動を実施している。 ・中期計画及び年度計画に基づき、一つひとつの事項を計画的に推進するとともに、定期的な進捗管理を行う体制を構築した。 (令和元年度)	履行中 ・5月に6年間の計画である中期計画(6年間の計画)を策定し、その後、年度計画を策定する。 ・年度計画を踏まえ、全学委員会である「教育企画委員会」、「研究・地域連携委員会」が具体的な活動計画を策定し、個々の活動は学部教授会のもとに行っていく。(平成30年度) ・大学の各組織が行う活動が設置の趣旨・目的を踏まえた取組となっているのかを、理事長・学長のトップマネジメントもとに行う進捗管理の中で確認し、計画が適切に履行されているのかを検証していく。 (令和元年度)
設置時 (平成29年)	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	留意事項 ・豊富な経験と業績を持つ教授と若手教員が連携して活動を行い、後継者の育成を行っている。 ・中長期的な観点から、教員採用・育成のための計画を策定し、それに沿って教員人事の適正な運用を行う予定である。 (平成30年度) ・引き続き豊富な経験と業績を持つ教授と若手教員が連携して活動を行うことで、後継者の育成を行っている。 ・教員組織の在り方について、学部学科ごとに検討を行っている。また、今後の教員採用にあたっての基準づくりを行っている。 (令和元年度)	履行中 ・今年度中に、完成年度までの教員採用・育成計画を策定に着手する。策定後は、計画のもとに、教員の公募・育成等を行うとともに、適宜AC教員審査に諮っていく。 (平成30年度) ・教員採用・育成のための計画づくりを推進するとともに、学部学科間のバランスや経営状況を踏まえた全学的な視点での検討も行う。 (令和元年度)

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

＜生産システム科学部 生産システム科学科＞

（１）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 公立小松大学FD・SD推進委員会規則を制定（30年4月） b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 平成31年3月 開催 c 委員会の審議事項等 FD・SDの推進計画の策定、実施に関すること ② 実施状況 a 実施内容 ・ 財務システム研修会 ・ 公立大学の役割を学ぶ研修会 ・ 入試の全国的な動向や高校生の傾向を学ぶ研修会 ・ 労働安全衛生に係る研修会 ・ 競争的研究資金獲得に向けた研修会 ・ 研究倫理研修会（e-ラーニング） ・ 新任事務職員のための研修会 b 実施方法 ・ 開学後早急にFD・SD活動を開始するため、理事長・学長の指導のもと、各委員会等が研修会を企画した。全学における実施結果は、公立小松大学FD・SD推進委員会がとりまとめ総括した。 c 開催状況（教員の参加状況含む） ・ 財務システム研修会（30年4月） 教員・事務職員対象 全員受講 ・ 公立大学の役割を学ぶ研修会（30年7月） 教員・事務職員対象 78人参加 ・ 入試の全国的な動向や高校生の傾向を学ぶ研修会（30年8月） 教員・入試関連事務職員対象 62人参加 ・ 労働安全衛生に係る研修会（31年2月） 教員・事務職員対象 66人参加 ・ 競争的研究資金獲得に向けた研修会（31年3月） 教員・研究関連事務職員対象 32人参加 ・ 研究倫理研修会（e-ラーニング） 教員対象 3月までに全教員の受講完了を確認 ・ 新任事務職員のための研修会（30年4月～10月） 新任事務職員対象 11人参加	
---	--

- ・ 授業評価アンケートの結果を受け、学長から学部長・学科長に対し指導を指示
学科ごとに対応を実施（３０年１２月）
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・ 授業評価アンケートに基づき、学部学科単位で改善を実施
 - ・ プレゼンテーション能力やアクティブラーニング等の研修実施に向けた準備を実施中

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期・後期のそれぞれの終了時に授業科目ごとに実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業評価アンケートの結果を受け、学長から学部長・学科長に対し指導を指示
学科ごとに対応を実施（３０年１２月）
- ・ アンケート結果を受けての大学としての対応について、学長メッセージとして掲示板に掲示し周知している
（前期・後期終了後）

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

地方独立行政法人法の規定も踏まえ、自己点検・評価委員会を設置し、理事長・学長のトップマネジメントによる法人・大学の運営が行われる仕組みを構築した。大学の各組織は、年に2度理事長・学長によるヒアリングを受けることとなっており、目標や方針の確認及び進捗状況の点検確認を行っている。

職員の資質や意識の更なる向上を図りつつ、設置の趣旨・目的に達成に向け組織全体が一丸となって取り組んでいく環境を引き続き整えていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和元年6月 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和元年6月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・学内で検討を行っている。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ ☒ 有 ・ ☐ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （令和元年6月30日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

公立大学法人公立小松大学

(2) 大 学 名

公立小松大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒923-0921

石川県小松市土居原町10-10

〒923-0961

石川県小松市向本折町へ14-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(イシダ ヒロト) 石田 寛人 (現職就任30年4月)		
学 長	(ヤマモト ヒロシ) 山本 博 (現職就任30年4月)		
学 部 長	(キタオカ カズヨ) 北岡 和代 (現職就任30年4月)		
学科長等	(キタオカ カズヨ) 北岡 和代 (現職就任30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 看護学科	保健衛生学関係(看護学関係)	4年	50人	年次 —	200人	
学士(看護学)						

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	一人 () []	一人 () []	一人 () []	一人 () []	一人 () []	一人 () []	50人 () []	一人 () []	50人 () []	一人 () []	1.03倍	—	
志願者数	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	562 () []	— () []	395 () []	— () []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	448 () []	() []	223 () []	— () []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	129 () []	() []	56 () []	— () []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	53 () []	() []	50 () []	— () []			
入学定員超過率 B/A							1.06		1.00				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成 2 7 年度		平成 2 8 年度		平成 2 9 年度		平成 3 0 年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	53 [—] (—)	— [—] (—)	50 [—] (—)	— [—] (—)	
2 年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	53 [—] (—)	— [—] (—)	
3 年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)
4 年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計			— [—] (—)	— [—] (—)			— [—] (—)	53 [—] (—)	103 [—] (—)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
平成27年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
平成28年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
平成29年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
平成30年度	53 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	103 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\text{\#VALUE!}} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\text{\#VALUE!}} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\text{\#VALUE!}} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{53} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{103} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保険医療学部 看護学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通 教育 科目	導入科目	キャリアデザイン・ チーム論Ⅱ	1前	1			1		1	1		3
		アカデミック・スキルズ	1前	1								11
		テーマ別基礎ゼミ	1後	2		3	1	1				5
		情報処理基礎	1前	2								6
		南加賀の歴史と文化	1後	2								1
		小計(5科目)	－	8	0	0	4	1	2	1	0	24
	一般科目（人間力）	哲学	1前		2							1
		心理学	1前		2							1
		人間の発達と心	1前		2							1
		日本の伝統芸能	1前		2							1
		人文地理学	1後		2							1
		文化人類学	1後		2							1
		医療と文化	1後		2							1
		文章表現法	1後		2							1
		言葉と文化	1後		2							2
		小計(9科目)	－	0	18	0	0	0	0	0	0	8
	一般科目（社会力）	日本産業史	1前		2							4
		自然資源と 環境問題	1前		2							1
		経済学	1前		2							2
		政治学	1後		2							2
		社会学	1後		2							1
		公共政策論	1後		2							1
		社会福祉論	1後		2							1
		日本国憲法	1前		2							1
		小計(8科目)	－	0	16	0	0	0	0	0	0	13
	一般科目（科学力）	データ科学と社会	1前		2							3
		情報処理応用A	1後		2							2
		情報処理応用B	1後		2							1
		クリティカル シンキング	1後		2							1
		統計学	1前		2							2
		教養としての物理	1前		2							2
		教養としての数学	1後		2							2
		現代科学技術論	1前		2							5
		小計(8科目)	－	0	16	0	0	0	0	0	0	14
	一般科目（健康と 体力）	健康と体の科学	1前		2		1					1
		スポーツ演習 （バレーボール）	1前・ 後		1							1
スポーツ演習 （硬式テニス）		1前		1							1	
スポーツ演習 （フットサル）		1前・ 後		1							1	
スポーツ演習 （卓球）		1後		1							1	
スポーツ演習 （バドミントン）		1前・ 後		1							1	
小計(6科目)		－	0	7	0	1	0	0	0	0	2	

【令和元年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通 教育 科目	導入科目	キャリアデザイン・ チーム論Ⅱ	1前	1			1		1	1		3
		アカデミック・スキルズ	1前	1								11
		テーマ別基礎ゼミ	1後	2			3	1	1			5
		情報処理基礎	1前	2								6
		南加賀の歴史と文化	1後	2								1
		小計(5科目)	－	8	0	0	4	1	2	1	0	24
	一般科目（人間力）	哲学	1前		2							1
		心理学	1前		2							1
		人間の発達と心	1前		2							1
		日本の伝統芸能	1前		2							1
		人文地理学	1後		2							1
		文化人類学	1後		2							1
		医療と文化	1後		2							1
		文章表現法	1後		2							1
		言葉と文化	1後		2							2
		小計(9科目)	－	0	18	0	0	0	0	0	0	8
	一般科目（社会力）	日本産業史	1前		2							4
		自然資源と 環境問題	1前		2							1
		経済学	1前		2							2
		政治学	1後		2							2
		社会学	1後		2							1
		公共政策論	1後		2							1
		社会福祉論	1後		2							1
		日本国憲法	1後		2							1
		小計(8科目)	－	0	16	0	0	0	0	0	0	13
	一般科目（科学力）	データ科学と社会	1後		2							3
		情報処理応用A	1後		2							2
		情報処理応用B	1後		2							1
		クリティカル シンキング	1後		2							1
		統計学	1後		2							2
		教養としての物理	1前		2							2
		教養としての数学	1前		2							2
		現代科学技術論	1前		2							5
		小計(8科目)	－	0	16	0	0	0	0	0	0	14
	一般科目（健康と体力）	健康と体の科学	1前		2		1					1
		スポーツ演習 （バレーボール）	1前・後		1							1
		スポーツ演習 （硬式テニス）	1前		1							1
		スポーツ演習 （フットサル）	1前・後		1							1
		スポーツ演習 （卓球）	1後		1							1
		スポーツ演習 （バドミントン）	1前・後		1							1
		小計(6科目)	－	0	7	0	1	0	0	0	0	2

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	英語科目	英語Ⅰa	1前	2									5
		英語Ⅰb	1前	2									3
		英語Ⅱa	1後	2									3
		英語Ⅱb	1後	2									4
		英語Ⅲ	1後		2								1
		英会話Ⅰ	1後		2								1
		英会話Ⅱ	1後		2								1
		実用英語Ⅰ	1前・後			2							1
		実用英語Ⅱ	1前・後			2							1
		実用英語Ⅲ	1前・後			2							1
		実用英語Ⅳ	1前・後			2							1
	小計(11科目)	—	8	6	8	0	0	0	0	0	0	11	
	その他外国語科目	中国語Ⅰ	1前		2								1
		中国語Ⅱ	1後		2								1
		フランス語Ⅰ	1前		2								1
		フランス語Ⅱ	1後		2								1
		ドイツ語Ⅰ	1前		2								1
		ドイツ語Ⅱ	1後		2								1
		ロシア語Ⅰ	1前		2								1
		ロシア語Ⅱ	1後		2								1
		スペイン語Ⅰ	1前		2								1
		スペイン語Ⅱ	1後		2								1
	小計(10科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	0	5	
専門基礎科目	人の身体と心を知るステージ	解剖学	1前	2									1
		生理学	1前	2									1
		病理学	1前	2									1
		心の健康とストレスマネジメント論	1前	1		2							
		感染免疫学	1後	2									1
		栄養・生化学	1後	2									2
		薬理学	1後	2									1
		小計(7科目)	—	13	0	0	2	0	0	0	0	0	5
	人の健康問題を考えるステージ	認知症ケア論	1後	1			1						
		老年疾病・治療論	2前	1									1
		公衆衛生学	2前	1									1
		急性疾患論	2前	1									1
		母子疾病・治療論	2前	2									1
		生活習慣病論	2後	2									1
		保健医療福祉法制度論	2後	2									1
		疫学・保健統計学	2後	2			1						
		小計(8科目)	—	12	0	0	2	0	0	0	0	0	6
専門科目	看護とは何かを理解するステージ	市民健康論	1前	1			3						
		看護学概論	1後	1			2						
		基礎看護実習Ⅰ (看護の技)	1後	1			2			3			
		基礎コースⅠ(療養)	2前	2			2						
		基礎コースⅡ(フィジカルアセスメント)	2前	1			2						
		看護の技基礎コースⅢ(診療の補助)	2後	2			2						
		看護ケア提供論: 看護理論と看護過程	2前	1			1						

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
共通 教育 科目	英語科目	英語Ⅰa	1前	2									6
		英語Ⅰb	1前	2									3
		英語Ⅱa	1後	2									3
		英語Ⅱb	1後	2									4
		英語Ⅲ	1後		2								1
		英会話Ⅰ	1後		2								1
		英会話Ⅱ	1後		2								1
		実用英語Ⅰ	1前・ 1後			2							1
		実用英語Ⅱ	1前・ 1後				2						1
		実用英語Ⅲ(未開講)	1前・ 1後				2						1
		実用英語Ⅳ(未開講)	1前・ 1後				2						1
		小計(11科目)	—	8	6	8	0	0	0	0	0	0	12
	その他外国語科目	中国語Ⅰ	1前		2								1
		中国語Ⅱ	1後		2								1
		フランス語Ⅰ	1前		2								1
		フランス語Ⅱ	1後		2								1
		ドイツ語Ⅰ	1前		2								1
		ドイツ語Ⅱ	1後		2								1
		ロシア語Ⅰ	1前		2								1
		ロシア語Ⅱ	1後		2								1
		スペイン語Ⅰ	1前		2								1
		スペイン語Ⅱ	1後		2								1
		小計(10科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	0	5
専門 基礎 科目	人の身体と心を知るステージ	解剖学	1前	2									1
		生理学	1前	2									1
		病理学	1後	2									1
		心の健康と ストレスマネジメント論	1前	1			2						
		感染免疫学	1後	2									1
		栄養・生化学	1後	2									2
		薬理学	1後	2									1
		小計(7科目)	—	13	0	0	2	0	0	0	0	0	5
	人の健康問題を考えるステージ	認知症ケア論	1後	1			1						
		老年疾病・ 治療論	2前	1									1
		公衆衛生学	2前	1									1
		急性疾患論	2前	1									1
		母子疾病・ 治療論	2前	2									1
		生活習慣病論	2後	2									1
		保健医療福祉 法制度論	2後	2									1
		疫学・保健統計学	2後	2			1						
		小計(8科目)	—	12	0	0	2	0	0	0	0	0	6
		専門 科目	看護とは何かを理解するステージ	市民健康論	1前	1			3				
看護学概論	1後			1			2						
基礎看護実習Ⅰ	1後			1			2			3			
基礎コースⅠ(療 養)	2前			2			2						
基礎コースⅡ(フィ ジカルアセスメン ト)	2前			1			2						
看護の技基礎コー スⅢ(診療の補助)	2後			2			2						
看護ケア提供論: 看護理論と看護過 程	2前			1			1						

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門科目	看護とは何かを理解するステージ	看護の品格育成論	2前	1			2					
		看護倫理	2前	1			1					
		基礎看護実習Ⅱ	2後	2			2			3		
		精神保健看護学概論	2前	1			1					
		精神保健看護ケア提供論	2前	2			1					
		精神保健看護演習	2後	1			1					
		精神保健看護実習Ⅰ	2後	1			1			2		
		精神保健看護実習Ⅱ	3通	1			1			2		
		小計(15科目)	—	19	0	0	7	0	0	5	0	0
	看護ケア能力を育てるステージ	老年看護学概論	2前	1			1					
		老年看護ケア提供論	2前	1			1					
		老年看護演習	2後	2			1		1			
		老年看護実習Ⅰ	3通	2			1		1	1		
		老年看護実習Ⅱ	3通	2			1		1	1	1	
		成人看護学概論	2前	1			1					
		成人看護ケア提供論	2前	2			1	1				
		成人看護演習	3前	3			1	1				
		成人看護実習Ⅰ(急性)	3通	2			1	1	1	1		
		成人看護実習Ⅱ(慢性)	3通	2			1	1	1	1		
		成人看護実習Ⅲ(回復・維持)	3通	2			1	1	1	1		
		母性看護学概論	2前	1			1					
		母性看護ケア提供論	2前	1			1					
		母性看護演習	3前	2			1					
		母性看護実習	3通	2			1				2	
		小児看護学概論	2前	1			1					
		小児看護ケア提供論	2前	1			1					
		小児看護実習	3前	2			1					
		小児看護実習Ⅰ	2後	1			1					
		小児看護実習Ⅱ	3通	1			1				2	
		小計(20科目)	—	32	0	0	4	1	2	3	3	0
	看護ケア能力を拡げるステージ	在宅看護学概論	2後	1			1					
		在宅看護ケア提供論	2後	1			1					
		在宅看護演習	3前	2			1					
		在宅看護実習	3通	2			1	1			1	
		看護統合実習	4前	2			8	1	3	8	4	
		公衆衛生看護学概論	2後	1			1					
		健康教育論	2後	1			1			1		
		公衆衛生看護方法論Ⅰ(対象別)	3後		1		1					
		公衆衛生看護方法論Ⅱ(公衆衛生看護技術)	3後		1		1					
		公衆衛生看護方法論Ⅲ(学校・産業・災害)	4前		2		1	1				
		公衆衛生看護方法論Ⅳ(地域看護診断)	4前		1		1	1				
		公衆衛生看護方法論Ⅴ(健康診査・家庭訪問・健康教育)	4前		2		1	1				
		公衆衛生看護管理論	4前		1		1					
		疫学・保健統計学演習	3後		2		1					
		公衆衛生看護実習	4通		5		1	1		1		
		小計(15科目)	—	10	15	0	10	2	4	9	4	0

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目	看護とは何かを理解するステージ	看護の品格育成論	2前	1			2					
		看護倫理	2前	1		1						
		基礎看護実習Ⅱ	2後	2		2			3			
		精神保健看護学概論	2前	1		1						
		精神保健看護ケア提供論	2前	2		1						
		精神保健看護演習	2後	1		1						
		精神保健看護実習Ⅰ	2後	1		1			2			
		精神保健看護実習Ⅱ	3通	1		1			2			
		小計(15科目)	—	19	0	0	7	0	0	5	0	0
	看護ケア能力を育てるステージ	老年看護学概論	2前	1			1					
		老年看護ケア提供論	2前	1			1					
		老年看護演習	3前	2			1		1			
		老年看護実習Ⅰ	3通	2			1		1	1		
		老年看護実習Ⅱ	3通	2			1		1	1	1	
		成人看護学概論	2前	1			1					
		成人看護ケア提供論	2前	2			1	1				
		成人看護演習	2後	3			1	1				
		成人看護実習Ⅰ(急性)	3通	2			1	1	1	1		
		成人看護実習Ⅱ(慢性)	3通	2			1	1	1	1		
		成人看護実習Ⅲ(回復・維持)	3通	2			1	1	1	1		
		母性看護学概論	2前	1			1					
		母性看護ケア提供論	2前	1			1					
		母性看護演習	3前	2			1					
		母性看護実習	3通	2			1				2	
		小児看護学概論	2前	1			1					
		小児看護ケア提供論	2前	1			1					
		小児看護実習	3前	2			1					
		小児看護実習Ⅰ	2後	1			1					
		小児看護実習Ⅱ	3通	1			1				2	
		小計(20科目)	—	32	0	0	4	1	2	3	3	0
	看護ケア能力を拡げるステージ	在宅看護学概論	2後	1			1					
		在宅看護ケア提供論	2後	1			1					
		在宅看護演習	3前	2			1					
		在宅看護実習	3通	2			1	1			1	
		看護統合実習	4前	2			8	1	3	8	4	
		公衆衛生看護学概論	2後	1			1					
		健康教育論	2後	1			1			1		
		公衆衛生看護方法論Ⅰ(対象別)	3後		1		1					
		公衆衛生看護方法論Ⅱ(公衆衛生看護技術)	3後		1		1					
		公衆衛生看護方法論Ⅲ(学校・産業・災害)	4前		2		1	1				
		公衆衛生看護方法論Ⅳ(地域看護診断)	4前		1		1	1				
		公衆衛生看護方法論Ⅴ(健康診査・家庭訪問・健康教育)	4前		2		1	1				
		公衆衛生看護管理論	4前		1		1					
		疫学・保健統計学演習	3後		2		1					
		公衆衛生看護実習	4通		5		1	1		1		
		小計(15科目)	—	10	15	0	10	2	4	9	4	0

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門科目	看護の未来を共創するステージ	看護熟練の技	安全・安楽な ポジショニングの技	4前	1		1					
			排便ケア	4前	1		1					
			看護リーダー	4前	1		1					
			食と看護	4後	1		1					
			タッチケア・スキル	4後	1		1					
			ノンテクニカル・ スキル	4後	1		1					
			MMPI心理検査と 看護ケア	4後	1		1					
			グローバル感染対策	4前	1		1					
		看護未来創出	看護技術の科学的 検証	4前	1		1					1
			地域の健康課題と 多職種連携	4前	1		1					
			統合医療	4後	1			1				
			地域包括ケア	4後	1		1					
		チーム医療論	チーム医療論	4前	2							2
			看護と異文化理解	4通	2		1					
			研究方法論	4前	2		1					
			卒業研究	4通	4		10	2				
	小計(16科目)		—	6	16	0	10	2	0	0	0	3
合計(138科目)			—	108	114	8	10	2	4	9	4	68
卒業要件及び履修方法												
1 共通教育科目(計31単位以上) (1)導入科目 必修8単位 (2)一般科目 人間力6単位以上、社会力4単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上 (3)英語科目 必修8単位												
2 専門基礎科目(計25単位) (1)人の健康を知るステージ 必修13単位 (2)人の健康問題を考えるステージ 必修12単位												
3 専門科目(計71単位以上) (1)看護とは何かを理解するステージ 必修19単位 (2)看護ケア能力を育てるステージ 必修32単位 (3)看護ケア能力を広げるステージ 必修10単位 ※保健師選択者は、更に必修15単位 (4)看護の未来を共創するステージ 必修 6単位、選択必修4単位以上												
以上、共通教育31単位以上、専門基礎科目25単位、専門科目71単位以上、合計127単位以上 ※保健師選択者は、専門科目86単位以上 合計142単位以上												
4 履修科目の登録の上限 48単位(年間)												

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	看護の未来を共創するステージ	看護熟練の技	安全・安楽な ポジショニングの技	4前		1		1						
			排便ケア	4前		1		1						
			看護リーダー	4前		1		1						
			食と看護	4後		1		1						
			タッチケア・スキル	4後		1		1						
			ノンテクニカル・ スキル	4後		1		1						
			MMPI心理検査と 看護ケア	4後		1		1						
			看護未来創出	グローバル感染対策	4前		1		1					
		看護技術の科学的 検証		4前		1		1						1
		地域の健康課題と 多職種連携		4前		1		1						
		統合医療		4後		1			1					
		地域包括ケア		4後		1		1						
		チーム医療論		4前		2								2
		看護と異文化理解		4通		2		1						
		研究方法論		4前	2			1						
		卒業研究	4通	4			10	2						
	小計(4科目)	—	6	16	0	10	2	0	0	0	3			
合計(138科目)			—	108	114	8	10	2	4	9	4	68		
卒業要件及び履修方法														
1 共通教育科目(計31単位以上) (1)導入科目 必修8単位 (2)一般科目 人間力6単位以上、社会力4単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上 (3)英語科目 必修8単位														
2 専門基礎科目(計25単位) (1)人の健康を知るステージ 必修13単位 (2)人の健康問題を考えるステージ 必修12単位														
3 専門科目(計71単位以上) (1)看護とは何かを理解するステージ 必修19単位 (2)看護ケア能力を育てるステージ 必修32単位 (3)看護ケア能力を広げるステージ 必修10単位 ※保健師選択者は、更に必修15単位 (4)看護の未来を共創するステージ 必修 6単位、選択必修4単位以上														
以上、共通教育31単位以上、専門基礎科目25単位、専門科目71単位以上、合計127単位以上 ※保健師選択者は、専門科目86単位以上 合計142単位以上														
4 履修科目の登録の上限 48単位(年間)														

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	導入科目	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ	1前	1		1		1	1		3
		アカデミック・スキルズ	1前	1							11
		テーマ別基礎ゼミ	1後	2		3	1	1			5
		情報処理基礎	1前	2							6
		南加賀の歴史と文化	1後	2							1
	小計(5科目)		—	8	0	4	1	2	1	0	24
	一般科目（人間力）	哲学	1前	2							1
		心理学	1前	2							1
		人間の発達と心	1前	2							1
		日本の伝統芸能	1前	2							1
		人文地理学	1後	2							1
		文化人類学	1後	2							1
		医療と文化	1後	2							1
		文章表現法	1後	2							1
		言葉と文化	1後	2							2
	小計(9科目)		—	0	18	0	0	0	0	0	8
	一般科目（社会力）	日本産業史	1前	2							4
		自然資源と環境問題	1前	2							1
		経済学	1前	2							2
		政治学	1後	2							2
		社会学	1後	2							1
		公共政策論	1後	2							1
		社会福祉論	1後	2							1
		日本国憲法	1後	2							1
	小計(8科目)		—	0	16	0	0	0	0	0	13
共通教育科目	一般科目（科学力）	データ科学と社会	1後	2							3
		情報処理応用A	1後	2							2
		情報処理応用B	1後	2							1
		クリティカルシンキング	1後	2							1
		統計学	1後	2							2
		教養としての物理	1前	2							2
		教養としての数学	1前	2							2
		現代科学技術論	1前	2							5
	小計(8科目)		—	0	16	0	0	0	0	0	14
	一般科目（健康と体力）	健康と体の科学	1前	2		1					1
		スポーツ演習（バレーボール）	1前・後	1							1
		スポーツ演習（硬式テニス）	1前	1							1
		スポーツ演習（フットサル）	1前・後	1							1
		スポーツ演習（卓球）	1後	1							1
		スポーツ演習（バドミントン）	1前・後	1							1
	小計(6科目)		—	0	7	0	1	0	0	0	2
	英語科目	英語Ⅰa	1前	2							5
		英語Ⅰb	1前	2							3
		英語Ⅱa	1後	2							3
		英語Ⅱb	1後	2							4
		英語Ⅲ	1後	2							1
		英会話Ⅰ	1後	2							1
		英会話Ⅱ	1後	2							1
		実用英語Ⅰ	1前・後	2		2					1
		実用英語Ⅱ	1前・後	2		2					1
		実用英語Ⅲ	1前・後	2		2					1
		実用英語Ⅳ	1前・後	2		2					1
	小計(11科目)		—	8	6	8	0	0	0	0	11

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	その他外国語科目	中国語Ⅰ	1前	2							1
		中国語Ⅱ	1後	2							1
		フランス語Ⅰ	1前	2							1
		フランス語Ⅱ	1後	2							1
		ドイツ語Ⅰ	1前	2							1
		ドイツ語Ⅱ	1後	2							1
		ロシア語Ⅰ	1前	2							1
		ロシア語Ⅱ	1後	2							1
		スペイン語Ⅰ	1前	2							1
		スペイン語Ⅱ	1後	2							1
		小計(10科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	5
専門基礎科目	人の身体と心を知るステージ	解剖学	1前	2							1
		生理学	1前	2							1
		病理学	1後	2							1
		心の健康とストレスマネジメント論	1前	1		2					
		感染免疫学	1後	2							1
		栄養・生化学	1後	2							2
		薬理学	1後	2							1
		小計(7科目)	—	13	0	0	2	0	0	0	5
	人の健康問題を考えるステージ	認知症ケア論	1後	1			1				
		老年疾病・治療論	2前	1							1
		公衆衛生学	2前	1							1
		急性疾患論	2前	1							1
		母子疾病・治療論	2前	2							1
		生活習慣病論	2後	2							1
		保健医療福祉法制度論	2後	2							1
		疫学・保健統計学	2後	2		1					
		小計(8科目)	—	12	0	0	2	0	0	0	6
専門科目	看護とは何かを理解するステージ	市民健康論	1前	1			3				
		看護学概論	1後	1			2				
		基礎看護実習Ⅰ	1後	1			2		3		
		看護の技基礎コースⅠ(療養上の世話)	2前	2			2				
		看護の技基礎コースⅡ(フィジカルアセスメント)	2前	1			2				
		看護の技基礎コースⅢ(診療の補助)	2後	2			2				
		看護ケア提供論: 看護理論と看護過程	2前	1		1					
		看護の品格育成論	2前	1		2					
		看護倫理	2前	1		1					
		基礎看護実習Ⅱ	2後	2		2			3		
		精神保健看護学概論	2前	1		1					
		精神保健看護ケア提供論	2前	2		1					
		精神保健看護演習	2後	1		1					
		精神保健看護実習Ⅰ	2後	1		1			2		
		精神保健看護実習Ⅱ	3通	1		1			2		
		小計(15科目)	—	19	0	0	7	0	0	5	0

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門科目	看護ケア能力を育てるステージ	老年看護学概論	2前	1			1					
		老年看護ケア提供論	2前	1			1					
		老年看護演習	2後	2			1		1			
		老年看護実習Ⅰ	3通	2			1		1	1		
		老年看護実習Ⅱ	3通	2			1		1	1	1	
		成人看護学概論	2前	1			1					
		成人看護ケア提供論	2前	2			1	1				
		成人看護演習	3前	3			1	1				
		成人看護実習Ⅰ(急性)	3通	2			1	1	1	1		
		成人看護実習Ⅱ(慢性)	3通	2			1	1	1	1		
		成人看護実習Ⅲ(回復・維持)	3通	2			1	1	1	1		
		母性看護学概論	2前	1			1					
		母性看護ケア提供論	2前	1			1					
		母性看護演習	3前	2			1					
		母性看護実習	3通	2			1				2	
		小児看護学概論	2前	1			1					
		小児看護ケア提供論	2前	1			1					
		小児看護実習	3前	2			1					
		小児看護実習Ⅰ	2後	1			1					
		小児看護実習Ⅱ	3通	1			1				2	
	小計(20科目)	一	32	0	0	4	1	2	3	3	0	
	看護ケア能力を拡げるステージ	在宅看護学概論	2後	1			1					
		在宅看護ケア提供論	2後	1			1					
		在宅看護演習	3前	2			1					
		在宅看護実習	3通	2			1	1			1	
		看護統合実習	4前	2			8	1	3	8	4	
		公衆衛生看護学概論	2後	1			1					
		健康教育論	2後	1			1			1		
		公衆衛生看護方法論Ⅰ(対象別)	3後		1		1					
		公衆衛生看護方法論Ⅱ(公衆衛生看護技術)	3後		1		1					
		公衆衛生看護方法論Ⅲ(学校・産業・災害)	4前		2		1	1				
		公衆衛生看護方法論Ⅳ(地域看護診断)	4前		1		1	1				
		公衆衛生看護方法論Ⅴ(健康診査・家庭訪問・健康教育)	4前		2		1	1				
		公衆衛生看護管理論	4前		1		1					
		疫学・保健統計学演習	3後		2		1					
		公衆衛生看護実習	4通		5		1	1		1		
		小計(15科目)	一	10	15	0	10	2	4	9	4	0

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門科目	看護の未来を共創するステージ	安全・安楽な ポジショニングの技	4前		1		1					
		排便ケア	4前		1		1					
		看護リーダー	4前		1		1					
		食と看護	4後		1		1					
		タッチケア・スキル	4後		1		1					
		ノンテクニカル・ スキル	4後		1		1					
		MMPI心理検査と 看護ケア	4後		1		1					
		グローバル感染対	4前		1		1					
		看護技術の科学的 検証	4前		1		1					1
		地域の健康課題と 多職種連携	4前		1		1					
	統合医療	4後		1			1					
	地域包括ケア	4後		1		1						
	看護未来創出	チーム医療論	4前		2							2
		看護と異文化理解	4通		2		1					
		研究方法論	4前	2			1					
		卒業研究	4通	4			10	2				
		小計(4科目)	—	6	16	0	10	2	0	0	0	3
合計(138科目)			—	108	114	8	10	2	4	9	4	68
卒業要件及び履修方法												
1 共通教育科目(計31単位以上) (1)導入科目 必修8単位 (2)一般科目 人間力6単位以上、社会力4単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上 (3)英語科目 必修8単位												
2 専門基礎科目(計25単位) (1)人の健康を知るステージ 必修13単位 (2)人の健康問題を考えるステージ 必修12単位												
3 専門科目(計71単位以上) (1)看護とは何かを理解するステージ 必修19単位 (2)看護ケア能力を育てるステージ 必修32単位 (3)看護ケア能力を広げるステージ 必修10単位 ※保健師選択者は、更に必修15単位 (4)看護の未来を共創するステージ 必修 6単位、選択必修4単位以上												
以上、共通教育31単位以上、専門基礎科目25単位、専門科目71単位以上、合計127単位以上 ※保健師選択者は、専門科目86単位以上 合計142単位以上												
4 履修科目の登録の上限 48単位(年間)												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・教育内容の向上を図るため、「医療と文化」の担当教員を「兼任教員」から「兼任教員」に変更（授業科目表上は変更なし）。
- ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「日本国憲法」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「データ科学と社会」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
（30年度において、翌年度より専任教員となる新田雅道教授が兼任教員として授業を担当）
- ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「統計学」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・兼任教員に係る時間割調整に伴う共通教育科目（一般科目（科学力））における学生の授業履修の調整を行うため、「教養としての数学」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。
- ・1年を通じて人体の構造と機能に関する知識の修得を図るため、「病理学」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
（当初1年前期に解剖学、生理学、病理学を開講する予定であったが、1年前期に解剖学、生理学を学び、その理解のもとで病理学を学ぶことで、より効果的な教育を実施していくため1年後期に病理学を配置変更した。）

【令和元年度】

- ・教育効果の向上を図るため、「老年看護演習」の開講時期を「2後」から「3前」に変更し、「成人看護演習」の開講時期を「3前」から「2後」に変更（「成人看護演習」を先に学ぶことにより、「老年看護演習」のより効果的な教育を実施できるため）。

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
68 科目	66 科目	4 科目	138 科目	68 科目 [0]	66 科目 [0]	4 科目 [0]	138 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{138} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	末広キャンパス 借用面積：3,676 m ² 借用期間：25年			
	校 舎 敷 地	18,962.05 m ²	0 m ²	0 m ²	18,962.05 m ²				
	運動場用地	14,271.00 m ²	0 m ²	0 m ²	14,271.00 m ²				
	小 計	33,233.05 m ²	0 m ²	0 m ²	33,233.05 m ²				
	そ の 他	8,251.28 m ²	0 m ²	0 m ²	8,251.28 m ²				
	合 計	41,484.33 m ²	0 m ²	0 m ²	41,484.33 m ²				
(2) 校 舎		専 用 16,305.47 m ² (4,555.95 m ²)	共 用 0 m ² (3,644.67 m ²)	共用する他の 学校等の専用 0 m ² (4,926.47 m ²)	計 16,305.47 m ² (13,127.09m ²)	末広キャンパス 借用面積：930 m ² 借用期間：25年 中央キャンパス 借用面積：4,030 m ² 借用期間：25年			
(3) 教 室 等		講 義 室 23 室	演 習 室 12 室	実験実習室 18 室	情報処理学習施設 0 室 (補助職員 0人)	語学学習施設 0 室 (補助職員 0人)	大学全体		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 保健医療学部 看護学科			室 数 16 室				
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種 電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	保健医療学部 看護学科	9,918 [111] (9,960 [104])	46 [29] (893 [869])	3 [3] (869 [865])	867 (935)	103 (95)	93 (85)		
	計	9,918 [111] (9,960 [104])	46 [29] (893 [869])	3 [3] (869 [865])	867 (935)	103 (95)	93 (85)		
(6) 図 書 館		面 積 909.83 m ²		閱 覧 座 席 数 118 席		収 納 可 能 冊 数 80,000 冊		大学全体	
(7) 体 育 館		面 積 960.00 m ²		体育館以外のスポーツ施設の概要 －				大学全体	
(8)経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共通教育用の図書につ いては、国際文化交流 学部の図書として算定 を行っている (30) 設備の位置をについて リースにて対応するこ ととしたため (30) 設備購入費は大学全体
		教員 1 人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	5,211千円 4,147千円	5,211千円	2,933千円	
		共 同 研 究 費 等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	130,000千円 111,156千円	98,000千円	3,000千円	
	学生 1 人当 り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		市内学生918千 円	636千円	636千円	636千円	－ 千円	－ 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			大学運営費交付金、資産運用収入、雑収入 等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	公 立 小 松 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
生産システム科学部	4	80	-	320	-	-	-	平成30	-	
生産システム科学科	4	80	-	320	学士 (工学)	1.01	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市四丁町又1-3	
保健医療学部	4	80	-	320	-	-	-	平成30	-	
看護学科	4	50	-	200	学士 (看護学)	1.03	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市向本折町へ14-1	
臨床工学科	4	30	-	120	学士 (臨床工 学)	1.06	-	平成30	同上	
国際文化交流学部	4	80	-	320	-	-	-	平成30	-	
国際文化交流学科	4	80	-	320	学士 (国際文化 学)	1.03	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10	
大学全体	4	240	-	960	-	1.03	-	平成30	-	
大 学 の 名 称	小 松 短 期 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍				
該当なし	-	-	-	-	-	-	-	昭和63	石川県小松市四丁町又1-3	平成30年4月学生募集停止 平成31年4月地域創造学科の廃止を届出 現在専攻科のみ

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科及び別科を除く)。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を

・通信教育課程の開設の場合:「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

5 教員組織の状況

<保健医療学部 看護学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	北岡 和代 (64) ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		心の健康とストレスマネジメント論 ※ 看護倫理 精神保健看護学概論 精神保健看護ケア提供論 精神保健看護演習 精神保健看護実習Ⅰ 精神保健看護実習Ⅱ 看護統合実習 卒業研究 看護と異文化理解
専	教授	森川 浩子 (64) ＜平成30年4月＞ 修士（教育学）
		テーマ別基礎ゼミ 小児看護学概論 小児看護ケア提供論 小児看護演習 小児看護実習Ⅰ 小児看護実習Ⅱ 看護統合実習 卒業研究
専	教授	中島 素子 (65) ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		健康と体の科学 ※ 市民健康論 ※ 公衆衛生看護学概論 健康教育論 公衆衛生看護方法論Ⅰ （対象別） 公衆衛生看護方法論Ⅱ （公衆衛生看護技術） 公衆衛生看護方法論Ⅲ （学校・産業・災害） ※ 公衆衛生看護方法論Ⅳ （地域看護診断） 公衆衛生看護方法論Ⅴ （健康診査・家庭訪問・健康教育） 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護実習 卒業研究

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	北岡 和代 (64) ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		心の健康とストレスマネジメント論 ※ 看護倫理 精神保健看護学概論 精神保健看護ケア提供論 精神保健看護演習 精神保健看護実習Ⅰ 精神保健看護実習Ⅱ 看護統合実習 卒業研究 看護と異文化理解
専	教授	森川 浩子 (64) ＜平成30年4月＞ 修士（教育学）
		テーマ別基礎ゼミ 小児看護学概論 小児看護ケア提供論 小児看護演習 小児看護実習Ⅰ 小児看護実習Ⅱ 看護統合実習 卒業研究
専	教授	中島 素子 (65) ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		健康と体の科学 ※ 市民健康論 ※ 公衆衛生看護学概論 健康教育論 公衆衛生看護方法論Ⅰ （対象別） 公衆衛生看護方法論Ⅱ （公衆衛生看護技術） 公衆衛生看護方法論Ⅲ （学校・産業・災害） ※ 公衆衛生看護方法論Ⅳ （地域看護診断） 公衆衛生看護方法論Ⅴ （健康診査・家庭訪問・健康教育） 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護実習 卒業研究

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	北岡 和代 (65) ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		心の健康とストレスマネジメント論 ※ 看護倫理 精神保健看護学概論 精神保健看護ケア提供論 精神保健看護演習 精神保健看護実習Ⅰ 精神保健看護実習Ⅱ 看護統合実習 卒業研究 看護と異文化理解
専	教授	森川 浩子 (65) ＜平成30年4月＞ 修士（教育学）
		テーマ別基礎ゼミ 小児看護学概論 小児看護ケア提供論 小児看護演習 小児看護実習Ⅰ 小児看護実習Ⅱ 看護統合実習 卒業研究
専	教授	中島 素子 (66) ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		健康と体の科学 ※ 市民健康論 ※ 公衆衛生看護学概論 健康教育論 公衆衛生看護方法論Ⅰ （対象別） 公衆衛生看護方法論Ⅱ （公衆衛生看護技術） 公衆衛生看護方法論Ⅲ （学校・産業・災害） ※ 公衆衛生看護方法論Ⅳ （地域看護診断） 公衆衛生看護方法論Ⅴ （健康診査・家庭訪問・健康教育） 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護実習 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鋤柄 増根 (65) ＜平成31年4月＞ 教育学修士
		心の健康とストレスマネジメント論 ※ 疫学・保健統計学 疫学・保健統計学演習 研究方法論 卒業研究 MMPI心理検査と看護77
専	教授	内田 美保 (59) ＜平成30年4月＞ 修士（感染制御学）
		テーマ別基礎ゼミ 市民健康論 ※ 看護学概論 ※ 基礎看護実習Ⅰ 看護の技基礎コースⅠ （療養上の世話） 看護の技基礎コースⅡ （フィジカルアセスメント） 看護の技基礎コースⅢ （診療の補助） 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習 卒業研究 看護リーダー グローバル感染対策
専	教授	小泉 由美 (59) ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		テーマ別基礎ゼミ 認知症ケア論 看護の品格育成論 老年看護学概論 老年看護ケア提供論 老年看護演習 老年看護実習Ⅰ 老年看護実習Ⅱ 看護統合実習 卒業研究 タッチケア・スキル
専	教授	松井 優子 (52) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		看護学概論 ※ 基礎看護実習Ⅰ 看護の技基礎コースⅠ （療養上の世話） 看護ケア提供論：看護理論と看護過程 看護の技基礎コースⅡ （フィジカルアセスメント） 看護の技基礎コースⅢ （診療の補助） 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習 卒業研究 安全・安楽なポジショニングの技 ノンテクニカル・スキル 看護技術の科学的検証

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鋤柄 増根 (64) ＜平成31年4月＞ 教育学修士
		心の健康とストレスマネジメント論 ※ 疫学・保健統計学 疫学・保健統計学演習 研究方法論 卒業研究 MMPI心理検査と看護77
専	教授	内田 美保 (59) ＜平成30年4月＞ 修士（感染制御学）
		テーマ別基礎ゼミ 市民健康論 ※ 看護学概論 ※ 基礎看護実習Ⅰ 看護の技基礎コースⅠ （療養上の世話） 看護の技基礎コースⅡ （フィジカルアセスメント） 看護の技基礎コースⅢ （診療の補助） 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習 卒業研究 看護リーダー グローバル感染対策
専	教授	小泉 由美 (59) ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		テーマ別基礎ゼミ 認知症ケア論 看護の品格育成論 老年看護学概論 老年看護ケア提供論 老年看護演習 老年看護実習Ⅰ 老年看護実習Ⅱ 看護統合実習 卒業研究 タッチケア・スキル
専	教授	松井 優子 (52) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		看護学概論 ※ 基礎看護実習Ⅰ 看護の技基礎コースⅠ （療養上の世話） 看護ケア提供論：看護理論と看護過程 看護の技基礎コースⅡ （フィジカルアセスメント） 看護の技基礎コースⅢ （診療の補助） 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習 卒業研究 安全・安楽なポジショニングの技 ノンテクニカル・スキル 看護技術の科学的検証

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鋤柄 増根 (65) ＜平成31年4月＞ 教育学修士
		心の健康とストレスマネジメント論 ※ 疫学・保健統計学 疫学・保健統計学演習 研究方法論 卒業研究 MMPI心理検査と看護77
専	教授	内田 美保 (60) ＜平成30年4月＞ 修士（感染制御学）
		テーマ別基礎ゼミ 市民健康論 ※ 看護学概論 ※ 基礎看護実習Ⅰ 看護の技基礎コースⅠ （療養上の世話） 看護の技基礎コースⅡ （フィジカルアセスメント） 看護の技基礎コースⅢ （診療の補助） 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習 卒業研究 看護リーダー グローバル感染対策
専	教授	小泉 由美 (60) ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		テーマ別基礎ゼミ 認知症ケア論 看護の品格育成論 老年看護学概論 老年看護ケア提供論 老年看護演習 老年看護実習Ⅰ 老年看護実習Ⅱ 看護統合実習 卒業研究 タッチケア・スキル
専	教授	松井 優子 (53) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		看護学概論 ※ 基礎看護実習Ⅰ 看護の技基礎コースⅠ （療養上の世話） 看護ケア提供論：看護理論と看護過程 看護の技基礎コースⅡ （フィジカルアセスメント） 看護の技基礎コースⅢ （診療の補助） 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習 卒業研究 安全・安楽なポジショニングの技 ノンテクニカル・スキル 看護技術の科学的検証

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	徳田 真由美 (52) ＜平成30年4月＞ 博士（看護学）
		市民健康論 ※ 在宅看護学概論 在宅看護ケア提供論 在宅看護演習 在宅看護実習 看護統合実習 卒業研究 排便ケア 地域包括ケア
専	教授	坂本 めぐみ (53) ＜平成31年4月＞ 博士（保健学）
		母性看護学概論 母性看護ケア提供論 母性看護演習 母性看護実習 看護統合実習 卒業研究 食と看護 地域の健康課題と多職種連携
専	教授	山崎 松美 (42) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 看護の品格育成論 成人看護学概論 成人看護ケア提供論 ※ 成人看護演習 成人看護実習Ⅰ（急性） 成人看護実習Ⅱ（慢性） 成人看護実習Ⅲ（回復・維持） 看護統合実習 卒業研究
専	准教授	日下 純子 (64) ＜平成30年4月＞ 修士（社会福祉学） 修士（看護学）
		テーマ別基礎ゼミ 在宅看護実習 公衆衛生看護方法論Ⅲ （学校・産業・災害） ※ 公衆衛生看護方法論Ⅳ （地域看護診断） 公衆衛生看護方法論Ⅴ （健康診査・家庭訪問・健康教育） 公衆衛生看護実習 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	徳田 真由美 (52) ＜平成30年4月＞ 博士（看護学）
		市民健康論 ※ 在宅看護学概論 在宅看護ケア提供論 在宅看護演習 在宅看護実習 看護統合実習 卒業研究 排便ケア 地域包括ケア
専	教授	坂本 めぐみ (52) ＜平成31年4月＞ 博士（保健学）
		母性看護学概論 母性看護ケア提供論 母性看護演習 母性看護実習 看護統合実習 卒業研究 食と看護 地域の健康課題と多職種連携
専	教授	山崎 松美 (42) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 看護の品格育成論 成人看護学概論 成人看護ケア提供論 ※ 成人看護演習 成人看護実習Ⅰ（急性） 成人看護実習Ⅱ（慢性） 成人看護実習Ⅲ（回復・維持） 看護統合実習 卒業研究
専	准教授	日下 純子 (64) ＜平成30年4月＞ 修士（社会福祉学） 修士（看護学）
		テーマ別基礎ゼミ 在宅看護実習 公衆衛生看護方法論Ⅲ （学校・産業・災害） ※ 公衆衛生看護方法論Ⅳ （地域看護診断） 公衆衛生看護方法論Ⅴ （健康診査・家庭訪問・健康教育） 公衆衛生看護実習 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	徳田 真由美 (53) ＜平成30年4月＞ 博士（看護学）
		市民健康論 ※ 在宅看護学概論 在宅看護ケア提供論 在宅看護演習 在宅看護実習 看護統合実習 卒業研究 排便ケア 地域包括ケア
専	教授	坂本 めぐみ (53) ＜平成31年4月＞ 博士（保健学）
		母性看護学概論 母性看護ケア提供論 母性看護演習 母性看護実習 看護統合実習 卒業研究 食と看護 地域の健康課題と多職種連携
専	教授	山崎 松美 (43) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 看護の品格育成論 成人看護学概論 成人看護ケア提供論 ※ 成人看護演習 成人看護実習Ⅰ（急性） 成人看護実習Ⅱ（慢性） 成人看護実習Ⅲ（回復・維持） 看護統合実習 卒業研究
専	准教授	日下 純子 (65) ＜平成30年4月＞ 修士（社会福祉学） 修士（看護学）
		テーマ別基礎ゼミ 在宅看護実習 公衆衛生看護方法論Ⅲ （学校・産業・災害） ※ 公衆衛生看護方法論Ⅳ （地域看護診断） 公衆衛生看護方法論Ⅴ （健康診査・家庭訪問・健康教育） 公衆衛生看護実習 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	佐藤 大介 (38) ＜平成30年4月＞ 博士（看護学）
		成人看護ケア提供論 ※ 成人看護演習 成人看護実習Ⅰ（急性） 成人看護実習Ⅱ（慢性） 成人看護実習Ⅲ（回復・維持） 看護統合実習 卒業研究 統合医療
専	講師	油野 規代 (60) ＜平成30年4月＞ 修士（保健学）
		老年看護演習 老年看護実習Ⅰ 老年看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	講師	松村 愛都 (60) ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）
		テーマ別基礎ゼミ 成人看護実習Ⅰ（急性） 成人看護実習Ⅱ（慢性） 成人看護実習Ⅲ（回復・維持） 看護統合実習
専	講師	清水 由加里 (50) ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 看護統合実習
専	助教	池田 美智子 (58) ＜平成30年4月＞ 修士（保健学）
		健康教育論 公衆衛生看護実習
専	助教	片山 美穂 (54) ＜令和2年4月＞ 修士（保健学）
		精神保健看護実習Ⅰ 精神保健看護実習Ⅱ 看護統合実習
兼任	助教	片山 美穂 (53) ＜平成31年4月＞ 修士（保健学）
		精神保健看護実習Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	佐藤 大介 (38) ＜平成30年4月＞ 博士（看護学）
		成人看護ケア提供論 ※ 成人看護演習 成人看護実習Ⅰ（急性） 成人看護実習Ⅱ（慢性） 成人看護実習Ⅲ（回復・維持） 看護統合実習 卒業研究 統合医療
専	講師	油野 規代 (60) ＜平成30年4月＞ 修士（保健学）
		老年看護演習 老年看護実習Ⅰ 老年看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	講師	松村 愛都 (60) ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）
		テーマ別基礎ゼミ 成人看護実習Ⅰ（急性） 成人看護実習Ⅱ（慢性） 成人看護実習Ⅲ（回復・維持） 看護統合実習
専	講師	清水 由加里 (50) ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 看護統合実習
専	助教	池田 美智子 (58) ＜平成30年4月＞ 修士（保健学）
		健康教育論 公衆衛生看護実習
専	助教	片山 美穂 (52) ＜令和2年4月＞ 修士（保健学）
		精神保健看護実習Ⅰ 精神保健看護実習Ⅱ 看護統合実習
兼任	助教	片山 美穂 (52) ＜平成31年4月＞ 修士（保健学）
		精神保健看護実習Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	佐藤 大介 (39) ＜平成30年4月＞ 博士（看護学）
		成人看護ケア提供論 ※ 成人看護演習 成人看護実習Ⅰ（急性） 成人看護実習Ⅱ（慢性） 成人看護実習Ⅲ（回復・維持） 看護統合実習 卒業研究 統合医療
専	講師	油野 規代 (61) ＜平成30年4月＞ 修士（保健学）
		老年看護演習 老年看護実習Ⅰ 老年看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	講師	松村 愛都 (61) ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）
		テーマ別基礎ゼミ 成人看護実習Ⅰ（急性） 成人看護実習Ⅱ（慢性） 成人看護実習Ⅲ（回復・維持） 看護統合実習
専	講師	清水 由加里 (51) ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 看護統合実習
専	助教	池田 美智子 (59) ＜平成30年4月＞ 修士（保健学）
		健康教育論 公衆衛生看護実習
専	助教	片山 美穂 (53) ＜令和2年4月＞ 修士（保健学）
		精神保健看護実習Ⅰ 精神保健看護実習Ⅱ 看護統合実習
兼任	助教	片山 美穂 (53) ＜平成31年4月＞ 修士（保健学）
		精神保健看護実習Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	加藤 千夏 (47) ＜平成30年4月＞ 修士（保健学）
		基礎看護実習Ⅰ 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	助教	小田 梓 (36) ＜平成31年4月＞ 修士（保健学）
		小児看護実習Ⅰ 小児看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	助教	上田 映美 (34) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		基礎看護実習Ⅰ 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	助教	鈴木 由依子 (36) ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）
		成人看護実習Ⅰ（急性） 成人看護実習Ⅱ（慢性） 成人看護実習Ⅲ（回復・維持） 看護統合実習
専	助教	藤田 結香里 (30) ＜平成30年4月＞ 修士（保健学）
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 基礎看護実習Ⅰ 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	助教	誉田 恵理 (29) ＜平成30年4月＞ 修士（保健学）
		老年看護実習Ⅰ 老年看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	助教	相上 律子 (28) ＜平成31年4月＞ 修士（保健学）
		精神保健看護実習Ⅰ 精神保健看護実習Ⅱ 看護統合実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	加藤 千夏 (47) ＜平成30年4月＞ 修士（保健学）
		基礎看護実習Ⅰ 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	助教	小田 梓 (35) ＜平成31年4月＞ 修士（保健学）
		小児看護実習Ⅰ 小児看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	助教	上田 映美 (34) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		基礎看護実習Ⅰ 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	助教	鈴木 由依子 (34) ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）
		成人看護実習Ⅰ（急性） 成人看護実習Ⅱ（慢性） 成人看護実習Ⅲ（回復・維持） 看護統合実習
専	助教	藤田 結香里 (30) ＜平成30年4月＞ 修士（保健学）
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 基礎看護実習Ⅰ 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	助教	誉田 恵理 (29) ＜平成30年4月＞ 修士（保健学）
		老年看護実習Ⅰ 老年看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	助教	相上 律子 (27) ＜平成31年4月＞ 修士（保健学）
		精神保健看護実習Ⅰ 精神保健看護実習Ⅱ 看護統合実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	加藤 千夏 (48) ＜平成30年4月＞ 修士（保健学）
		基礎看護実習Ⅰ 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	助教	小田 梓 (36) ＜平成31年4月＞ 修士（保健学）
		小児看護実習Ⅰ 小児看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	助教	上田 映美 (35) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		基礎看護実習Ⅰ 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	助教	鈴木 由依子 (35) ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）
		成人看護実習Ⅰ（急性） 成人看護実習Ⅱ（慢性） 成人看護実習Ⅲ（回復・維持） 看護統合実習
専	助教	藤田 結香里 (31) ＜平成30年4月＞ 修士（保健学）
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 基礎看護実習Ⅰ 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	助教	誉田 恵理 (30) ＜平成30年4月＞ 修士（保健学）
		老年看護実習Ⅰ 老年看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	助教	相上 律子 (28) ＜平成31年4月＞ 修士（保健学）
		精神保健看護実習Ⅰ 精神保健看護実習Ⅱ 看護統合実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	木村 繁男 (67) ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)
		現代科学技術論 ※
兼任	教授	山田 外史 (68) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		日本産業史 ※
兼任	教授	山田 良穂 (66) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※
兼任	教授	安達 正明 (66) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 教養としての物理 現代科学技術論 ※
兼任	教授	木村 春彦 (66) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼任	教授	川端 信義 (65) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		現代科学技術論 ※
兼任	教授	田村 博志 (65) ＜平成31年4月＞ 理学博士
		教養としての数学 統計学 現代科学技術論 ※
兼任	講師	田村 博志 (64) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		現代科学技術論 ※
兼任	教授	岩田 佳雄 (65) ＜平成31年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	木村 繁男 (67) ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)
		現代科学技術論 ※
兼任	教授	山田 外史 (68) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		日本産業史 ※
兼任	教授	山田 良穂 (67) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※
兼任	教授	安達 正明 (66) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 教養としての物理 現代科学技術論 ※
兼任	教授	木村 春彦 (66) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼任	教授	川端 信義 (65) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		現代科学技術論 ※
兼任	教授	田村 博志 (64) ＜平成31年4月＞ 理学博士
		教養としての数学 統計学 現代科学技術論 ※
兼任	講師	田村 博志 (64) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		現代科学技術論 ※
兼任	教授	岩田 佳雄 (64) ＜平成31年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	木村 繁男 (68) ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)
		現代科学技術論 ※
兼任	教授	山田 外史 (69) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		日本産業史 ※
兼任	教授	山田 良穂 (68) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※
兼任	教授	安達 正明 (67) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 教養としての物理 現代科学技術論 ※
兼任	教授	木村 春彦 (67) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼任	教授	川端 信義 (66) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		現代科学技術論 ※
兼任	教授	田村 博志 (65) ＜平成31年4月＞ 理学博士
		教養としての数学 統計学 現代科学技術論 ※
兼任	講師	田村 博志 (65) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		現代科学技術論 ※
兼任	教授	岩田 佳雄 (65) ＜平成31年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岩田 佳雄 (64) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		日本産業史 ※
兼任	教授	新田 雅道 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）
		アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※
兼任	講師	新田 雅道 (59) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※
兼任	教授	富澤 淳 (59) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		日本産業史 ※
兼任	教授	上田 芳弘 (60) ＜令和3年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼任	准教授	石若 裕子 (51) ＜令和3年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 情報処理応用 A
兼任	准教授	疋津 正利 (47) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎
兼任	准教授	梶原 祐輔 (32) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 情報処理応用 A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岩田 佳雄 (64) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		日本産業史 ※
兼任	教授	新田 雅道 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）
		アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※
兼任	講師	新田 雅道 (59) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※
兼任	教授	富澤 淳 (59) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		日本産業史 ※
兼任	教授	上田 芳弘 (58) ＜令和3年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼任	准教授	石若 裕子 (49) ＜令和3年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 情報処理応用 A
兼任	准教授	疋津 正利 (47) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎
兼任	准教授	梶原 祐輔 (32) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 情報処理応用 A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岩田 佳雄 (65) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		日本産業史 ※
兼任	教授	新田 雅道 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）
		アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※
兼任	講師	新田 雅道 (60) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※
兼任	教授	富澤 淳 (60) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		日本産業史 ※
兼任	教授	上田 芳弘 (59) ＜令和3年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼任	准教授	石若 裕子 (50) ＜令和3年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 情報処理応用 A
兼任	准教授	疋津 正利 (48) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎
兼任	准教授	梶原 祐輔 (33) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 情報処理応用 A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	真田 茂 (66) ＜平成30年4月＞ 博士(工学) 博士(医学)
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ チーム医療論
兼任	教授	中山 謙二 (72) ＜平成31年4月＞ 工学博士
		統計学
兼任	講師	中山 謙二 (71) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		統計学
兼任	教授	井関 尚一 (66) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		解剖学 生理学 病理学
兼任	講師	深澤 伸慈 (66) ＜令和2年4月＞ 専門学校卒
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ チーム医療論
兼任	教授	深澤 伸慈 (64) ＜平成30年4月＞ 専門学校卒
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ
兼任	教授	平山 順 (42) ＜平成30年4月＞ 博士 (人間・環境学)
		テーマ別基礎ゼミ
兼任	准教授	野川 雅道 (46) ＜平成30年4月＞ 修士(工学)
		テーマ別基礎ゼミ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	真田 茂 (66) ＜平成30年4月＞ 博士(工学) 博士(医学)
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ チーム医療論
兼任	教授	中山 謙二 (71) ＜平成31年4月＞ 工学博士
		統計学
兼任	講師	中山 謙二 (71) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		統計学
兼任	教授	井関 尚一 (66) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		解剖学 生理学 病理学
兼任	講師	深澤 伸慈 (64) ＜令和2年4月＞ 専門学校卒
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ チーム医療論
兼任	教授	深澤 伸慈 (64) ＜平成30年4月＞ 専門学校卒
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ
兼任	教授	平山 順 (42) ＜平成30年4月＞ 博士 (人間・環境学)
		テーマ別基礎ゼミ
兼任	准教授	野川 雅道 (46) ＜平成30年4月＞ 修士(工学)
		テーマ別基礎ゼミ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	真田 茂 (67) ＜平成30年4月＞ 博士(工学) 博士(医学)
		キャリアデザイン・チーム 論Ⅱ チーム医療論
兼任	教授	中山 謙二 (72) ＜平成31年4月＞ 工学博士
		統計学
兼任	講師	中山 謙二 (72) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		統計学
兼任	教授	井関 尚一 (67) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		解剖学 生理学 病理学
兼任	講師	深澤 伸慈 (65) ＜令和2年4月＞ 専門学校卒
		キャリアデザイン・チーム 論Ⅱ チーム医療論
兼任	教授	深澤 伸慈 (65) ＜平成30年4月＞ 専門学校卒
		キャリアデザイン・チーム 論Ⅱ
兼任	教授	平山 順 (43) ＜平成30年4月＞ 博士 (人間・環境学)
		テーマ別基礎ゼミ
兼任	准教授	野川 雅道 (47) ＜平成30年4月＞ 修士(工学)
		テーマ別基礎ゼミ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	李 鍾昊 (44) ＜平成30年4月＞ 博士（学術）
		テーマ別基礎ゼミ 教養としての物理
兼任	准教授	辻村 真一 (39) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理応用B
兼任	講師	坂元 英雄 (49) ＜平成30年4月＞ 修士（工学）
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ
兼任	講師	井澤 純子 (48) ＜平成30年4月＞ 博士 (情報科学)
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 教養としての数学
兼任	教授	岩田 礼 (65) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※
兼任	教授	宮崎 猛 (67) ＜平成30年4月＞ 農学博士
		アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題
兼任	教授	VANCE, Timothy John (66) ＜平成30年4月＞ Ph. D., linguistics (米国)
		言葉と文化 ※ 英語Ⅰb 英語Ⅱb

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	李 鍾昊 (44) ＜平成30年4月＞ 博士（学術）
		テーマ別基礎ゼミ 教養としての物理
兼任	准教授	藤田 一寿 (39) ＜平成30年7月＞
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理応用B
兼任	講師	坂元 英雄 (50) ＜平成30年4月＞ 修士（工学）
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ
兼任	講師	井澤 純子 (48) ＜平成30年4月＞ 博士 (情報科学)
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 教養としての数学
兼任	教授	岩田 礼 (65) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※
兼任	教授	宮崎 猛 (67) ＜平成30年4月＞ 農学博士
		アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題
兼任	教授	VANCE, Timothy John (66) ＜平成30年4月＞ Ph. D., linguistics (米国)
		言葉と文化 ※ 英語Ⅰb 英語Ⅱb

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	李 鍾昊 (45) ＜平成30年4月＞ 博士（学術）
		テーマ別基礎ゼミ 教養としての物理
兼任	准教授	藤田 一寿 (39) ＜平成30年7月＞
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理応用B
兼任	講師	坂元 英雄 (51) ＜平成30年4月＞ 修士（工学）
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ
兼任	講師	井澤 純子 (49) ＜平成30年4月＞ 博士 (情報科学)
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 教養としての数学
兼任	教授	岩田 礼 (66) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※
兼任	教授	宮崎 猛 (68) ＜平成30年4月＞ 農学博士
		アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題
兼任	教授	VANCE, Timothy John (67) ＜平成30年4月＞ Ph. D., linguistics (米国)
		言葉と文化 ※ 英語Ⅰb 英語Ⅱb

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	盛田 清秀 (65) ＜平成30年4月＞ 博士（農学）
		経済学 ※
兼任	教授	西村 聡 (65) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	講師	西村 聡 (63) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	教授	岡村 徹 (56) ＜平成30年4月＞ 博士 (比較社会文化)
		アカデミック・スキルズ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼任	教授	杓谷 茂樹 (55) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		文化人類学 スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
兼任	教授	刘 迺华 (55) ＜平成30年4月＞ 文学硕士 (中国)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (63) ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy (印国)
		英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	盛田 清秀 (65) ＜平成30年4月＞ 博士（農学）
		経済学 ※
兼任	教授	西村 聡 (63) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	講師	西村 聡 (63) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	教授	岡村 徹 (56) ＜平成30年4月＞ 博士 (比較社会文化)
		アカデミック・スキルズ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼任	教授	杓谷 茂樹 (55) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		文化人類学 スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
兼任	教授	刘 迺华 (55) ＜平成30年4月＞ 文学硕士 (中国)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (63) ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy (印国)
		英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	盛田 清秀 (66) ＜平成30年4月＞ 博士（農学）
		経済学 ※
兼任	教授	西村 聡 (64) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	講師	西村 聡 (64) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	教授	岡村 徹 (57) ＜平成30年4月＞ 博士 (比較社会文化)
		アカデミック・スキルズ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼任	教授	杓谷 茂樹 (56) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		文化人類学 スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
兼任	教授	刘 迺华 (56) ＜平成30年4月＞ 文学硕士 (中国)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (64) ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy (印国)
		英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (50) ＜平成30年4月＞ 博士(創造都市)
		アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	小原 文衛 (49) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		英語Ⅰa 英語Ⅱa
兼任	准教授	一ノ渡 忠之 (43) ＜平成30年4月＞ 博士(商学)
		経済学 ※ ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ
兼任	准教授	木村 誠 (38) ＜平成31年4月＞ 博士(学術)
		アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼任	講師	木村 誠 (37) ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼任	准教授	木場 紗綾 (37) ＜平成30年4月＞ 博士(政治学)
		アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼任	准教授	千葉 悠志 (32) ＜平成30年4月＞ 博士(地域研究)
		アカデミック・スキルズ 政治学 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (50) ＜平成30年4月＞ 博士(創造都市)
		アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	小原 文衛 (49) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		英語Ⅰa 英語Ⅱa
兼任	准教授	一ノ渡 忠之 (43) ＜平成30年4月＞ 博士(商学)
		経済学 ※ ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ
兼任	准教授	木村 誠 (38) ＜平成31年4月＞ 博士(学術)
		アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼任	講師	木村 誠 (38) ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼任	准教授	木場 紗綾 (37) ＜平成30年4月＞ 博士(政治学)
		アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼任	准教授	千葉 悠志 (32) ＜平成30年4月＞ 博士(地域研究)
		アカデミック・スキルズ 政治学 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (51) ＜平成30年4月＞ 博士(創造都市)
		アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	小原 文衛 (50) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		英語Ⅰa 英語Ⅱa
兼任	准教授	一ノ渡 忠之 (44) ＜平成30年4月＞ 博士(商学)
		経済学 ※ ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ
兼任	准教授	木村 誠 (39) ＜平成31年4月＞ 博士(学術)
		アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼任	講師	木村 誠 (39) ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼任	准教授	木場 紗綾 (38) ＜平成30年4月＞ 博士(政治学)
		アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼任	准教授	千葉 悠志 (33) ＜平成30年4月＞ 博士(地域研究)
		アカデミック・スキルズ 政治学 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	長辻 幸 (34) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		英語Ⅰa 英語Ⅱa
兼任	講師	三浦 要 (59) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		哲学 クリティカルシンキング
兼任	講師	宇根 義己 (38) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		人文地理学
兼任	講師	碓 陽子 (41) ＜平成30年4月＞ 博士（学術）
		医療と文化
兼任	講師	溝部 明男 (68) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		社会学
兼任	講師	木村 高宏 (43) ＜平成30年4月＞ 博士（政策科学）
		公共政策論
兼任	講師	榊原 千秋 (56) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		健康と体の科学 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	長辻 幸 (35) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		英語Ⅰa 英語Ⅱa
兼任	講師	三浦 要 (59) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		哲学 クリティカルシンキング
兼任	講師	宇根 義己 (38) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		人文地理学
兼任	教授	横川 善正 (69) ＜平成30年7月＞ 文学修士
		医療と文化
兼任	講師	溝部 明男 (68) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		社会学
兼任	講師	木村 高宏 (43) ＜平成30年4月＞ 博士（政策科学）
		公共政策論
兼任	講師	榊原 千秋 (56) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		健康と体の科学 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	長辻 幸 (36) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		英語Ⅰa 英語Ⅱa
兼任	講師	三浦 要 (60) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		哲学 クリティカルシンキング
兼任	講師	宇根 義己 (39) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		人文地理学
兼任	教授	横川 善正 (70) ＜平成30年7月＞ 文学修士
		医療と文化 英語Ⅰa
兼任	講師	溝部 明男 (69) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		社会学
兼任	講師	木村 高宏 (44) ＜平成30年4月＞ 博士（政策科学）
		公共政策論
兼任	講師	榊原 千秋 (57) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		健康と体の科学 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	井上 英夫 (70) ＜平成30年4月＞ 法学修士
		社会福祉論 保健医療福祉法制度論
兼任	講師	山崎 友也 (45) ＜平成30年4月＞ 修士（法学）
		日本国憲法
兼任	講師	松下 裕子 (58) ＜平成30年4月＞ 体育学士
		スポーツ演習（バレーボール） スポーツ演習（硬式テニス） スポーツ演習（フットサル） スポーツ演習（卓球） スポーツ演習（バドミントン）
兼任	講師	川畠 嘉美 (49) ＜令和2年4月＞ 修士（文学）
		英語 I a
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (55) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		英語 I a
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (49) ＜平成30年4月＞ B. A. (Psychology) (米国)
		英語 I b 英語 II b

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	井上 英夫 (70) ＜平成30年4月＞ 法学修士
		社会福祉論 保健医療福祉法制度論
兼任	講師	山崎 友也 (45) ＜平成30年4月＞ 修士（法学）
		日本国憲法
兼任	講師	松下 裕子 (58) ＜平成30年4月＞ 体育学士
		スポーツ演習（バレーボール） スポーツ演習（硬式テニス） スポーツ演習（フットサル） スポーツ演習（卓球） スポーツ演習（バドミントン）
兼任	講師	川畠 嘉美 (49) ＜令和2年4月＞ 修士（文学）
		英語 I a
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (55) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		英語 I a
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (49) ＜平成30年4月＞ B. A. (Psychology) (米国)
		英語 I b 英語 II b

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	井上 英夫 (71) ＜平成30年4月＞ 法学修士
		社会福祉論 保健医療福祉法制度論
兼任	講師	山崎 友也 (46) ＜平成30年4月＞ 修士（法学）
		日本国憲法
兼任	講師	松下 裕子 (59) ＜平成30年4月＞ 体育学士
		スポーツ演習（バレーボール） スポーツ演習（硬式テニス） スポーツ演習（フットサル） スポーツ演習（卓球） スポーツ演習（バドミントン）
兼任	講師	川畠 嘉美 (50) ＜令和2年4月＞ 修士（文学）
		英語 I a
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (56) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		英語 I a
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (50) ＜平成30年4月＞ B. A. (Psychology) (米国)
		英語 I b 英語 II b

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (43) ＜平成30年4月＞ PhD Cultural Anthropology (米国)
		英語 I b
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (42) ＜平成30年4月＞ PhD in International Relations (英国)
		英語 II b
兼任	講師	島内 俊彦 (48) ＜平成30年4月＞ 学士 (外国研究)
		英語Ⅲ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅳ
兼任	講師	岩津 航 (42) ＜平成30年4月＞ Doctorat (Littérature comparée) (仏国)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	名執 純子 (49) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ
兼任	講師	南保 英孝 (46) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (43) ＜平成30年4月＞ PhD Cultural Anthropology (米国)
		英語 I b
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (42) ＜平成30年4月＞ PhD in International Relations (英国)
		英語 II b
兼任	講師	島内 俊彦 (48) ＜平成30年4月＞ 学士 (外国研究)
		英語Ⅲ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅳ
兼任	講師	岩津 航 (42) ＜平成30年4月＞ Doctorat (Littérature comparée) (仏国)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	名執 純子 (49) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ
兼任	講師	南保 英孝 (46) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (43) ＜平成30年4月＞ PhD in International Relations (英国)
		英語 I b 英語 II b
兼任	講師	島内 俊彦 (49) ＜平成30年4月＞ 学士 (外国研究)
		英語Ⅲ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅳ
兼任	講師	大竹口 麻里 (55) ＜平成31年4月＞ 修士（フランス語教授法）
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	名執 純子 (50) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ
兼任	講師	南保 英孝 (47) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岡本 成史 (52) ＜平成30年4月＞ 博士（歯学）
		感染免疫学
兼任	講師	水野 洋子 (67) ＜平成30年4月＞ 短期大学卒
		栄養・生化学 ※
兼任	講師	千葉 賢三 (69) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		栄養・生化学 ※
兼任	講師	川井 恵一 (59) ＜平成30年4月＞ 約学博士
		薬理学
兼任	講師	荒谷 穰治 (65) ＜平成31年4月＞ 医学博士
		老年疾病・治療論
兼任	講師	櫻井 勝 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		公衆衛生学
兼任	講師	亀田 正二 (72) ＜平成31年4月＞ 医学士
		急性疾病論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岡本 成史 (52) ＜平成30年4月＞ 博士（歯学）
		感染免疫学
兼任	講師	水野 洋子 (67) ＜平成30年4月＞ 短期大学卒
		栄養・生化学 ※
兼任	講師	千葉 賢三 (69) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		栄養・生化学 ※
兼任	講師	川井 恵一 (59) ＜平成30年4月＞ 約学博士
		薬理学
兼任	講師	荒谷 穰治 (65) ＜平成31年4月＞ 医学博士
		老年疾病・治療論
兼任	講師	櫻井 勝 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		公衆衛生学
兼任	講師	亀田 正二 (72) ＜平成31年4月＞ 医学士
		急性疾病論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岡本 成史 (53) ＜平成30年4月＞ 博士（歯学）
		感染免疫学
兼任	講師	水野 洋子 (68) ＜平成30年4月＞ 短期大学卒
		栄養・生化学 ※
兼任	講師	千葉 賢三 (70) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		栄養・生化学 ※
兼任	講師	川井 恵一 (60) ＜平成30年4月＞ 約学博士
		薬理学
兼任	講師	荒谷 穰治 (66) ＜平成31年4月＞ 医学博士
		老年疾病・治療論
兼任	講師	櫻井 勝 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		公衆衛生学
兼任	講師	亀田 正二 (73) ＜平成31年4月＞ 医学士
		老年疾病・治療論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	村上 弘一 (61) ＜平成31年4月＞ 医学博士	兼任	講師	村上 弘一 (61) ＜平成31年4月＞ 医学博士	兼任	講師	村上 弘一 (62) ＜平成31年4月＞ 医学博士
		母子疾病・治療論			母子疾病・治療論			母子疾病・治療論
兼任	講師	加藤 康洋 (76) ＜平成31年4月＞ 医学博士	兼任	講師	加藤 康洋 (76) ＜平成31年4月＞ 医学博士	兼任	講師	加藤 康洋 (77) ＜平成31年4月＞ 医学博士
		生活習慣病論			生活習慣病論			生活習慣病論
兼任	講師	佐藤 宜伯 (57) ＜令和3年4月＞ 専門学校卒	兼任	講師	佐藤 宜伯 (57) ＜令和3年4月＞ 専門学校卒	兼任	講師	佐藤 宜伯 (58) ＜令和3年4月＞ 専門学校卒
		看護技術の科学的検証			看護技術の科学的検証			看護技術の科学的検証
						兼任	講師	吉田 豊 (61) ＜平成31年4月＞ 医学博士
								急性疾患論

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・共通教育科目「医療と文化」の担当教員を、兼任教員から兼任教員である横川善正教授に変更。国際文化交流学部専任教員として平成30年度第1回AC教員審査に提出（平成30年4月教員審査済）。

【令和元年度】

- ・共通教育科目「英語Ia」の担当教員として、兼任教員の横川善正教授を追加（平成31年1月教員審査済）
- ・共通教育科目「英語Ib」の担当教員を、兼任教員のERTL JOHN JOSEF講師から兼任教員のFOX SENAN JAMES講師に変更
- ・共通教育科目「フランス語I」「フランス語II」の担当教員を、兼任教員の岩津 航講師から兼任教員の大竹口 麻里講師に変更
- ・兼任教員の亀田 正二講師の担当科目から専門科目「急性疾病論」を削除し、専門科目「老年疾病・治療論」を追加
- ・専門科目「急性疾患論」の担当教員に、兼任教員の吉田 豊講師を追加

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
12	6
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
10	2	3	10	25	10	2	4	7	23
8	2	3	5	18					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)
10	2	3	10	25	10	2	3	10	25
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、

完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	5	5
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{25}{25} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{5}{23} = \boxed{21.73} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計（D）					後任補充状況の集計（E）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合計（F）					後任補充状況の集計（G）		
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（Ｄ）＋（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｅ）＋（Ｇ）							
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)} + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員について**に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設置時 (29年8月)	・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	留意事項 ・理事長・学長のトップマネジメントのもとに、設置計画を確実に履行し、的確な大学運営を行っている。 ・教育研究活動水準の向上に向け、全学委員会及び学部教授会の両体制から取り組みを行うことを予定している。(平成30年度) ・設置計画の的確な履行に向け、各種審議会や全学委員会を組織し、理事長・学長のトップマネジメントのもとに大学を組織的に運営するための体制を構築した。 ・授業評価アンケートに基づく授業改善活動や学部内でのプロジェクト型研究の始動など、教育研究活動の水準向上のための活動を実施している。 ・中期計画及び年度計画に基づき、一つひとつの事項を計画的に推進するとともに、定期的な進捗管理を行う体制を構築した。(令和元年度)	履行中 ・5月に6年間の計画である中期計画(6年間の計画)を策定し、その後、年度計画を策定する。 ・年度計画を踏まえ、全学委員会である「教育企画委員会」、「研究・地域連携委員会」が具体的な活動計画を策定し、個々の活動は学部教授会のもとに行っていく。(平成30年度) ・大学の各組織が行う活動が設置の趣旨・目的を踏まえた取組となっているのかを、理事長・学長のトップマネジメントもとに行う進捗管理の中で確認し、計画が適切に履行されているのかを検証していく。(令和元年度)
設置時 (29年8月)	・運動場及び体育館が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	留意事項 ・スポーツ演習科目においては、中央キャンパス近くの体育施設を利用するとともに、シャトルバスの運行により支障が生じないよう対応している。 ・小松市により、中央キャンパスの近傍に課外活動の拠点として利用できる建物が設置され、学生の活動を支える環境が高まっている。(平成30年度) ・シャトルバスの追加導入を行い、スポーツ演習だけではなく、課外活動においても利用できるよう運行表を組んでいる。(令和元年度)	履行済 ・今後も、アンケート等により学生のニーズの把握に努め、地域社会との協力のもとに、教育環境の向上を図っていく。(平成30年度) ・学生の動きを把握するとともにそのニーズを捉え、教育活動や課外活動等を行いやすくなるよう環境の改善に引き続き取り組んでいく。(令和元年度)

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設置時 (29年8月)	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	・若手教員の育成については、専門分野に留まらず他分野の教授等と連携した教育研究活動を行い、後継者の育成を行っていく。 ・中長期的な観点から、教員採用・育成のための計画を策定し、それに沿って教員人事の適正な運用を行う予定である。(30年度) ・引き続き他分野の教授等と連携した教育研究活動を行い、後継者の育成を行っていく。 ・教員組織の在り方について検討を行っている。また、今後の教員採用にあたっての全学的な基準づくりを行っている。(令和元年度)	・今年度中に、完成年度までの教員採用・育成計画を策定に着手する。策定後は、計画のもとに、教員の公募・育成等を行うとともに、適宜AC教員審査に諮っていく。(30年度) ・教員採用・育成のための計画づくりを推進するとともに、学部学科間のバランスや経営状況を踏まえた全学的な視点での検討も行う。(令和元年度)

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<保健医療学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 公立小松大学FD・SD推進委員会規則を制定（30年4月） b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 平成31年3月 開催 c 委員会の審議事項等 FD・SDの推進計画の策定、実施に関すること ② 実施状況 a 実施内容 ・ 財務システム研修会 ・ 公立大学の役割を学ぶ研修会 ・ 入試の全国的な動向や高校生の傾向を学ぶ研修会 ・ 労働安全衛生に係る研修会 ・ 競争的研究資金獲得に向けた研修会 ・ 研究倫理研修会（e-ラーニング） ・ 新人事務職員のための研修会 b 実施方法 ・ 開学後早急にFD・SD活動を開始するため、理事長・学長の指導のもと、各委員会等が研修会を企画した。全学における実施結果は、公立小松大学FD・SD推進委員会がとりまとめ総括した。 c 開催状況（教員の参加状況含む） ・ 財務システム研修会（30年4月） 教員・事務職員対象 全員受講 ・ 公立大学の役割を学ぶ研修会（30年7月） 教員・事務職員対象 78人参加	
---	--

- ・ 入試の全国的な動向や高校生の傾向を学ぶ研修会（３０年８月） 教員・入試関連事務職員対象 ６２人参加
- ・ 労働安全衛生に係る研修会（３１年２月） 教員・事務職員対象 ６６人参加
- ・ 競争的研究資金獲得に向けた研修会（３１年３月） 教員・研究関連事務職員対象 ３２人参加
- ・ 研究倫理研修会（e-ラーニング） 教員対象 ３月までに全教員の受講完了を確認
- ・ 新任事務職員のための研修会（３０年４月～１０月） 新任事務職員対象 １１人参加
- ・ 授業評価アンケートの結果を受け、学長から学部長・学科長に対し指導を指示
学科ごとに対応を実施（３０年１２月）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 授業評価アンケートに基づき、学部学科単位で改善を実施
- ・ プレゼンテーション能力やアクティブラーニング等の研修実施に向けた準備を実施中

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期・後期のそれぞれの終了時に授業科目ごとに実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業評価アンケートの結果を受け、学長から学部長・学科長に対し指導を指示
学科ごとに対応を実施（30年12月）
- ・ アンケート結果を受けての大学としての対応について、学長メッセージとして掲示板に掲示し周知している
（前期・後期終了後）

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

地方独立行政法人法の規定も踏まえ、自己点検・評価委員会を設置し、理事長・学長のトップマネジメントによる法人・大学の運営が行われる仕組みを構築した。大学の各組織は、年に2度理事長・学長によるヒアリングを受けることとなっており、目標や方針の確認及び進捗状況の点検確認を行っている。

職員の資質や意識の更なる向上を図りつつ、設置の趣旨・目的に達成に向け組織全体が一丸となって取り組んでいく環境を引き続き整えていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和元年6月 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和元年6月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・学内で検討を行っている。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ ☒ 有 ・ ☐ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （令和元年6月30日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

公立大学法人公立小松大学

(2) 大 学 名

公立小松大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒923-0921

石川県小松市土居原町10-10

〒923-8511

石川県小松市向本折町へ14-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(イシダ ヒロト) 石田 寛人 (現職就任30年4月)		
学 長	(ヤマモト ヒロシ) 山本 博 (現職就任30年4月)		
学 部 長	(キタオカ カズヨ) 北岡 和代 (現職就任30年4月)		
学科長等	(サナダ シゲル) 真田 茂 (現職就任30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 臨床工学科 学士(臨床工学)	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	4年	30人	年次 —	120人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— (—) [—]	—	— (—) [—]	—	— (—) [—]	—	30人 (—) [—]	—人	30人 (—) [—]	—人	1.10倍	—	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	234 (—) [—]	— (—) [—]	244 (—) [—]	— (—) [—]			
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	157 (—) [—]	— (—) [—]	159 (—) [—]	— (—) [—]			
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	51 (—) [—]	— (—) [—]	45 (—) [—]	— (—) [—]			
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	34 (—) [—]	— (—) [—]	32 (—) [—]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A							1.13		1.06				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を超えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を超えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	34 [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	32 [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
2 年次			－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	34 [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
3 年次					－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
4 年次							－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
計	－ [ー] (ー)		－ [ー] (ー)		－ [ー] (ー)		34 [ー] (ー)		66 [ー] (ー)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
平成28年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
平成29年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
平成30年度	34 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	66 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ※各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

平成27年度の退学者数(a)
平成27年度の在学者数(b)

=	—	=	#VALUE!	%
	—			

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{\text{---}}{\text{---}} = \boxed{\text{\#VALUE!}} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{\text{—}}{\text{—}} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{34} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{66} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保健医療学部 臨床工学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通教育科目	導入科目	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ	1前	1			2		1			3
		アカデミック・スキルズ	1前	1								11
		テーマ別基礎ゼミ	1後	2		1	3	1				5
		情報処理基礎	1前	2				1				5
		南加賀文化の歴史と文化	1後	2								1
		小計(5科目)	－	8	0	0	3	3	2	0	0	24
		一般科目（人間力）	哲学	1前		2						
	心理学		1前		2							1
	人間の発達と心		1前		2							1
	日本の伝統芸能		1前		2							1
	人文地理学		1後		2							1
	文化人部		1後		2							1
	医療と文化		1後		2							1
	文章表現法		1後		2							1
	言葉と文化		1後		2							2
	小計(9科目)		－	0	18	0	0	0	0	0	0	8
	一般科目（社会力）	日本産業史	1前		2							4
		自然資源と環境問題	1前		2							1
		経済学	1前		2							2
		政治学	1後		2							2
		社会学	1後		2							1
		公共政策論	1後		2							1
		社会福祉論	1後		2							1
		日本国憲法	1前		2							1
		小計(8科目)	－	0	16	0	0	0	0	0	0	13
	一般科目（科学力）	データ科学と社会	1前		2							3
		情報処理応用A	1後		2							2
		情報処理応用B	1後		2		1					1
		クリティカルシンキング	1後		2							1
		統計学	1前		2		1					1
		教養としての物理	1前		2			1				1
		教養としての数学	1後		2				1			1
		現代科学技術論	1前		2							5
		小計(8科目)	－	0	16	0	1	2	1	0	0	10
	一般科目（健康と体力）	健康と体の科学	1前		2							2
		スポーツ演習（バレーボール）	1前・後		1							1
		スポーツ演習（硬式テニス）	1前		1							1
		スポーツ演習（フットサル）	1前・後		1							1
		スポーツ演習（卓球）	1後		1							1
		スポーツ演習（バドミントン）	1前・後		1							1
		小計(6科目)	－	0	7	0	0	0	0	0	0	3
	英語科目	英語Ⅰa	1前	2								5
		英語Ⅰb	1前	2								3
		英語Ⅱa	1後	2								3
		英語Ⅱb	1後	2								4

【令和元年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通 教育 科目	導入科目	キャリアデザイン・ チーム論Ⅱ	1前	1			2		1			3
		アカデミック・スキルズ	1前	1								11
		テーマ別基礎ゼミ	1後	2			1	3	1			5
		情報処理基礎	1前	2					1			5
		南加賀文化の 歴史と文化	1後	2								1
		小計(5科目)	－	8	0	0	3	3	2	0	0	24
	一般科目（人間力）	哲学	1前		2							1
		心理学	1前		2							1
		人間の発達と心	1前		2							1
		日本の伝統芸能	1前		2							1
		人文地理学	1後		2							1
		文化人類学	1後		2							1
		医療と文化	1後		2							1
		文章表現法	1後		2							1
		言葉と文化	1後		2							2
		小計(9科目)	－	0	18	0	0	0	0	0	0	8
	一般科目（社会力）	日本産業史	1前		2							4
		自然資源と 環境問題	1前		2							1
		経済学	1前		2							2
		政治学	1後		2							2
		社会学	1後		2							1
		公共政策論	1後		2							1
		社会福祉論	1後		2							1
		日本国憲法	1後		2							1
		小計(8科目)	－	0	16	0	0	0	0	0	0	13
	一般科目（科学力）	データ科学と社会	1後		2							3
		情報処理応用A	1後		2							2
		情報処理応用B	1後		2			1				
		クリティカルシンキング	1後		2							1
		統計学	1後		2			1				1
		教養としての物理	1前		2				1			1
		教養としての数学	1前		2					1		1
		現代科学技術論	1前		2							5
		小計(8科目)	－	0	16	0	1	2	1	0	0	10
	一般科目（健康と体力）	健康と体の科学	1前		2							2
		スポーツ演習 （ハレーボール）	1前・ 後		1							1
		スポーツ演習 （硬式テニス）	1前		1							1
		スポーツ演習 （フットサル）	1前・ 後		1							1
		スポーツ演習 （卓球）	1後		1							1
		スポーツ演習 （バドミントン）	1前・ 後		1							1
		小計(6科目)	－	0	7	0	0	0	0	0	0	3
	英語科目	英語Ⅰa	1前	2								6
		英語Ⅰb	1前	2								2
		英語Ⅱa	1後	2								3
		英語Ⅱb	1後	2								4

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通教育科目	英語科目	英語Ⅲ	1後	2							1
		英会話Ⅰ	1後	2							1
		英会話Ⅱ	1後	2							1
		実用英語Ⅰ	1前・ 1後		2						1
		実用英語Ⅱ	1前・ 1後		2						1
		実用英語Ⅲ	1前・ 1後		2						1
		実用英語Ⅳ	1前・ 1後		2						1
	小計(11科目)	－	8	6	8	0	0	0	0	0	11
	その他外国語科目	中国語Ⅰ	1前	2							1
		中国語Ⅱ	1後	2							1
		フランス語Ⅰ	1前	2							1
		フランス語Ⅱ	1後	2							1
		ドイツ語Ⅰ	1前	2							1
		ドイツ語Ⅱ	1後	2							1
		ロシア語Ⅰ	1前	2							1
		ロシア語Ⅱ	1後	2							1
		スペイン語Ⅰ	1前	2							1
		スペイン語Ⅱ	1後	2							1
	小計(10科目)	－	0	20	0	0	0	0	0	0	5
専門基礎科目	医学的基礎	臨床工学総論	1前	2		2	1	1			
		解剖学	1前	2		1					
		解剖生理学実習	2前	1		1					
		生理学	1前	2		1					
		生化学	1前	2		1					
		看護学概論	1後	2							2
		医療関係法規	1後	2							1
		病理学	1前	2		1					
		薬理学	1後	2							1
		公衆衛生学	2前	1							1
		医学概論	2後	2		1					
		感染免疫学	2後	2							1
	小計(12科目)	－	22	0	0	4	1	1	0	0	6
	理工学的基礎	応用数学	1後	2			1				
		電気工学Ⅰ	1後	2		1					
		電気工学Ⅱ	2前	2		1					
		電気工学演習Ⅰ	1後		1	1	1				
		電気工学演習Ⅱ	2前		1	1	1				
		電気工学実習	2後	2		2					
		電子工学Ⅰ	2前	2		1					
		電子工学Ⅱ	2後	2		1					
		電子工学演習Ⅰ	2前		1	1	1				
		電子工学演習Ⅱ	2後		1	1	1				
		電子工学実習	3前	2		1	1				
		医用機械工学	2後	2			1				
		情報処理工学	1後	2			1				
		プログラミング演習	2前	1			2	1			
		医用信号処理	2後	2		1					
		医用通信システム	3前		2	1					
		医用工学	3前	2			1				
		医用システム工学実習	3後	2		2	2	1			
	小計(18科目)	－	25	6	0	2	3	1	0	0	0
専門科目	医用生体工学	生体物性工学	2前	2		1					
		生体材料工学	2後	2		1					
		生体計測工学	3前	2		1					
		臨床画像工学	3後		2	1					
	小計(4科目)	－	6	2	0	2	1	0	0	0	0

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通教育科目	英語科目	英語Ⅲ	1後	2							1
		英会話Ⅰ	1後	2							1
		英会話Ⅱ	1後	2							1
		実用英語Ⅰ	1前・ 1後		2						1
		実用英語Ⅱ	1前・ 1後		2						1
		実用英語Ⅲ(未開講)	1前・ 1後		2						1
		実用英語Ⅳ(未開講)	1前・ 1後		2						1
	小計(11科目)	－	8	6	8	0	0	0	0	0	11
	その他外国語科目	中国語Ⅰ	1前	2							1
		中国語Ⅱ	1後	2							1
		フランス語Ⅰ	1前	2							1
		フランス語Ⅱ	1後	2							1
		ドイツ語Ⅰ	1前	2							1
		ドイツ語Ⅱ	1後	2							1
		ロシア語Ⅰ	1前	2							1
		ロシア語Ⅱ	1後	2							1
		スペイン語Ⅰ	1前	2							1
		スペイン語Ⅱ	1後	2							1
	小計(10科目)	－	0	20	0	0	0	0	0	0	5
専門基礎科目	医学的基礎	臨床工学総論	1前	2		2	1	1			
		解剖学	1前	2		1					
		解剖生理学実習	2前	1		1					
		生理学	1前	2		1					
		生化学	1前	2		1					
		看護学概論	1後	2							2
		医療関係法規	1後	2							1
		病理学	1後	2		1					
		薬理学	1後	2							1
		公衆衛生学	2前	1							1
		医学概論	2後	2		1					
		感染免疫学	2後	2							1
	小計(12科目)	－	22	0	0	4	1	1	0	0	6
	理工学的基礎	応用数学	1後	2			1				
		電気工学Ⅰ	1後	2		1					
		電気工学Ⅱ	2前	2		1					
		電気工学演習Ⅰ	1後		1	1	1				
		電気工学演習Ⅱ	2前		1	1	1				
		電気工学実習	2後	2		2					
		電子工学Ⅰ	2前	2		1					
		電子工学Ⅱ	2後	2		1					
		電子工学演習Ⅰ	2前		1	1	1				
		電子工学演習Ⅱ	2後		1	1	1				
		電子工学実習	3前	2		1	1				
		医用機械工学	2後	2			1				
		情報処理工学	1後	2			1				
		プログラミング演習	2前	1			2	1			
		医用信号処理	2後	2		1					
		医用通信システム	3前		2	1					
		医用工学	3前	2			1				
		医用システム工学実習	3後	2		2	2	1			
	小計(18科目)	－	25	6	0	2	3	1	0	0	0
専門科目	医用生体工学	生体物性工学	2前	2		1					
		生体材料工学	2後	2		1					
		生体計測工学	3前	2		1					
		臨床画像工学	3後		2	1					
	小計(4科目)	－	6	2	0	2	1	0	0	0	0

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	医用機器学	医用機器学概論	2前	2			1					
		医用治療機器学	2後	2			1					
		医用治療機器学 実習	3前	1			1					
		画像診断装置学	3後	2			1					
		生体計測装置学	3前	2				1				
		生体計測装置学 実習	3後	1				1				
		小計(6科目)	-	10	0	0	2	1	0	0	0	0
	生体機能代行技術学	呼吸機能代行装置学	2前	2			1					
		呼吸機能代行装置学 実習	2後	1			1					
		循環機能代行装置学	2後	2					1			
		循環機能代行装置学 実習	3前	1					1			
		代謝機能代行装置学	2後	2								1
		代謝機能代行装置学 実習	3前	1								1
		臨床医学Ⅰ(呼吸器、 循環器)	3前	2			1		1			
		臨床医学Ⅱ(代謝、 血液)	3後	2					1			1
		臨床医学Ⅲ(神経系、 内分泌系)	3後		2		2					
		小計(9科目)	-	13	2	0	3	0	1	0	0	1
	医療安全管理学	医用機器安全管理学	3前	2			1		1			
		医用機器安全管理学 実習	3後	1			1		1			
		小計(2科目)	-	3	0	0	1	0	1	0	0	0
	総合実践科目	チーム医療論	4前		2		2					
		グローバル感染対策	4前		1							1
		看護技術の科学的検証	4前		1							2
		地域の健康課題と多職種連携	4前		1							1
		地域包括ケア	4後		1							1
		臨床実習	4前	4			2	3	2			1
		卒業研究Ⅰ	4前	2			7	3	2			
		卒業研究Ⅱ	4後	2			7	3	2			
		小計(8科目)	-	8	6	0	7	3	2	0	0	5
合計(115科目)			-	103	99	8	7	3	2	0	0	65
卒業要件及び履修方法												
1 共通教育科目(計31単位以上) (1)導入科目 必修8単位 (2)一般科目 人間力6単位以上、社会力4単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上 (3)英語科目 必修8単位												
2 専門科目(計93単位以上) (1)医学的基礎 必修22単位 (2)理工学的基礎 必修25単位 (3)医用生体工学 必修 6単位 (4)医用機器学 必修10単位 (5)生体機能代行技術学 必修13単位 (6)医用安全管理学 必修 3単位 (7)総合実践科目 必修 8単位 選択科目2単位以上 (8)(1)～(8)で履修した科目以外から4単位以上												
以上、共通教育31単位以上、専門科目93単位以上、合計124単位以上												
3 履修科目の登録の上限 48単位(年間)												

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 科目	医用 機器 学	医用機器学概論	2前	2			1					
		医用治療機器学	2後	2			1					
		医用治療機器学 実習	3前	1			1					
		画像診断装置学	3後	2			1					
		生体計測装置学	3前	2				1				
		生体計測装置学 実習	3後	1				1				
		小計(6科目)	－	10	0	0	2	1	0	0	0	0
	生体 機能 代行 技術 学	呼吸機能代行装置学	2前	2			1					
		呼吸機能代行装置学 実習	2後	1			1					
		循環機能代行 装置学	2後	2					1			
		循環機能代行 装置学実習	3前	1					1			
		代謝機能代行装置学	2後	2								1
		代謝機能代行装置学 実習	3前	1								1
		臨床医学Ⅰ(呼吸 器、 循環器)	3前	2			1		1			
		臨床医学Ⅱ(代謝、 血液)	3後	2					1			1
		臨床医学Ⅲ(神経 系、 内分泌系)	3後		2		2					
		小計(9科目)	－	13	2	0	3	0	1	0	0	1
		医療 安全 管理 学	医用機器安全 管理学	3前	2			1		1		
	医用機器安全 管理学実習		3後	1			1		1			
	小計(2科目)		－	3	0	0	1	0	1	0	0	0
	総合 実 践 科 目	チーム医療論	4前		2		2					
		グローバル感染対策	4前		1							1
		看護技術の科学的 検証	4前		1							2
		地域の健康課題と 多職種連携	4前		1							1
		地域包括ケア	4後		1							1
		臨床実習	4前	4			2	3	2			1
		卒業研究Ⅰ	4前	2			7	3	2			
		卒業研究Ⅱ	4後	2			7	3	2			
		小計(8科目)	－	8	6	0	7	3	2	0	0	5
合計(115科目)			－	103	99	8	7	3	2	0	0	64
卒業要件及び履修方法												
1 共通教育科目(計31単位以上) (1)導入科目 必修8単位 (2)一般科目 人間力6単位以上、社会力4単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上 (3)英語科目 必修8単位 2 専門科目(計93単位以上) (1)医学的基礎 必修22単位 (2)理工学的基礎 必修25単位 (3)医用生体工学 必修 6単位 (4)医用機器学 必修10単位 (5)生体機能代行技術学 必修13単位 (6)医用安全管理学 必修 3単位 (7)総合実践科目 必修 8単位 選択科目2単位以上 (8)(1)～(8)で履修した科目以外から4単位以上 以上、共通教育31単位以上、専門科目93単位以上、合計124単位以上 3 履修科目の登録の上限 48単位(年間)												

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通教育科目	導入科目	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ	1前	1		2		1			3
		アカデミック・スキルズ	1前	1							11
		テーマ別基礎ゼミ	1後	2		1	3	1			5
		情報処理基礎	1前	2				1			5
		南加賀文化の歴史と文化	1後	2							1
		小計(5科目)	—	8	0	3	3	2	0	0	24
	一般科目（人間力）	哲学	1前	2							1
		心理学	1前	2							1
		人間の発達と心	1前	2							1
		日本の伝統芸能	1前	2							1
		人文地理学	1後	2							1
		文化人部	1後	2							1
		医療と文化	1後	2							1
		文章表現法	1後	2							1
		言葉と文化	1後	2							2
		小計(9科目)	—	0	18	0	0	0	0	0	8
	一般科目（社会力）	日本産業史	1前	2							4
		自然資源と環境問題	1前	2							1
		経済学	1前	2							2
		政治学	1後	2							2
		社会学	1後	2							1
		公共政策論	1後	2							1
		社会福祉論	1後	2							1
		日本国憲法	1後	2							1
		小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	13
	一般科目（科学力）	データ科学と社会	1後	2							3
		情報処理応用A	1後	2							2
		情報処理応用B	1後	2			1				
		クリティカルシンキング	1後	2							1
		統計学	1後	2		1					1
		教養としての物理	1前	2			1				1
		教養としての数学	1前	2				1			1
		現代科学技術論	1前	2							5
		小計(8科目)	—	0	16	0	1	2	1	0	10
	一般科目（健康と体力）	健康と体の科学	1前	2							2
		スポーツ演習（バレーボール）	1前・後	1							1
		スポーツ演習（硬式テニス）	1前	1							1
		スポーツ演習（フットサル）	1前・後	1							1
		スポーツ演習（卓球）	1後	1							1
		スポーツ演習（バドミントン）	1前・後	1							1
		小計(6科目)	—	0	7	0	0	0	0	0	3
	英語科目	英語Ⅰa	1前	2							5
		英語Ⅱb	1前	2							3
		英語Ⅱa	1後	2							3
		英語Ⅱb	1後	2							4
		英語Ⅲ	1後	2							1
		英会話Ⅰ	1後	2							1
		英会話Ⅱ	1後	2							1
		実用英語Ⅰ	1前・後	2							1
		実用英語Ⅱ	1前・後	2							1
		実用英語Ⅲ	1前・後	2							1
		実用英語Ⅳ	1前・後	2							1
		小計(11科目)	—	8	6	8	0	0	0	0	11

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通教育科目	中国語Ⅰ	1前		2							1
	中国語Ⅱ	1後		2							1
	フランス語Ⅰ	1前		2							1
	フランス語Ⅱ	1後		2							1
	ドイツ語Ⅰ	1前		2							1
	ドイツ語Ⅱ	1後		2							1
	ロシア語Ⅰ	1前		2							1
	ロシア語Ⅱ	1後		2							1
	スペイン語Ⅰ	1前		2							1
	スペイン語Ⅱ	1後		2							1
	小計(10科目)	－	0	20	0	0	0	0	0	0	5
専門基礎科目	臨床工学総論	1前	2			2	1	1			
	解剖学	1前	2			1					
	解剖生理学実習	2前	1			1					
	生理学	1前	2			1					
	生化学	1前	2			1					
	看護学概論	1後	2								2
	医療関係法規	1後	2								1
	病理学	1後	2			1					
	薬理学	1後	2								1
	公衆衛生学	2前	1								1
	医学概論	2後	2			1					
	感染免疫学	2後	2								1
	小計(12科目)	－	22	0	0	4	1	1	0	0	6
	応用数学	1後	2				1				
	電気工学Ⅰ	1後	2			1					
	電気工学Ⅱ	2前	2			1					
	電気工学演習Ⅰ	1後		1		1	1				
	電気工学演習Ⅱ	2前		1		1	1				
	電気工学実習	2後	2			2					
	電子工学Ⅰ	2前	2			1					
	電子工学Ⅱ	2後	2			1					
	電子工学演習Ⅰ	2前		1		1	1				
	電子工学演習Ⅱ	2後		1		1	1				
	電子工学実習	3前	2			1	1				
	医用機械工学	2後	2				1				
	情報処理工学	1後	2				1				
	プログラミング演習	2前	1				2	1			
	医用信号処理	2後	2			1					
	医用通信システム	3前		2		1					
	医用工学	3前	2				1				
	医用システム工学実習	3後	2			2	2	1			
	小計(18科目)	－	25	6	0	2	3	1	0	0	0
専門科目	医用生体工学	2前	2			1					
	生体材料工学	2後	2				1				
	生体計測工学	3前	2			1					
	臨床画像工学	3後		2		1					
	小計(4科目)	－	6	2	0	2	1	0	0	0	0
	医用機器学概論	2前	2			1					
	医用治療機器学	2後	2			1					
	医用治療機器学実習	3前	1			1					
	画像診断装置学	3後	2			1					
	生体計測装置学	3前	2				1				
	生体計測装置学実習	3後	1				1				
	小計(6科目)	－	10	0	0	2	1	0	0	0	0

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門科目	呼吸機能代行装置学	2前	2			1					
	呼吸機能代行装置学 実習	2後	1			1					
	循環機能代行 装置学	2後	2					1			
	循環機能代行 装置学実習	3前	1					1			
	代謝機能代行装置学	2後	2								1
	代謝機能代行装置学 実習	3前	1								1
	臨床医学Ⅰ（呼吸 器、循環器）	3前	2			1		1			
	臨床医学Ⅱ（代謝、 血液）	3後	2					1			1
	臨床医学Ⅲ（神経 系、内分泌系）	3後		2		2					
	小計（9科目）	－	13	2	0	3	0	1	0	0	1
	医療安全管理学	3前	2			1		1			
	医療安全管理学 実習	3後	1			1		1			
	小計（2科目）	－	3	0	0	1	0	1	0	0	0
	チーム医療論	4前		2		2					
	グローバル感染対策	4前		1							1
	看護技術の科学的 検証	4前		1							2
	地域の健康課題と 多職種連携	4前		1							1
	地域包括ケア	4後		1							1
	臨床実習	4前	4			2	3	2			1
	卒業研究Ⅰ	4前	2			7	3	2			
	卒業研究Ⅱ	4後	2			7	3	2			
	小計（8科目）	－	8	6	0	7	3	2	0	0	5
	合計（115科目）	－	103	99	8	7	3	2	0	0	65
卒業要件及び履修方法											
1 共通教育科目（計31単位以上） (1)導入科目 必修8単位 (2)一般科目 人間力6単位以上、社会力4単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上 (3)英語科目 必修8単位 2 専門科目（計93単位以上） (1)医学的基礎 必修22単位 (2)理工学的基礎 必修25単位 (3)医用生体工学 必修 6単位 (4)医用機器学 必修10単位 (5)生体機能代行技術学 必修13単位 (6)医用安全管理学 必修 3単位 (7)総合実践科目 必修 8単位 選択科目2単位以上 (8)(1)～(8)で履修した科目以外から4単位以上 以上、共通教育31単位以上、専門科目93単位以上、合計124単位以上 3 履修科目の登録の上限 48単位(年間)											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・教育内容の向上を図るため、「医療と文化」の担当教員を「兼任教員」から「兼任教員」に変更（授業科目表上は変更なし）。
- ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「日本国憲法」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「データ科学と社会」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
（30年度において、翌年度より専任教員となる新田雅道教授が兼任教員として授業を担当）
- ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「統計学」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・兼任教員に係る時間割調整に伴う共通教育科目（一般科目（科学力））における学生の授業履修の調整を行うため、「教養としての数学」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。
- ・1年を通じて人体の構造と機能に関する知識の修得を図るため、「病理学」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
（当初1年前期に解剖学、生理学、病理学を開講する予定であったが、1年前期に解剖学、生理学を学び、その理解のもとで病理学を学ぶことで、より効果的な教育を実施していくため1年後期に病理学を配置変更した。）

【令和元年度】

特になし。

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
56 科目	56 科目	4 科目	116 科目	56 科目 [0]	56 科目 [0]	4 科目 [0]	116 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

該当なし

(注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。

・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

該当なし

(注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

該当なし

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備考				
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	末広キャンパス 借用面積：3,676 m ² 借用期間：25年					
	校 舎 敷 地	18,962.05 m ²	0 m ²	0 m ²	18,962.05 m ²						
	運動場用地	14,271.00 m ²	0 m ²	0 m ²	14,271.00 m ²						
	小 計	33,233.05 m ²	0 m ²	0 m ²	33,233.05 m ²						
	そ の 他	8,251.28 m ²	0 m ²	0 m ²	8,251.28 m ²						
	合 計	41,484.33 m ²	0 m ²	0 m ²	41,484.33 m ²						
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	末広キャンパス 借用面積：930 m ² 借用期間：25年 中央キャンパス 借用面積：4,030 m ² 借用期間：25年						
	16,305.47 m ² (4,555.95 m ²)	0 m ² (3,644.67 m ²)	0 m ² (4,926.47 m ²)	16,305.47 m ² (13,127.09 m ²)							
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体					
	23 室	12 室	18 室	0 室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)						
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数							
	保健医療学部 臨床工学科			9 室							
(5) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点				
		〔うち外国書〕 冊	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕							
		保健医療学部 臨床工学科	6,182 [102] (6,390 [100])	9 [0] (8 [0])				0 [0] (0 [0])	130 (103)	138 (122)	18 (18)
		計	6,182 [102] (6,390 [100])	9 [0] (8 [0])				0 [0] (0 [0])	130 (103)	138 (122)	18 (18)
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体				
	909.83 m ²		118 席		80,000 冊						
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体				
	960.00 m ²		—								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	設備の位置をについて リースにて対応することとしたため(30) 設備購入費は大学全体		
		教員1人当たり研究費等	400千円	400千円	図書購入費	1,286千円	1,286千円	722千円			
		共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	130,000千円 111,156千円	98,000千円	3,000千円			
	学生1人当たり 納付金	第1年次 市内学生918千円	第2年次 636千円	第3年次 636千円	第4年次 636千円	第5年次 — 千円	第6年次 — 千円				
	学生納付金以外の維持方法の概要		大学運営費交付金、資産運用収入、雑収入 等								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	公 立 小 松 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
生産システム科学部	4	80	-	320	-	-	-	平成30	-	
生産システム科学科	4	80	-	320	学士 (工学)	1.01	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市四丁町又1-3	
保健医療学部	4	80	-	320	-	-	-	平成30	-	
看護学科	4	50	-	200	学士 (看護学)	1.03	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市向本折町へ14-1	
臨床工学科	4	30	-	120	学士 (臨床工 学)	1.06	-	平成30	同上	
国際文化交流学部	4	80	-	320	-	-	-	平成30	-	
国際文化交流学科	4	80	-	320	学士 (国際文化 学)	1.03	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10	
大学全体	4	240	-	960	-	1.03	-	平成30	-	
大学 の 名 称	小 松 短 期 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍				
該当なし	-	-	-	-	-	-	-	昭和63	石川県小松市四丁町又1-3	平成30年4月学生 募集停止 平成31年4月地域 創造学科の廃止 を届出 現在専攻科のみ

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を
・通信教育課程の開設の場合:「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

5 教員組織の状況

<保健医療学部 臨床工学科>

(1) ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	真田 茂 (66) ＜平成30年4月＞ 博士(工学) 博士(医学)
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 臨床工学総論 ※ 生体物性工学 臨床画像工学 画像診断装置学 チーム医療論 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	中山 謙二 (72) ＜平成31年4月＞ 工学博士
		統計学 電気工学Ⅰ 電気工学Ⅱ 電気工学演習Ⅰ 電気工学演習Ⅱ 電気工学実習 医用信号処理 医用通信システム 医用システム工学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
兼任	講師	中山 謙二 (71) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		統計学 電気工学Ⅰ 電気工学演習Ⅰ
専	教授	井関 尚一 (66) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		解剖学 解剖生理学実習 生理学 病理学 医学概論 臨床医学Ⅲ（神経系、内分泌系）※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	岩橋 正國 (65) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）
		医用機器学概論 医用治療機器学 医用治療機器学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	真田 茂 (66) ＜平成30年4月＞ 博士(工学) 博士(医学)
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 臨床工学総論 ※ 生体物性工学 臨床画像工学 画像診断装置学 チーム医療論 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	中山 謙二 (71) ＜平成31年4月＞ 工学博士
		統計学 電気工学Ⅰ 電気工学Ⅱ 電気工学演習Ⅰ 電気工学演習Ⅱ 電気工学実習 医用信号処理 医用通信システム 医用システム工学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
兼任	講師	中山 謙二 (71) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		統計学 電気工学Ⅰ 電気工学演習Ⅰ
専	教授	井関 尚一 (66) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		解剖学 解剖生理学実習 生理学 病理学 医学概論 臨床医学Ⅲ（神経系、内分泌系）※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	岩橋 正國 (64) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）
		医用機器学概論 医用治療機器学 医用治療機器学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	真田 茂 (67) ＜平成30年4月＞ 博士(工学) 博士(医学)
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 臨床工学総論 ※ 生体物性工学 臨床画像工学 画像診断装置学 チーム医療論 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	中山 謙二 (72) ＜平成31年4月＞ 工学博士
		統計学 電気工学Ⅰ 電気工学Ⅱ 電気工学演習Ⅰ 電気工学演習Ⅱ 電気工学実習 医用信号処理 医用通信システム 医用システム工学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
兼任	講師	中山 謙二 (72) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		統計学 電気工学Ⅰ 電気工学演習Ⅰ
専	教授	井関 尚一 (67) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		解剖学 解剖生理学実習 生理学 病理学 医学概論 臨床医学Ⅲ（神経系、内分泌系）※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	岩橋 正國 (65) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）
		医用機器学概論 医用治療機器学 医用治療機器学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	深澤 伸慈 (66) ＜令和2年4月＞ 専門学校卒
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 臨床工学総論 ※ 呼吸機能代行装置学 呼吸機能代行装置学実習 臨床医学Ⅰ（呼吸器、循環器）※ 医用機器安全管理学 医用機器安全管理学実習 チーム医療論 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
兼任	講師	深澤 伸慈 (64) ＜平成30年4月＞ 専門学校卒
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 臨床工学総論 ※ 呼吸機能代行装置学 呼吸機能代行装置学実習
専	教授	八賀 正司 (64) ＜平成30年4月＞ 学術博士
		電気工学実習 電子工学Ⅰ 電子工学Ⅱ 電子工学演習Ⅰ 電子工学演習Ⅱ 電子工学実習 医用システム工学実習 生体計測工学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	平山 順 (42) ＜平成30年4月＞ 博士 (人間・環境学)
		テーマ別基礎ゼミ 生化学 臨床医学Ⅲ（神経系、内分泌系）※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	野川 雅道 (46) ＜平成30年4月＞ 修士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 臨床工学総論 ※ 電気工学演習Ⅰ 電気工学演習Ⅱ 電子工学演習Ⅰ 電子工学演習Ⅱ 電子工学実習 医用機械工学 医用システム工学実習 生体材料工学 生体計測装置学 生体計測装置学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	深澤 伸慈 (64) ＜令和2年4月＞ 専門学校卒
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 臨床工学総論 ※ 呼吸機能代行装置学 呼吸機能代行装置学実習 臨床医学Ⅰ（呼吸器、循環器）※ 医用機器安全管理学 医用機器安全管理学実習 チーム医療論 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
兼任	講師	深澤 伸慈 (64) ＜平成30年4月＞ 専門学校卒
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 臨床工学総論 ※ 呼吸機能代行装置学 呼吸機能代行装置学実習
専	教授	八賀 正司 (64) ＜平成30年4月＞ 学術博士
		電気工学実習 電子工学Ⅰ 電子工学Ⅱ 電子工学演習Ⅰ 電子工学演習Ⅱ 電子工学実習 医用システム工学実習 生体計測工学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	平山 順 (42) ＜平成30年4月＞ 博士 (人間・環境学)
		テーマ別基礎ゼミ 生化学 臨床医学Ⅲ（神経系、内分泌系）※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	野川 雅道 (46) ＜平成30年4月＞ 修士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 臨床工学総論 ※ 電気工学演習Ⅰ 電気工学演習Ⅱ 電子工学演習Ⅰ 電子工学演習Ⅱ 電子工学実習 医用機械工学 医用システム工学実習 生体材料工学 生体計測装置学 生体計測装置学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	深澤 伸慈 (65) ＜令和2年4月＞ 専門学校卒
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 臨床工学総論 ※ 呼吸機能代行装置学 呼吸機能代行装置学実習 臨床医学Ⅰ（呼吸器、循環器）※ 医用機器安全管理学 医用機器安全管理学実習 チーム医療論 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
兼任	講師	深澤 伸慈 (65) ＜平成30年4月＞ 専門学校卒
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 臨床工学総論 ※ 呼吸機能代行装置学 呼吸機能代行装置学実習
専	教授	八賀 正司 (65) ＜平成30年4月＞ 学術博士
		電気工学実習 電子工学Ⅰ 電子工学Ⅱ 電子工学演習Ⅰ 電子工学演習Ⅱ 電子工学実習 医用システム工学実習 生体計測工学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	平山 順 (43) ＜平成30年4月＞ 博士 (人間・環境学)
		テーマ別基礎ゼミ 生化学 臨床医学Ⅲ（神経系、内分泌系）※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	野川 雅道 (47) ＜平成30年4月＞ 修士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 臨床工学総論 ※ 電気工学演習Ⅰ 電気工学演習Ⅱ 電子工学演習Ⅰ 電子工学演習Ⅱ 電子工学実習 医用機械工学 医用システム工学実習 生体材料工学 生体計測装置学 生体計測装置学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	李 鍾昊 (44) ＜平成30年4月＞ 博士（学術）
		テーマ別基礎ゼミ 教養としての物理 応用数学 プログラミング演習 医用工学 医用システム工学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	辻村 真一 (39) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理応用B 情報処理工学 プログラミング演習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	講師	坂元 英雄 (49) ＜平成30年4月＞ 修士（工学）
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 臨床工学総論 ※ 循環機能代行装置学 循環機能代行装置学実習 臨床医学Ⅰ（呼吸器、循環器）※ 臨床医学Ⅱ（代謝、血液）※ 医用機器安全管理学 医用機器安全管理学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	講師	井澤 純子 (48) ＜平成30年4月＞ 博士（情報科学）
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 教養としての数学 プログラミング演習 医用システム工学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
兼任	教授	木村 繁男 (67) ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)
		現代科学技術論 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	李 鍾昊 (44) ＜平成30年4月＞ 博士（学術）
		テーマ別基礎ゼミ 教養としての物理 応用数学 プログラミング演習 医用工学 医用システム工学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	藤田 一寿 (39) ＜平成30年7月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理応用B 情報処理工学 プログラミング演習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	講師	坂元 英雄 (50) ＜平成30年4月＞ 修士（工学）
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 臨床工学総論 ※ 循環機能代行装置学 循環機能代行装置学実習 臨床医学Ⅰ（呼吸器、循環器）※ 臨床医学Ⅱ（代謝、血液）※ 医用機器安全管理学 医用機器安全管理学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	講師	井澤 純子 (48) ＜平成30年4月＞ 博士（情報科学）
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 教養としての数学 プログラミング演習 医用システム工学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
兼任	教授	木村 繁男 (67) ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)
		現代科学技術論 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	李 鍾昊 (45) ＜平成30年4月＞ 博士（学術）
		テーマ別基礎ゼミ 教養としての物理 応用数学 プログラミング演習 医用工学 医用システム工学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	藤田 一寿 (40) ＜平成30年7月＞ 博士（工学）
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理応用B 情報処理工学 プログラミング演習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	講師	坂元 英雄 (51) ＜平成30年4月＞ 修士（工学）
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 臨床工学総論 ※ 循環機能代行装置学 循環機能代行装置学実習 臨床医学Ⅰ（呼吸器、循環器）※ 臨床医学Ⅱ（代謝、血液）※ 医用機器安全管理学 医用機器安全管理学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	講師	井澤 純子 (49) ＜平成30年4月＞ 博士（情報科学）
		テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 教養としての数学 プログラミング演習 医用システム工学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
兼任	教授	木村 繁男 (68) ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)
		現代科学技術論 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山田 外史 (68) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		日本産業史 ※
兼任	講師	山田 良穂 (66) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※
兼任	教授	安達 正明 (66) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 教養としての物理 現代科学技術論
兼任	教授	木村 春彦 (66) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼任	教授	川端 信義 (65) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		現代科学技術論 ※
兼任	教授	田村 博志 (65) ＜平成31年4月＞ 理学博士
		教養としての数学 統計学 現代科学技術論 ※
兼任	講師	田村 博志 (64) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		現代科学技術論 ※
兼任	教授	岩田 佳雄 (65) ＜平成31年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山田 外史 (68) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		日本産業史 ※
兼任	講師	山田 良穂 (67) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※
兼任	教授	安達 正明 (66) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 教養としての物理 現代科学技術論
兼任	教授	木村 春彦 (66) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼任	教授	川端 信義 (65) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		現代科学技術論 ※
兼任	教授	田村 博志 (64) ＜平成31年4月＞ 理学博士
		教養としての数学 統計学 現代科学技術論 ※
兼任	講師	田村 博志 (64) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		現代科学技術論 ※
兼任	教授	岩田 佳雄 (64) ＜平成31年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山田 外史 (69) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		日本産業史 ※
兼任	講師	山田 良穂 (68) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※
兼任	教授	安達 正明 (67) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 教養としての物理 現代科学技術論
兼任	教授	木村 春彦 (67) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼任	教授	川端 信義 (66) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		現代科学技術論 ※
兼任	教授	田村 博志 (65) ＜平成31年4月＞ 理学博士
		教養としての数学 統計学 現代科学技術論 ※
兼任	講師	田村 博志 (65) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		現代科学技術論 ※
兼任	教授	岩田 佳雄 (65) ＜平成31年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岩田 佳雄 (64) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		日本産業史 ※
兼任	教授	新田 雅道 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）
		アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※
兼任	講師	新田 雅道 (59) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※
兼任	教授	富澤 淳 (59) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		日本産業史 ※
兼任	教授	上田 芳弘 (60) ＜令和3年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼任	准教授	石若 裕子 (51) ＜令和3年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 情報処理応用 A
兼任	准教授	疋津 正利 (47) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎
兼任	准教授	梶原 祐輔 (32) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 情報処理応用 A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岩田 佳雄 (64) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		日本産業史 ※
兼任	教授	新田 雅道 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）
		アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※
兼任	講師	新田 雅道 (59) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※
兼任	教授	富澤 淳 (59) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		日本産業史 ※
兼任	教授	上田 芳弘 (58) ＜令和3年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼任	准教授	石若 裕子 (48) ＜令和3年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 情報処理応用 A
兼任	准教授	疋津 正利 (47) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎
兼任	准教授	梶原 祐輔 (32) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 情報処理応用 A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岩田 佳雄 (65) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		日本産業史 ※
兼任	教授	新田 雅道 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）
		アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※
兼任	講師	新田 雅道 (60) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※
兼任	教授	富澤 淳 (60) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		日本産業史 ※
兼任	教授	上田 芳弘 (59) ＜令和3年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼任	准教授	石若 裕子 (49) ＜令和3年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 情報処理応用 A
兼任	准教授	疋津 正利 (48) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎
兼任	准教授	梶原 祐輔 (33) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 情報処理応用 A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	森川 浩子 (64) ＜平成30年4月＞ 修士（教育学）
		テーマ別基礎ゼミ
兼任	教授	中島 素子 (65) ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		健康と体の科学 ※
兼任	教授	内田 美保 (59) ＜平成30年4月＞ 修士（感染制御学）
		テーマ別基礎ゼミ 看護学概論 ※ グローバル感染対策
兼任	教授	小泉 由美 (59) ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		テーマ別基礎ゼミ
兼任	教授	松井 優子 (52) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		看護学概論 ※ 看護技術の科学的検証
兼任	教授	徳田 真由美 (52) ＜平成30年4月＞ 博士（看護学）
		地域包括ケア
兼任	教授	坂本 めぐみ (53) ＜平成31年4月＞ 博士（保健学）
		地域の健康課題と多職種連携
兼任	教授	山崎 松美 (42) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	森川 浩子 (64) ＜平成30年4月＞ 修士（教育学）
		テーマ別基礎ゼミ
兼任	教授	中島 素子 (65) ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		健康と体の科学 ※
兼任	教授	内田 美保 (59) ＜平成30年4月＞ 修士（感染制御学）
		テーマ別基礎ゼミ 看護学概論 ※ グローバル感染対策
兼任	教授	小泉 由美 (59) ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		テーマ別基礎ゼミ
兼任	教授	松井 優子 (52) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		看護学概論 ※ 看護技術の科学的検証
兼任	教授	徳田 真由美 (52) ＜平成30年4月＞ 博士（看護学）
		地域包括ケア
兼任	教授	坂本 めぐみ (52) ＜平成31年4月＞ 博士（保健学）
		地域の健康課題と多職種連携
兼任	教授	山崎 松美 (42) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	森川 浩子 (65) ＜平成30年4月＞ 修士（教育学）
		テーマ別基礎ゼミ
兼任	教授	中島 素子 (65) ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		健康と体の科学 ※
兼任	教授	内田 美保 (60) ＜平成30年4月＞ 修士（感染制御学）
		テーマ別基礎ゼミ 看護学概論 ※ グローバル感染対策
兼任	教授	小泉 由美 (60) ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		テーマ別基礎ゼミ
兼任	教授	松井 優子 (53) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		看護学概論 ※ 看護技術の科学的検証
兼任	教授	徳田 真由美 (53) ＜平成30年4月＞ 博士（看護学）
		地域包括ケア
兼任	教授	坂本 めぐみ (53) ＜平成31年4月＞ 博士（保健学）
		地域の健康課題と多職種連携
兼任	教授	山崎 松美 (43) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	日下 純子 (64) ＜平成30年4月＞ 修士(社会福祉学) 修士(看護学)
		テーマ別基礎ゼミ
兼任	准教授	松村 愛都 (60) ＜平成30年4月＞ 修士(看護学)
		テーマ別基礎ゼミ
兼任	講師	清水 由加里 (50) ＜平成30年4月＞ 修士(看護学)
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ
兼任	助教	藤田 結香里 (30) ＜平成30年4月＞ 修士(保健学)
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ
兼任	教授	岩田 礼 (65) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※
兼任	教授	宮崎 猛 (67) ＜平成30年4月＞ 農学博士
		アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題
兼任	教授	VANCE, Timothy John (66) ＜平成30年4月＞ Ph. D., linguistics (米国)
		言葉と文化 ※ 英語Ⅰb 英語Ⅱb
兼任	教授	盛田 清秀 (65) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		経済学 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	日下 純子 (64) ＜平成30年4月＞ 修士(社会福祉学) 修士(看護学)
		テーマ別基礎ゼミ
兼任	准教授	松村 愛都 (60) ＜平成30年4月＞ 修士(看護学)
		テーマ別基礎ゼミ
兼任	講師	清水 由加里 (50) ＜平成30年4月＞ 修士(看護学)
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ
兼任	助教	藤田 結香里 (30) ＜平成30年4月＞ 修士(保健学)
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ
兼任	教授	岩田 礼 (65) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※
兼任	教授	宮崎 猛 (67) ＜平成30年4月＞ 農学博士
		アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題
兼任	教授	VANCE, Timothy John (66) ＜平成30年4月＞ Ph. D., linguistics (米国)
		言葉と文化 ※ 英語Ⅰb 英語Ⅱb
兼任	教授	盛田 清秀 (65) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		経済学 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	日下 純子 (65) ＜平成30年4月＞ 修士(社会福祉学) 修士(看護学)
		テーマ別基礎ゼミ
兼任	准教授	松村 愛都 (61) ＜平成30年4月＞ 修士(看護学)
		テーマ別基礎ゼミ
兼任	講師	清水 由加里 (51) ＜平成30年4月＞ 修士(看護学)
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ
兼任	助教	藤田 結香里 (31) ＜平成30年4月＞ 修士(保健学)
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ
兼任	教授	岩田 礼 (66) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※
兼任	教授	宮崎 猛 (68) ＜平成30年4月＞ 農学博士
		アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題
兼任	教授	VANCE, Timothy John (67) ＜平成30年4月＞ Ph. D., linguistics (米国)
		言葉と文化 ※ 英語Ⅰb 英語Ⅱb
兼任	教授	盛田 清秀 (66) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		経済学 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	西村 聡 (65) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	講師	西村 聡 (63) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	教授	岡村 徹 (56) ＜平成30年4月＞ 博士（比較社会文化）
		アカデミック・スキルズ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼任	教授	杓谷 茂樹 (55) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		文化人類学 スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
兼任	教授	刘 迺华 (55) ＜平成30年4月＞ 文学硕士 （中国）
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (63) ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy （印国）
		英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼任	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (50) ＜平成30年4月＞ 博士（創造都市）
		アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	小原 文衛 (49) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		英語Ⅰa 英語Ⅱa

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	西村 聡 (63) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	講師	西村 聡 (63) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	教授	岡村 徹 (56) ＜平成30年4月＞ 博士（比較社会文化）
		アカデミック・スキルズ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼任	教授	杓谷 茂樹 (55) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		文化人類学 スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
兼任	教授	刘 迺华 (55) ＜平成30年4月＞ 文学硕士 （中国）
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (63) ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy （印国）
		英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼任	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (50) ＜平成30年4月＞ 博士（創造都市）
		アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	小原 文衛 (49) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		英語Ⅰa 英語Ⅱa

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	西村 聡 (64) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	講師	西村 聡 (64) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	教授	岡村 徹 (57) ＜平成30年4月＞ 博士（比較社会文化）
		アカデミック・スキルズ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼任	教授	杓谷 茂樹 (56) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		文化人類学 スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
兼任	教授	刘 迺华 (56) ＜平成30年4月＞ 文学硕士 （中国）
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (64) ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy （印国）
		英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼任	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (51) ＜平成30年4月＞ 博士（創造都市）
		アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	小原 文衛 (50) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		英語Ⅰa 英語Ⅱa

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	一ノ渡 忠之 (43) ＜平成30年4月＞ 博士（商学）
		経済学 ※ ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ
兼任	准教授	木村 誠 (39) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）
		アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼任	講師	木村 誠 (37) ＜平成30年4月＞ 博士（学術）
		アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼任	准教授	木場 紗綾 (37) ＜平成30年4月＞ 博士（政治学）
		アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼任	准教授	千葉 悠志 (32) ＜平成30年4月＞ 博士（地域研究）
		アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼任	助教	長辻 幸 (34) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		英語Ⅰa 英語Ⅱa
兼任	講師	三浦 要 (59) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		哲学 クリティカルシンキング
兼任	講師	宇根 義己 (38) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		人文地理学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	一ノ渡 忠之 (43) ＜平成30年4月＞ 博士（商学）
		経済学 ※ ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ
兼任	准教授	木村 誠 (38) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）
		アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼任	講師	木村 誠 (38) ＜平成30年4月＞ 博士（学術）
		アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼任	准教授	木場 紗綾 (37) ＜平成30年4月＞ 博士（政治学）
		アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼任	准教授	千葉 悠志 (32) ＜平成30年4月＞ 博士（地域研究）
		アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼任	助教	長辻 幸 (35) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		英語Ⅰa 英語Ⅱa
兼任	講師	三浦 要 (59) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		哲学 クリティカルシンキング
兼任	講師	宇根 義己 (38) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		人文地理学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	一ノ渡 忠之 (44) ＜平成30年4月＞ 博士（商学）
		経済学 ※ ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ
兼任	准教授	木村 誠 (39) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）
		アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼任	講師	木村 誠 (39) ＜平成30年4月＞ 博士（学術）
		アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼任	准教授	木場 紗綾 (38) ＜平成30年4月＞ 博士（政治学）
		アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼任	准教授	千葉 悠志 (33) ＜平成30年4月＞ 博士（地域研究）
		アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼任	助教	長辻 幸 (36) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		英語Ⅰa 英語Ⅱa
兼任	講師	三浦 要 (60) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		哲学 クリティカルシンキング
兼任	講師	宇根 義己 (39) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		人文地理学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	碓 陽子 (41) ＜平成30年4月＞ 博士（学術）
		医療と文化
兼任	講師	溝部 明男 (68) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		社会学
兼任	講師	木村 高宏 (43) ＜平成30年4月＞ 博士（政策科学）
		公共政策論
兼任	講師	井上 英夫 (70) ＜平成30年4月＞ 法学修士
		社会福祉論
兼任	講師	山崎 友也 (45) ＜平成30年4月＞ 修士（法学）
		日本国憲法
兼任	講師	榊原 千秋 (56) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		健康と体の科学 ※
兼任	講師	松下 裕子 (58) ＜平成30年4月＞ 体育学士
		スポーツ演習（バレーボール） スポーツ演習（硬式テニス） スポーツ演習（フットサル） スポーツ演習（卓球） スポーツ演習（バドミントン）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	横川 善正 (69) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		医療と文化
兼任	講師	溝部 明男 (68) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		社会学
兼任	講師	木村 高宏 (43) ＜平成30年4月＞ 博士（政策科学）
		公共政策論
兼任	講師	井上 英夫 (70) ＜平成30年4月＞ 法学修士
		社会福祉論
兼任	講師	山崎 友也 (45) ＜平成30年4月＞ 修士（法学）
		日本国憲法
兼任	講師	榊原 千秋 (56) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		健康と体の科学 ※
兼任	講師	松下 裕子 (58) ＜平成30年4月＞ 体育学士
		スポーツ演習（バレーボール） スポーツ演習（硬式テニス） スポーツ演習（フットサル） スポーツ演習（卓球） スポーツ演習（バドミントン）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	横川 善正 (70) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		医療と文化 英語 I a
兼任	講師	溝部 明男 (69) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		社会学
兼任	講師	木村 高宏 (44) ＜平成30年4月＞ 博士（政策科学）
		公共政策論
兼任	講師	井上 英夫 (71) ＜平成30年4月＞ 法学修士
		社会福祉論
兼任	講師	山崎 友也 (46) ＜平成30年4月＞ 修士（法学）
		日本国憲法
兼任	講師	榊原 千秋 (57) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		健康と体の科学 ※
兼任	講師	松下 裕子 (59) ＜平成30年4月＞ 体育学士
		スポーツ演習（バレーボール） スポーツ演習（硬式テニス） スポーツ演習（フットサル） スポーツ演習（卓球） スポーツ演習（バドミントン）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	川畠 嘉美 (49) ＜令和2年4月＞ 修士（文学）
		英語 I a
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (55) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		英語 I a
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (49) ＜平成30年4月＞ B. A. (Psychology) (米国)
		英語 I b 英語 II b
兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (43) ＜平成30年4月＞ PhD Cultural Anthropology (米国)
		英語 I b
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (42) ＜平成30年4月＞ PhD in International Relations (英国)
		英語 II b
兼任	講師	島内 俊彦 (48) ＜平成30年4月＞ 学士（外国研究）
		英語Ⅲ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅳ
兼任	講師	岩津 航 (42) ＜平成30年4月＞ Doctorat (Littérature comparé e) (仏国)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	川畠 嘉美 (49) ＜令和2年4月＞ 修士（文学）
		英語 I a
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (55) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		英語 I a
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (49) ＜平成30年4月＞ B. A. (Psychology) (米国)
		英語 I b 英語 II b
兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (43) ＜平成30年4月＞ PhD Cultural Anthropology (米国)
		英語 I b
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (42) ＜平成30年4月＞ PhD in International Relations (英国)
		英語 II b
兼任	講師	島内 俊彦 (48) ＜平成30年4月＞ 学士（外国研究）
		英語Ⅲ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅳ
兼任	講師	岩津 航 (42) ＜平成30年4月＞ Doctorat (Littérature comparée) (仏国)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	川畠 嘉美 (50) ＜令和2年4月＞ 修士（文学）
		英語 I a
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (56) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		英語 I a
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (50) ＜平成30年4月＞ B. A. (Psychology) (米国)
		英語 I b 英語 II b
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (43) ＜平成30年4月＞ PhD in International Relations (英国)
		英語 I b 英語 II b
兼任	講師	島内 俊彦 (49) ＜平成30年4月＞ 学士（外国研究）
		英語Ⅲ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅳ
兼任	講師	大竹口 麻里 (55) ＜平成31年4月＞ 修士（フランス語教授法）
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	名執 純子 (49) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	名執 純子 (49) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	名執 純子 (50) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ			ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ			ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ
兼任	講師	南保 英孝 (46) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	南保 英孝 (46) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	南保 英孝 (47) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎			情報処理基礎			情報処理基礎
兼任	講師	佐藤 宜伯 (55) ＜平成31年4月＞ 専門学校卒	兼任	講師	佐藤 宜伯 (55) ＜平成31年4月＞ 専門学校卒	兼任	講師	佐藤 宜伯 (55) ＜平成31年4月＞ 専門学校卒
		代謝機能代行装置学 代謝機能代行装置学実習 臨床医学Ⅱ（代謝、血液） ※ 看護技術の科学的検証 臨床実習			代謝機能代行装置学 代謝機能代行装置学実習 臨床医学Ⅱ（代謝、血液） ※ 看護技術の科学的検証 臨床実習			代謝機能代行装置学 代謝機能代行装置学実習 臨床医学Ⅱ（代謝、血液） ※ 看護技術の科学的検証 臨床実習
兼任	講師	相内 信 (68) ＜平成30年4月＞ 法学修士	兼任	講師	相内 信 (68) ＜平成30年4月＞ 法学修士	兼任	講師	相内 信 (69) ＜平成30年4月＞ 法学修士
		医療関係法規			医療関係法規			医療関係法規
兼任	講師	川井 恵一 (59) ＜平成30年4月＞ 薬学博士	兼任	講師	川井 恵一 (59) ＜平成30年4月＞ 薬学博士	兼任	講師	川井 恵一 (60) ＜平成30年4月＞ 薬学博士
		薬理学			薬理学			薬理学
兼任	講師	櫻井 勝 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼任	講師	櫻井 勝 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼任	講師	櫻井 勝 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		公衆衛生学			公衆衛生学			公衆衛生学
兼任	講師	岡本 成史 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（歯学）	兼任	講師	岡本 成史 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（歯学）	兼任	講師	岡本 成史 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（歯学）
		感染免疫学			感染免疫学			感染免疫学

- （注） ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実（実）、実（実）、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・辻村真一准教授就任辞退。初年度前期に担当科目がないことから、藤田一寿を科目を担当しない准教授として4月1日より採用し、平成30年度第1回AC教員審査に提出（平成30年4月教員審査済）。
- ・共通教育科目「医療と文化」の担当教員を、兼任教員から兼担教員である横川善正教授に変更。国際文化交流学部の専任教員として平成30年度第1回AC教員審査に提出（平成30年4月教員審査済）。

【令和元年度】

- ・共通教育科目「英語Ia」の担当教員として、兼担教員の横川善正教授を追加（平成31年1月教員審査済）
- ・共通教育科目「英語Ib」の担当教員を、兼任教員のERTL JOHN JOSEF講師から兼任教員のFOX SENAN JAMES講師に変更
- ・共通教育科目「フランス語I」「フランス語II」の担当教員を、兼任教員の岩津 航講師から兼任教員の大竹口 麻里講師に変更

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
12	6
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
7	3	2	0	12	6	3	2	0	11
(4)	(3)	(2)	(0)	(9)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)
7	3	2	0	12	7	3	2	0	12
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	5	6
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{12} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{5}{11} = \boxed{45.45} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	准教授	辻村 真一	H29.12	必修	テーマ別基礎ゼミ	①	H30.1健康上の理由のため就任辞退（30）						
				選択	情報処理応用B	①							
				必修	情報処理工学	①							
				必修	プログラミング演習	①							
				必修	臨床実習	①							
				必修	卒業研究Ⅰ	①							
				必修	卒業研究Ⅱ	①							
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
1	人	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	7	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし									
合 計 （ F ）					後任補充状況の集計（ G ）						
辞任した教員数		担当科目数の合計（ a ） + （ b ） + （ c ）			①の合計数（ a ）		②の合計数（ b ）		③の合計数（ c ）		
0	人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
		選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
		自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)				後任補充状況の集計(E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)			
1	人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	7 科目	計	7 科目	計	0 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{12} = \boxed{8.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

本学部における専任教員就任辞退者は、開学年度の前期に担当授業科目を有しておらず、学生の履修等への影響は出ていない。後任については、候補者選を速やかに行い、平成30年4月のAC教員審査で審査を受けている。なお、当該後任については、授業を持たない専任教員として平成30年4月から採用し、授業の準備等に十分な準備期間を与えることで適切な履修につなげるよう対応を行った。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設置時 (29年8月)	・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	留意事項 ・理事長・学長のトップマネジメントのもとに、設置計画を確実に履行し、的確な大学運営を行っている。 ・教育研究活動水準の向上に向け、全学委員会及び学部教授会の両体制から取り組みを行うことを予定している。(平成30年度) ・設置計画の的確な履行に向け、各種審議会や全学委員会を組織し、理事長・学長のトップマネジメントのもとに大学を組織的に運営するための体制を構築した。 ・授業評価アンケートに基づく授業改善活動や学部内でのプロジェクト型研究の始動など、教育研究活動の水準向上のための活動を実施している。 ・中期計画及び年度計画に基づき、一つひとつの事項を計画的に推進するとともに、定期的な進捗管理を行う体制を構築した。(令和元年度)	履行中 ・5月に6年間の計画である中期計画(6年間の計画)を策定し、その後、年度計画を策定する。 ・年度計画を踏まえ、全学委員会である「教育企画委員会」、「研究・地域連携委員会」が具体的な活動計画を策定し、個々の活動は学部教授会のもとに行っていく。(平成30年度) ・大学の各組織が行う活動が設置の趣旨・目的を踏まえた取組となっているのかを、理事長・学長のトップマネジメントもとに行う進捗管理の中で確認し、計画が適切に履行されているのかを検証していく。(令和元年度)
設置時 (29年8月)	・運動場及び体育館が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	留意事項 ・スポーツ演習科目においては、中央キャンパス近くの体育施設を利用するとともに、シャトルバスの運行により支障が生じないよう対応している。 ・小松市により、中央キャンパスの近傍に課外活動の拠点として利用できる建物が設置され、学生の活動を支える環境が高まっている。(平成30年度) ・シャトルバスの追加導入を行い、スポーツ演習だけではなく、課外活動においても利用できるよう運行表を組んでいる。(令和元年度)	履行済 ・今後も、アンケート等により学生のニーズの把握に努め、地域社会との協力のもとに、教育環境の向上を図っていく。(平成30年度) ・学生の動きを把握するとともにそのニーズを捉え、教育活動や課外活動等を行いやすくなるよう環境の改善に引き続き取り組んでいく。(令和元年度)

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設置時 (29年8月)	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	・中長期的な観点から、教員採用・育成のための計画を策定し、それに沿って教員人事の適正な運用を行う予定である。(平成30年度) ・教員組織の在り方について検討を行っている。また、今後の教員採用にあたっての全学的な基準づくりを行っている。(令和元年度)	・今年度中に、完成年度までの教員採用・育成計画を策定に着手する。策定後は、計画のもとに、教員の公募・育成等を行うとともに、適宜AC教員審査に諮っていく。(平成30年度) ・教員採用・育成のための計画づくりを推進するとともに、学部学科間のバランスや経営状況を踏まえた全学的な視点での検討も行う。(令和元年度)

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。) と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<保健医療学部 臨床工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

公立小松大学FD・SD推進委員会規則を制定（30年4月）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成31年3月 開催

c 委員会の審議事項等

FD・SDの推進計画の策定、実施に関すること

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 財務システム研修会
- ・ 公立大学の役割を学ぶ研修会
- ・ 入試の全国的な動向や高校生の傾向を学ぶ研修会
- ・ 労働安全衛生に係る研修会
- ・ 競争的研究資金獲得に向けた研修会
- ・ 研究倫理研修会（e-ラーニング）
- ・ 新任事務職員のための研修会

b 実施方法

- ・ 開学後早急にFD・SD活動を開始するため、理事長・学長の指導のもと、各委員会等が研修会を企画した。全学における実施結果は、公立小松大学FD・SD推進委員会がとりまとめ総括した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 財務システム研修会（３０年４月） 教員・事務職員対象 全員受講
- ・ 公立大学の役割を学ぶ研修会（３０年７月） 教員・事務職員対象 ７８人参加
- ・ 入試の全国的な動向や高校生の傾向を学ぶ研修会（３０年８月） 教員・入試関連事務職員対象 ６２人参加
- ・ 労働安全衛生に係る研修会（３１年２月） 教員・事務職員対象 ６６人参加
- ・ 競争的研究資金獲得に向けた研修会（３１年３月） 教員・研究関連事務職員対象 ３２人参加
- ・ 研究倫理研修会（e-ラーニング） 教員対象 ３月までに全教員の受講完了を確認
- ・ 新任事務職員のための研修会（３０年４月～１０月） 新任事務職員対象 １１人参加
- ・ 授業評価アンケートの結果を受け、学長から学部長・学科長に対し指導を指示
学科ごとに対応を実施（３０年１２月）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 授業評価アンケートに基づき、学部学科単位で改善を実施
- ・ プレゼンテーション能力やアクティブラーニング等の研修実施に向けた準備を実施中

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期・後期のそれぞれの終了時に授業科目ごとに実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業評価アンケートの結果を受け、学長から学部長・学科長に対し指導を指示
学科ごとに対応を実施（３０年１２月）
- ・ アンケート結果を受けての大学としての対応について、学長メッセージとして掲示板に掲示し周知している
（前期・後期終了後）

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

地方独立行政法人法の規定も踏まえ、自己点検・評価委員会を設置し、理事長・学長のトップマネジメントによる法人・大学の運営が行われる仕組みを構築した。大学の各組織は、年に2度理事長・学長によるヒアリングを受けることとなっており、目標や方針の確認及び進捗状況の点検確認を行っている。

職員の資質や意識の更なる向上を図りつつ、設置の趣旨・目的に達成に向け組織全体が一丸となって取り組んでいく環境を引き続き整えていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和元年6月 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和元年6月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・学内で検討を行っている。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ ☒ 有 ・ ☐ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （令和元年6月30日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

公立大学法人公立小松大学

(2) 大 学 名 公立小松大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒923-0921
石川県小松市土居原町10-10

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(イシダ ヒロト) 石 田 寛 人 (現職就任30年4月)		
学 長	(ヤマモト ヒロシ) 山 本 博 (現職就任30年4月)		
学 部 長	(イワタ レイ) 岩 田 礼 (現職就任30年4月)		
学科長等	(イワタ レイ) 岩 田 礼 (現職就任30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際文化交流学部 国際文化交流学科 学士(国際文化学)	文学関係	4年	80人	年次 —	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成 2 7 年度		平成 2 8 年度		平成 2 9 年度		平成 3 0 年度		令和元年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— (—) [—]	—	— (—) [—]	—	— (—) [—]	—	80人 (—) [—]	—人	80人 (—) [—]	—人	1.03倍	—	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	427 (—) [—]	— (—) [—]	674 (—) [—]	— (—) [—]			
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	330 (—) [—]	— (—) [—]	436 (—) [—]	— (—) [—]			
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	145 (—) [—]	— (—) [—]	114 (—) [—]	— (—) [—]			
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	83 (—) [—]	— (—) [—]	83 (—) [—]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A							1.03		1.03				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度	平成 2 7 年度		平成 2 8 年度		平成 2 9 年度		平成 3 0 年度		令和元年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	83 [—] (—)	— [—] (—)	83 [—] (—)	— [—] (—)	
2 年次				— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	82 [—] (—)	— [—] (—)	
3 年次						— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)
4 年次								— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)
計				[] ()				[] ()		[] ()		83 [—] (—)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
平成28年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
平成29年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
平成30年度	83 人	1 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	1 人	0 人	・その他(就職活動を行うため)(1人)
令和元年度	165 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		1 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学者数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・在学者数、退学者数には編入学生や転入生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の身心に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

平成27年度の退学者数(a)
平成27年度の在学者数(b)

=	—	=	#VALUE!	%
=	—			

【平成28年度】

平成28年度の退学者数(a)	=	—	=	#VALUE!	%
平成28年度の在学者数(b)	=	—			

【平成29年度】

平成29年度の退学者数(a)	=	—	=	#VALUE!	%
平成29年度の在学者数(b)	=	—			

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{83} = \boxed{1.2} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{165} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<国際文化交流学部 国際文化交流学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通 教育 科目	導入科目	キャリアデザイン・ チーム論Ⅲ	1前	1			2	1				
		アカデミック・スキルズ	1前	1								
		テーマ別基礎ゼミ	1後	2			8	8		1		11
		情報処理基礎	1前	2								
		南加賀の歴史と文化	1後	2			1					6
		小計(5科目)	—	8	0	0	8	8	0	1	0	16
	一般科目（人間力）	哲学	1前		2							1
		心理学	1前		2			1				
		人間の発達と心	1前		2			1				
		日本の伝統芸能	1前		2		1					
		人文地理学	1後		2							1
		文化人類学	1後		2		1					
		医療と文化	1後		2							1
		文章表現法	1後		2		1					
		言葉と文化	1後		2		2					
		小計(9科目)	—	0	18	0	4	1	0	0	0	3
	一般科目（社会力）	日本産業史	1前		2							4
		自然資源と 環境問題	1前		2		1					
		経済学	1前		2		1	1				
		政治学	1後		2			2				
		社会学	1後		2							1
		公共政策論	1後		2							1
		社会福祉論	1後		2							1
		日本国憲法	1前		2							1
		小計(8科目)	—	0	16	0	2	3	0	0	0	8
	一般科目（科学力）	データ化学と社会	1前		2							3
		情報処理応用A	1後		2							2
		情報処理応用B	1後		2							1
		クリティカルシンキング	1後		2							1
		統計学	1前		2							2
		教養としての物理	1前		2							2
		教養としての数学	1後		2							2
		現代科学技術論	1前		2							5
		小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	14
	一般科目（健康と体力）	健康と体の科学	1前		2							2
		スポーツ演習 （バレーボール）	1前・ 1後		1							1
		スポーツ演習 （硬式テニス）	1前		1							1
		スポーツ演習 （フットサル）	1前・ 1後		1							1
		スポーツ演習（卓球）	1後		1							1
		スポーツ演習 （バドミントン）	1前・ 1後		1							1
		小計(6科目)	—	0	7	0	0	0	0	0	0	3
英語科目		英語Ⅰa	1前	2				2		1		2
	英語Ⅰb	1前	2			1					2	
	英語Ⅱa	1後	2			1	1		1			
	英語Ⅱb	1後	2			1	1				2	
	英語Ⅲ	1後	2								1	
	実用英語Ⅰ	1前・ 1後			2						1	
	実用英語Ⅱ	1前・ 1後			2						1	
	実用英語Ⅲ	1前・ 1後			2						1	
	実用英語Ⅳ	1前・ 1後			2						1	
	小計(9科目)	—	10	0	8	2	2	0	1	0	6	

【令和元年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通 教育 科目	導入科目	キャリアデザイン・ チーム論Ⅲ	1前	1			2	1				
		アカデミック・スキルズ	1前	1								
		テーマ別基礎ゼミ	1後	2			8	8		1		11
		情報処理基礎	1前	2								
		南加賀の歴史と文化	1後	2			1					6
		小計(5科目)	—	8	0	0	8	8	0	1	0	16
	一般科目（人間力）	哲学	1前		2							
		心理学	1前		2			1				
		人間の発達と心	1前		2			1				
		日本の伝統芸能	1前		2		1					
		人文地理学	1後		2							1
		文化人類学	1後		2		1					
		医療と文化	1後		2							1
		文章表現法	1後		2		1					
		言葉と文化	1後		2		2					
		小計(9科目)	—	0	18	0	4	1	0	0	0	3
	一般科目（社会力）	日本産業史	1前		2							4
		自然資源と 環境問題	1前		2		1					
		経済学	1前		2		1	1				
		政治学	1後		2			2				
		社会学	1後		2							1
		公共政策論	1後		2							1
		社会福祉論	1後		2							1
		日本国憲法	1後		2							1
		小計(8科目)	—	0	16	0	2	3	0	0	0	8
	一般科目（科学力）	データ化学と社会	1後		2							3
		情報処理応用A	1後		2							2
		情報処理応用B	1後		2							1
		クリティカルシンキング	1後		2							1
		統計学	1後		2							2
		教養としての物理	1前		2							2
		教養としての数学	1前		2							2
		現代科学技術論	1前		2							5
		小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	14
	一般科目（健康と体力）	健康と体の科学	1前		2							2
		スポーツ演習 （バレーボール）	1前・ 後		1							1
		スポーツ演習 （硬式テニス）	1前		1							1
		スポーツ演習 （フットサル）	1前・ 後		1							1
		スポーツ演習（卓球）	1後		1							1
		スポーツ演習 （バドミントン）	1前・ 後		1							1
		小計(6科目)	—	0	7	0	0	0	0	0	0	3
	英語科目	英語Ⅰa	1前	2			1	2		1		2
		英語Ⅰb	1前	2			1					2
		英語Ⅱa	1後	2			1	1		1		
		英語Ⅱb	1後	2			1	1				2
		英語Ⅲ	1後	2								1
		実用英語Ⅰ	1前・ 後			2						1
実用英語Ⅱ		1前・ 後			2						1	
実用英語Ⅲ（未開講）		1前・ 後			2						1	
実用英語Ⅳ（未開講）		1前・ 後			2						1	
小計(9科目)		—	10	0	8	3	2	0	1	0	6	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通教育科目	中国語Ⅰ	1前	2			1					
	中国語Ⅱ	1後	2			1					
	フランス語Ⅰ	1前	2								1
	フランス語Ⅱ	1後	2								1
	ドイツ語Ⅰ	1前	2								1
	ドイツ語Ⅱ	1後	2								1
	ロシア語Ⅰ	1前	2				1				
	ロシア語Ⅱ	1後	2				1				
	スペイン語Ⅰ	1前	2			1					
	スペイン語Ⅱ	1後	2			1					
	小計(10科目)	—	0	20	0	2	1	0	0	0	2
専門基礎科目	国際交流論	1前	2			1	3				
	観光学概論	2前	2			1	1				
	地域政策概論	2前	2			2					
	グローバルヒストリー	2前	2				1				1
	アジア社会論	2前	2				3				
	日本文化論	2前	2			1					
	言語学概論	2前	2			3					
	異文化コミュニケーション論	2前	2			2					
	小計(8科目)	—	4	12	0	7	8	0	0	0	1
外国語科目	English comprehensionⅠ	2前	2			1					1
	English expressionⅠ	2前	2					1			1
	Tourism EnglishⅠ	2後	2				1				
	English comprehensionⅡa	2前	2				1				
	English comprehensionⅡb	2後	2				1				
	English expressionⅡa	2後	2								1
	English expressionⅡb	2後	2								1
	中国語Ⅰa	1前	2			1					
	中国語Ⅰb	1前	2			1					
	中国語Ⅱa	1後	2			1					
	中国語Ⅱb	1後	2			1					
	中国語Ⅲa	2前	2			1					
	中国語Ⅲb	2前	2			1					
	中国語Ⅳa	2後	2			1					
	中国語Ⅳb	2後	2			1					
	小計(15科目)	—	12	18	0	4	3	0	1	0	2
	Tourism EnglishⅡ	3・4前	2								1
	English comprehensionⅢ	3・4前	2			1					
	English expressionⅢ	3・4前	2					1			
	English presentationⅠ	3・4後	2								1
	English presentationⅡ	3・4後	2			1					
	中国語理解Ⅰ	3・4前	2			1					
	中国語理解Ⅱ	3・4後	2			1					
	中国語表現法	3・4前	2			1					
	中国語会話	3・4前	2			1					
	ビジネス中国語	3・4後	2			1					
	小計(10科目)	—	0	20	0	3	0	0	1	0	2
専門科目	サステナブルツーリズム論	2後	2			2	1				
	観光産業概論	2後	2			1					
	世界遺産を学ぶ	2後	2			1					
	地域再生マネジメント論	2後	2			1					
	観光社会学	2後	2								1
	観光資源論	3・4前	2			1					

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通教育科目	中国語Ⅰ	1前	2			1					
	中国語Ⅱ	1後	2			1					
	フランス語Ⅰ	1前	2								1
	フランス語Ⅱ	1後	2								1
	ドイツ語Ⅰ	1前	2								1
	ドイツ語Ⅱ	1後	2								1
	ロシア語Ⅰ	1前	2				1				
	ロシア語Ⅱ	1後	2				1				
	スペイン語Ⅰ	1前	2			1					
	スペイン語Ⅱ	1後	2			1					
	小計(10科目)	—	0	20	0	2	1	0	0	0	2
専門基礎科目	国際交流論	1前	2			1	3				
	観光学概論	2前	2			1	1				
	地域政策概論	2前	2			2					
	グローバルヒストリー	2前	2				1				1
	アジア社会論	2前	2				3				
	日本文化論	2前	2			1					
	言語学概論	2前	2			3					
	異文化コミュニケーション論	2前	2			2					
	小計(8科目)	—	4	12	0	7	8	0	0	0	1
外国語科目	English comprehensionⅠ	2前	2					2			1
	English expressionⅠ	2前	2						1		1
	Tourism EnglishⅠ	2後	2				1				
	English comprehensionⅡa	2前	2				1				
	English comprehensionⅡb	2後	2				1				
	English expressionⅡa	2後	2								1
	English expressionⅡb	2後	2								1
	中国語Ⅰa	1前	2			1					
	中国語Ⅰb	1前	2			1					
	中国語Ⅱa	1後	2			1					
	中国語Ⅱb	1後	2			1					
	中国語Ⅲa	2前	2			1					
	中国語Ⅲb	2前	2			1					
	中国語Ⅳa	2後	2			1					
	中国語Ⅳb	2後	2			1					
	小計(15科目)	—	12	18	0	5	3	0	1	0	2
	Tourism EnglishⅡ	3・4前	2				1				
	English comprehensionⅢ	3・4前	2			1					
	English expressionⅢ	3・4前	2					1			
	English presentationⅠ	3・4後	2								1
	English presentationⅡ	3・4後	2			1					
	中国語理解Ⅰ	3・4前	2			1					
	中国語理解Ⅱ	3・4後	2			1					
	中国語表現法	3・4前	2			1					
	中国語会話	3・4前	2			1					
	ビジネス中国語	3・4後	2			1					
	小計(10科目)	—	0	20	0	3	1	0	1	0	1
専門科目	サステナブルツーリズム論	2後	2			2	1				
	観光産業概論	2後	2			1					
	世界遺産を学ぶ	2後	2			1					
	地域再生マネジメント論	2後	2			1					
	観光社会学	2後	2								1
	観光資源論	3・4前	2			1					

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 科目	マーケティング調査論	3・4 前		2							1
	インバウンド観光論	3・4 前		2							1
	ホスピタリティマネジメント	3・4 前		2			1				1
	観光人材育成論	3・4 後		2			1				
	バリアフリーツーリズム論	3・4 後		2			1				
	グリーンツーリズム論	3・4 後		2		1					
	観光人類学	3・4 後		2		1					
	観光地理学	3・4 後		2		1					
	多文化共生 社会論	3・4 後		2		1	1				
	地域ブランディング論	3・4 前		2		1					
	地域産業論	3・4 後		2		1					
	フードシステム論	3・4 前		2		1					
	農村地域振興論	3・4 後		2		1					
	財政学	3・4 前		2		1					
	社会調査法	3・4 後		2			1				
	地理情報学概説	3・4 前		2							1
	観光学演習A	3前		2		1					
	観光学演習B	3前		2			1				
	観光学演習C	3前		2		1					
	地域創生演習	3前		2		1					
	多文化共生社会 演習	3前		2			1				
	課題研究A	3後		2		3	1				
	小計(28科目)	—	0	56	0	4	2	0	0	0	5
	国際政治論	2後		2			2				
	国際貿易論	2後		2			1				
	中国語圏社会 文化論	2後		2			1				
	アジア現代史概論	2後		2							1
	東南アジア地域 社会論	3・4 前		2							
	NGO論	3・4 後		2			1				
	国際協力論	3・4 前		2			1				
	イスラーム社会論	3・4 前		2			1				
	中東政治論	3・4 後		2			1				
	資源エネルギー・ 環境論	3・4 前		2			1				
	新興国経済論	3・4 後		2			1				
	グローバル論	3・4 前		2			1				
	サブカルチャー論	3・4 後		2			1				
	メディア情報論	3・4 前		2			1				
	現代メディア史	3・4 後		2			1				
	国際政治論演習A	3前		2			1				
	国際政治論演習B	3前		2			1				
	国際経済論演習	3前		2			1				
	国際社会論演習	3前		2			1				
	課題研究B	3後		2			4				
	小計(20科目)	—	0	40	0	0	4	0	0	0	1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 科目	マーケティング調査論	3・4 前		2							1
	インバウンド観光論	3・4 前		2							1
	ホスピタリティマネジメント	3・4 前		2			1				1
	観光人材育成論	3・4 後		2			1				
	バリアフリーツーリズム論	3・4 後		2			1				
	グリーンツーリズム論	3・4 後		2		1					
	観光人類学	3・4 後		2		1					
	観光地理学	3・4 後		2		1					
	多文化共生 社会論	3・4 後		2		1	1				
	地域ブランディング論	3・4 前		2		1					
	地域産業論	3・4 後		2		1					
	フードシステム論	3・4 前		2		1					
	農村地域振興論	3・4 後		2		1					
	財政学	3・4 前		2		1					
	社会調査法	3・4 後		2			1				
	地理情報学概説	3・4 前		2							1
	観光学演習A	3前		2		1					
	観光学演習B	3前		2			1				
	観光学演習C	3前		2		1					
	地域創生演習	3前		2		1					
	多文化共生社会 演習	3前		2			1				
	課題研究A	3後		2		3	1				
	小計(28科目)	—	0	56	0	4	2	0	0	0	5
	国際政治論	2後		2			2				
	国際貿易論	2後		2			1				
	中国語圏社会 文化論	2後		2			1				
	アジア現代史概論	2後		2							1
	東南アジア地域 社会論	3・4 前		2							
	NGO論	3・4 後		2			1				
	国際協力論	3・4 前		2			1				
	イスラーム社会論	3・4 前		2			1				
	中東政治論	3・4 後		2			1				
	資源エネルギー・ 環境論	3・4 前		2			1				
	新興国経済論	3・4 後		2			1				
	グローバル論	3・4 前		2			1				
	サブカルチャー論	3・4 後		2			1				
	メディア情報論	3・4 前		2			1				
	現代メディア史	3・4 後		2			1				
	国際政治論演習A	3前		2			1				
	国際政治論演習B	3前		2			1				
	国際経済論演習	3前		2			1				
	国際社会論演習	3前		2			1				
	課題研究B	3後		2			4				
	小計(20科目)	—	0	40	0	0	4	0	0	0	1

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	言語文 科系科 目群	英語圏言語文化論	2後		2		1						3	
		中国言語文化論	2後		2		1							
		英語圏文芸論	2後		2			1						
		英語研究A	3・4 前		2		1							
		英語研究B	3・4 後		2		1							
		中国語研究A	3・4 後		2		1							
		中国語研究B	3・4 前		2		1							
		社会言語学	3・4 前		2		1							
		日本語の歴史	3・4 前		2		1							
		語用論	3・4 前		2					1				
		日英対照言語 表現論	3・4 後		2					1				
		比較文学論	3・4 後		2		1							
		日本古典読解	3・4 前		2		1							
		相互理解の 心理学	3・4 後		2			1						
		言語学演習	3後		2		1							
		社会言語学演習	3前		2		1							
		日本語学演習	3前		2		1							
		英語学演習	3前		2					1				
		中国語学演習	3後		2		1							
		日本文化論演習	3後		2		1							
	小計(20科目)	—	0	40	0	5	2	0	1	0	3			
	学部共 通科目	卒業論文	4通	8			8	7		1				
		インターシッ [＊] Ⅰ	3前		2		3	2						
		インターシッ [＊] Ⅱ	3前・ 後		2		3	2						
		異文化体験実習	2・3 前		4		3	2		1				
		海外語学研修	2・3 後		4		4	1		1				
		地域実習	2・3 前		2		5	2						
小計(6科目)		—	8	14	0	9	8	0	1	0	0			
合計(162科目)			—	42	277	8	9	8	0	1	0	52		

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	言語文 科系科 目群	英語圏言語文化論	2後		2		1					3	
		中国言語文化論	2後		2		1						
		英語圏文芸論	2後		2			1					
		英語研究A	3・4 前		2		1						
		英語研究B	3・4 後		2		1						
		中国語研究A	3・4 後		2		1						
		中国語研究B	3・4 前		2		1						
		社会言語学	3・4 前		2		1						
		日本語の歴史	3・4 前		2		1						
		語用論	3・4 前		2					1			
		日英対照言語 表現論	3・4 後		2					1			
		比較文学論	3・4 後		2		1						
		日本古典読解	3・4 前		2		1						
		相互理解の 心理学	3・4 後		2			1					
		言語学演習	3後		2		1						
		社会言語学演習	3前		2		1						
		日本語学演習	3前		2		1						
		英語学演習	3前		2					1			
		中国語学演習	3後		2		1						
		日本文化論演習	3後		2		1						
		小計(20科目)	—	0	40	0	5	2	0	1	0	3	
学部共 通科目	卒業論文	4通	8			8	7		1				
	インターシッ [＊] Ⅰ	3前		2		3	2						
	インターシッ [＊] Ⅱ	3前・ 後		2		3	2						
	異文化体験実習	2・3 前		4		3	2		1				
	海外語学研修	2・3 後		4		4	1		1				
	地域実習	2・3 前		2		5	2						
	小計(6科目)	—	8	14	0	9	8	0	1	0	0		
合計(162科目)		—	42	277	8	9	8	0	1	0	50		

卒業要件及び履修方法																										
1 共通教育科目（計37単位以上） (1) 導入科目 必修8単位 (2) 一般科目 人間力6単位以上、社会力6単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上 (3) 英語科目 必修10単位 (4) (1)～(3)で履修した科目以外から2単位以上 2 専門基礎科目（計12単位以上） (1) 専門基礎科目 必修4単位 選択8単位以上 3 外国語科目（計24単位又は28単位以上） (1) 基礎外国語科目 必修12単位 選択8単位以上 (2) 専門外国語科目 【国際観光・地域創生コース】 選択必修4単位以上 【グローバルスタディーズコース】 選択必修8単位以上 4 専門科目（計54単位又は50単位以上） 【国際観光・地域創生コース】54単位以上 (1) 観光・地域創生系科目群、政治経済系科目群、言語文化系科目群 <table border="1"> <tr> <th>区分</th><th>必修科目</th><th>選択科目</th></tr> <tr> <td>観光・地域創生系科目群</td><td>—</td><td>30単位以上 コース必修 12単位^{※1} 選択 18単位^{※2}</td></tr> <tr> <td>政治経済系科目群</td><td>—</td><td>4単位以上</td></tr> <tr> <td>言語文化系科目群</td><td></td><td></td></tr> </table> ※1 「観光社会学」、「サステイナブルツーリズム論」、「観光産業概論」、「世界遺産を学ぶ」、「地域再生マネジメント論」、「課題研究A」 ※2 下記演習科目のうち2科目4単位選択必修を含む 「観光学演習A」、「観光学演習B」、「観光学演習C」、「地域再生演習」、「多文化共生社会演習」 (2) 学部共通科目 必修8単位 選択必修4単位以上 (3) 専門科目のうち(1)(2)で履修した科目を除いた科目 選択8単位以上 【グローバルスタディーズコース】50単位以上 (1) 観光・地域創生系科目群、政治経済系科目群、言語文化系科目群 <table border="1"> <tr> <th>区分</th><th>必修科目</th><th>選択科目</th></tr> <tr> <td>観光・地域創生系科目群</td><td>—</td><td>4単位以上</td></tr> <tr> <td>政治経済系科目群</td><td>—</td><td>30単位以上</td></tr> <tr> <td>言語文化系科目群</td><td></td><td>コース必修 8単位^{※1} 選択 22単位^{※2}</td></tr> </table> ※1 「国際政治論」、「国際貿易論」、「英語圏言語文化論」、「中国言語文化論」 ※2 下記演習科目のうち3科目6単位選択必修を含む 「国際政治論演習A」、「国際政治論演習B」、「国際経済論演習C」、「国際社会論演習」、「課題研究B」、「異文化コミュニケーション演習」、「言語学演習」、「社会言語学演習」、「日本語学演習」、「英語学演習」、「中国語学演習」、「日本文化論演習」 (2) 学部共通科目 必修8単位 選択必修4単位以上 (3) 専門科目のうち(1)(2)で履修した科目を除いた科目 選択4単位以上 以上、各コースにおける卒業要件単位数は、以下のとおり 【国際観光・地域創生コース】 共通教育科目 37単位以上、専門基礎科目 12単位以上 外国語科目 24単位以上、専門科目 54単位以上、合計127単位以上 【グローバルスタディーズコース】 共通教育科目 37単位以上、専門基礎科目 12単位以上 外国語科目 28単位以上、専門科目 50単位以上、合計127単位以上 5 履修科目の登録の上限 46単位（年間）			区分	必修科目	選択科目	観光・地域創生系科目群	—	30単位以上 コース必修 12単位 ^{※1} 選択 18単位 ^{※2}	政治経済系科目群	—	4単位以上	言語文化系科目群			区分	必修科目	選択科目	観光・地域創生系科目群	—	4単位以上	政治経済系科目群	—	30単位以上	言語文化系科目群		コース必修 8単位 ^{※1} 選択 22単位 ^{※2}
区分	必修科目	選択科目																								
観光・地域創生系科目群	—	30単位以上 コース必修 12単位 ^{※1} 選択 18単位 ^{※2}																								
政治経済系科目群	—	4単位以上																								
言語文化系科目群																										
区分	必修科目	選択科目																								
観光・地域創生系科目群	—	4単位以上																								
政治経済系科目群	—	30単位以上																								
言語文化系科目群		コース必修 8単位 ^{※1} 選択 22単位 ^{※2}																								

卒業要件及び履修方法																										
1 共通教育科目（計37単位以上） (1) 導入科目 必修8単位 (2) 一般科目 人間力6単位以上、社会力6単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上 (3) 英語科目 必修10単位 (4) (1)～(3)で履修した科目以外から2単位以上 2 専門基礎科目（計12単位以上） (1) 専門基礎科目 必修4単位 選択8単位以上 3 外国語科目（計24単位又は28単位以上） (1) 基礎外国語科目 必修12単位 選択8単位以上 (2) 専門外国語科目 【国際観光・地域創生コース】 選択必修4単位以上 【グローバルスタディーズコース】 選択必修8単位以上 4 専門科目（計54単位又は50単位以上） 【国際観光・地域創生コース】54単位以上 (1) 観光・地域創生系科目群、政治経済系科目群、言語文化系科目群 <table border="1"> <tr> <th>区分</th><th>必修科目</th><th>選択科目</th></tr> <tr> <td>観光・地域創生系科目群</td><td>—</td><td>30単位以上 コース必修 12単位^{※1} 選択 18単位^{※2}</td></tr> <tr> <td>政治経済系科目群</td><td>—</td><td>4単位以上</td></tr> <tr> <td>言語文化系科目群</td><td></td><td></td></tr> </table> ※1 「観光社会学」、「サステイナブルツーリズム論」、「観光産業概論」、「世界遺産を学ぶ」、「地域再生マネジメント論」、「課題研究A」 ※2 下記演習科目のうち2科目4単位選択必修を含む 「観光学演習A」、「観光学演習B」、「観光学演習C」、「地域再生演習」、「多文化共生社会演習」 (2) 学部共通科目 必修8単位 選択必修4単位以上 (3) 専門科目のうち(1)(2)で履修した科目を除いた科目 選択8単位以上 【グローバルスタディーズコース】50単位以上 (1) 観光・地域創生系科目群、政治経済系科目群、言語文化系科目群 <table border="1"> <tr> <th>区分</th><th>必修科目</th><th>選択科目</th></tr> <tr> <td>観光・地域創生系科目群</td><td>—</td><td>4単位以上</td></tr> <tr> <td>政治経済系科目群</td><td>—</td><td>30単位以上</td></tr> <tr> <td>言語文化系科目群</td><td></td><td>コース必修 8単位^{※1} 選択 22単位^{※2}</td></tr> </table> ※1 「国際政治論」、「国際貿易論」、「英語圏言語文化論」、「中国言語文化論」 ※2 下記演習科目のうち3科目6単位選択必修を含む 「国際政治論演習A」、「国際政治論演習B」、「国際経済論演習C」、「国際社会論演習」、「課題研究B」、「異文化コミュニケーション演習」、「言語学演習」、「社会言語学演習」、「日本語学演習」、「英語学演習」、「中国語学演習」、「日本文化論演習」 (2) 学部共通科目 必修8単位 選択必修4単位以上 (3) 専門科目のうち(1)(2)で履修した科目を除いた科目 選択4単位以上 以上、各コースにおける卒業要件単位数は、以下のとおり 【国際観光・地域創生コース】 共通教育科目 37単位以上、専門基礎科目 12単位以上 外国語科目 24単位以上、専門科目 54単位以上、合計127単位以上 【グローバルスタディーズコース】 共通教育科目 37単位以上、専門基礎科目 12単位以上 外国語科目 28単位以上、専門科目 50単位以上、合計127単位以上 5 履修科目の登録の上限 46単位（年間）			区分	必修科目	選択科目	観光・地域創生系科目群	—	30単位以上 コース必修 12単位 ^{※1} 選択 18単位 ^{※2}	政治経済系科目群	—	4単位以上	言語文化系科目群			区分	必修科目	選択科目	観光・地域創生系科目群	—	4単位以上	政治経済系科目群	—	30単位以上	言語文化系科目群		コース必修 8単位 ^{※1} 選択 22単位 ^{※2}
区分	必修科目	選択科目																								
観光・地域創生系科目群	—	30単位以上 コース必修 12単位 ^{※1} 選択 18単位 ^{※2}																								
政治経済系科目群	—	4単位以上																								
言語文化系科目群																										
区分	必修科目	選択科目																								
観光・地域創生系科目群	—	4単位以上																								
政治経済系科目群	—	30単位以上																								
言語文化系科目群		コース必修 8単位 ^{※1} 選択 22単位 ^{※2}																								

【平成30年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
共通 教育 科目	導 入 科 目	キャリアデザイン・ チーム論Ⅲ	1前	1			2	1						
		アカデミック・スキルズ	1前	1										
		テーマ別基礎ゼミ	1後	2			8	8		1			11	
		情報処理基礎	1前	2										
		南加賀の歴史と文化	1後	2			1						6	
		小計(5科目)	—	8	0	0	8	8	0	1	0		16	
	一 般 科 目 (人 間 力)	哲学	1前		2								1	
		心理学	1前		2			1			1			
		人間の発達と心	1前		2			1						
		日本の伝統芸能	1前		2		1							
		人文地理学	1後		2								1	
		文化人類学	1後		2		1							
		医療と文化	1後		2								1	
		文章表現法	1後		2		1							
		言葉と文化	1後		2		2							
		小計(9科目)	—	0	18	0	4	1	0	0	0		3	
	一 般 科 目 (社 会 力)	日本産業史	1前		2								4	
		自然資源と 環境問題	1前		2		1							
		経済学	1前		2		1	1						
		政治学	1後		2			2						
		社会学	1後		2								1	
		公共政策論	1後		2								1	
		社会福祉論	1後		2								1	
		日本国憲法	1後		2								1	
		小計(8科目)	—	0	16	0	2	3	0	0	0		8	
		一 般 科 目 (科 学 力)	データ化学と社会	1後		2								3
			情報処理応用A	1後		2								2
			情報処理応用B	1後		2								1
			クリティカルシンキング	1後		2								1
			統計学	1後		2								2
	教養としての物理		1前		2								2	
	教養としての数学		1前		2								2	
	現代科学技術論		1前		2								5	
	小計(8科目)		—	0	16	0	0	0	0	0	0		14	
	一 般 科 目 (健 康 と 体 力)	健康と体の科学	1前		2								2	
		スポーツ演習 (バレーボール)	1前・ 1後		1								1	
		スポーツ演習 (硬式テニス)	1前		1								1	
		スポーツ演習 (フットサル)	1前・ 1後		1								1	
		スポーツ演習(卓球)	1後		1								1	
		スポーツ演習 (バドミントン)	1前・ 1後		1								1	
		小計(6科目)	—	0	7	0	0	0	0	0	0		3	
	英 語 科 目	英語Ⅰa	1前	2				2		1			2	
		英語Ⅰb	1前	2			1						2	
		英語Ⅱa	1後	2			1	1		1				
		英語Ⅱb	1後	2			1	1					2	
		英語Ⅲ	1後	2									1	
		実用英語Ⅰ	1前・ 1後			2							1	
		実用英語Ⅱ	1前・ 1後			2							1	
		実用英語Ⅲ	1前・ 1後			2							1	
		実用英語Ⅳ	1前・ 1後			2							1	
		小計(9科目)	—	10	0	8	2	2	0	1	0		6	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通教育科目	中国語Ⅰ	1前		2		1					
	中国語Ⅱ	1後		2		1					
	フランス語Ⅰ	1前		2							1
	フランス語Ⅱ	1後		2							1
	ドイツ語Ⅰ	1前		2							1
	ドイツ語Ⅱ	1後		2							1
	ロシア語Ⅰ	1前		2			1				
	ロシア語Ⅱ	1後		2			1				
	スペイン語Ⅰ	1前		2		1					
	スペイン語Ⅱ	1後		2		1					
	小計(10科目)	—	0	20	0	2	1	0	0	0	2
専門基礎科目	国際交流論	1前	2			1	3				
	観光学概論	2前		2		1	1				
	地域政策概論	2前		2		2					
	グローバルヒストリー	2前		2			1				1
	アジア社会論	2前		2			3				
	日本文化論	2前		2		1					
	言語学概論	2前		2		3					
	異文化 コミュニケーション論	2前	2				2				
	小計(8科目)	—	4	12	0	7	8	0	0	0	1
外国語科目	English comprehensionⅠ	2前	2			1					1
	English expressionⅠ	2前	2						1		1
	Tourism EnglishⅠ	2後		2			1				
	English comprehensionⅡa	2前		2			1				
	English comprehensionⅡb	2後		2			1				
	English expressionⅡa	2後		2							1
	English expressionⅡb	2後		2							1
	中国語Ⅰa	1前	2			1					
	中国語Ⅰb	1前	2			1					
	中国語Ⅱa	1後	2			1					
	中国語Ⅱb	1後	2			1					
	中国語Ⅲa	2前		2		1					
	中国語Ⅲb	2前		2		1					
	中国語Ⅳa	2後		2		1					
	中国語Ⅳb	2後		2		1					
	小計(15科目)	—	12	18	0	4	3	0	1	0	2
	Tourism EnglishⅡ			2							1
	English comprehensionⅢ	3・4 前		2		1					
	English expressionⅢ	3・4 前		2					1		
	English presentationⅠ	3・4 後		2							1
	English presentationⅡ	3・4 後		2		1					
	中国語理解Ⅰ	3・4 前		2		1					
	中国語理解Ⅱ	3・4 後		2		1					
	中国語表現法	3・4 前		2		1					
	中国語会話	3・4 前		2		1					
	ビジネス中国語	3・4 後		2		1					
	小計(10科目)	—	0	20	0	3	0	0	1	0	2
専門科目	サステナブルツーリズム論	2後		2		2	1				
	観光産業概論	2後		2		1					
	世界遺産を学ぶ	2後		2		1					
	地域再生マネジメント論	2後		2		1					
	観光社会学	2後		2							1
	観光資源論	3・4 前		2		1					
	マーケティング調査論	3・4 前		2							1
	インバウンド観光論	3・4 前		2							1
	ホスピタリティマネジメント	3・4 前		2			1				1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
観光・ 地域 創生 系 科 目 群	観光人材育成論	3・4 後		2			1				
	ハリアフリーツリズム論	3・4 後		2			1				
	グリーンツリズム論	3・4 後		2		1					
	観光人類学	3・4 後		2		1					
	観光地理学	3・4 後		2		1					
	多文化共生 社会論	3・4 後		2		1	1				
	地域ブランディング論	3・4 前		2		1					
	地域産業論	3・4 後		2		1					
	フードシステム論	3・4 前		2		1					
	農村地域振興論	3・4 後		2		1					
	財政学	3・4 前		2		1					
	社会調査法	3・4 後		2			1				
	地理情報学概説	3・4 前		2							1
	観光学演習A	3前		2		1					
	観光学演習B	3前		2			1				
	観光学演習C	3前		2		1					
	地域創生演習	3前		2		1					
	多文化共生社会 演習	3前		2			1				
	課題研究A	3後		2		3	1				
	小計(28科目)	—	0	56	0	4	2	0	0	0	5
専門 科目	国際政治論	2後		2			2				
	国際貿易論	2後		2			1				
	中国語圏社会 文化論	2後		2			1				
	アジア現代史概論	2後		2							1
	東南アジア地域 社会論	3・4 前		2							
	NGO論	3・4 後		2			1				
	国際協力論	3・4 前		2			1				
	イスラーム社会論	3・4 前		2			1				
	中東政治論	3・4 後		2			1				
	資源エネルギー・ 環境論	3・4 前		2			1				
	新興国経済論	3・4 後		2			1				
	グローバル論	3・4 前		2			1				
	サブカルチャー論	3・4 後		2			1				
	メディア情報論	3・4 前		2			1				
	現代メディア史	3・4 後		2			1				
	国際政治論演習A	3前		2			1				
	国際政治論演習B	3前		2			1				
	国際経済論演習	3前		2			1				
	国際社会論演習	3前		2			1				
	課題研究B	3後		2			4				
	小計(20科目)	—	0	40	0	0	4	0	0	0	1
言語文 科系 科 目 群	英語圏言語文化論	2後		2		1					
	中国言語文化論	2後		2		1					
	英語圏文芸論	2後		2			1				
	英語研究A	3・4 前		2		1					
	英語研究B	3・4 後		2		1					
	中国語研究A	3・4 後		2		1					
	中国語研究B	3・4 前		2		1					
	社会言語学	3・4 前		2		1					
	日本語の歴史	3・4 前		2		1					
	語用論	3・4 前		2					1		
	日英対照言語 表現論	3・4 後		2					1		
	比較文学論	3・4 後		2		1					3

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 科目	言語文 科系 科目 群	日本古典読解	3・4 前		2		1					
		相互理解の 心理学	3・4 後		2			1				
		言語学演習	3後		2		1					
		社会言語学演習	3前		2		1					
		日本語学演習	3前		2		1					
		英語学演習	3前		2					1		
		中国語学演習	3後		2		1					
		日本文化論演習	3後		2		1					
		小計(20科目)	—	0	40	0	5	2	0	1	0	3
	学部共 通科目	卒業論文	4通	8			8	7		1		
		インターンシップⅠ	3前		2		3	2				
		インターンシップⅡ	3前・ 3後		2		3	2				
		異文化体験実習	2・3 前 2・3 後		4		3	2		1		
		海外語学研修	2・3 前 2・3 後		4		4	1		1		
		地域実習	3・4 通		2		5	2				
小計(6科目)		—	8	14	0	9	8	0	1	0	0	
合計(162科目)		—	42	277	8	9	8	0	1	0	52	

卒業要件及び履修方法																										
1 共通教育科目（計37単位以上） （1）導入科目 必修8単位 （2）一般科目 人間力6単位以上、社会力6単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上 （3）英語科目 必修10単位 （4）（1）～（3）で履修した科目以外から2単位以上																										
2 専門基礎科目（計12単位以上） （1）専門基礎科目 必修4単位 選択8単位以上																										
3 外国語科目（計24単位又は28単位以上） （1）基礎外国語科目 必修12単位 選択8単位以上 （2）専門外国語科目 【国際観光・地域創生コース】 選択必修4単位以上 【グローバルスタディーズコース】 選択必修8単位以上																										
4 専門科目（計54単位又は50単位以上） 【国際観光・地域創生コース】54単位以上 （1）観光・地域創生系科目群、政治経済系科目群、言語文化系科目群 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>必修科目</th><th>選択科目</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光・地域創生系科目群</td><td>—</td><td>30単位以上 コース必修 12単位^{※1} 選択 18単位^{※2}</td></tr> <tr> <td>政治経済系科目群</td><td>—</td><td>4単位以上</td></tr> <tr> <td>言語文化系科目群</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> ※1 「観光社会学」、「サステナブルツーリズム論」、「観光産業概論」、「世界遺産を学ぶ」、「地域再生マネジメント論」、「課題研究A」 ※2 下記演習科目のうち2科目4単位選択必修を含む 「観光学演習A」、「観光学演習B」、「観光学演習C」、「地域再生演習」、「多文化共生社会演習」 （2）学部共通科目 必修8単位 選択必修4単位以上 （3）専門科目のうち（1）（2）で履修した科目を除いた科目 選択8単位以上 【グローバルスタディーズコース】50単位以上 （1）観光・地域創生系科目群、政治経済系科目群、言語文化系科目群 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>必修科目</th><th>選択科目</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光・地域創生系科目群</td><td>—</td><td>4単位以上</td></tr> <tr> <td>政治経済系科目群</td><td>—</td><td>30単位以上</td></tr> <tr> <td>言語文化系科目群</td><td></td><td>コース必修 8単位^{※1} 選択 22単位^{※2}</td></tr> </tbody> </table> ※1 「国際政治論」、「国際貿易論」、「英語圏言語文化論」、「中国言語文化論」 ※2 下記演習科目のうち3科目6単位選択必修を含む 「国際政治論演習A」、「国際政治論演習B」、「国際経済論演習C」、「国際社会論演習」、「課題研究B」、「異文化コミュニケーション演習」、「言語学演習」、「社会言語学演習」、「日本語学演習」、「英語学演習」、「中国語学演習」、「日本文化論演習」 （2）学部共通科目 必修8単位 選択必修4単位以上 （3）専門科目のうち（1）（2）で履修した科目を除いた科目 選択4単位以上			区分	必修科目	選択科目	観光・地域創生系科目群	—	30単位以上 コース必修 12単位 ^{※1} 選択 18単位 ^{※2}	政治経済系科目群	—	4単位以上	言語文化系科目群			区分	必修科目	選択科目	観光・地域創生系科目群	—	4単位以上	政治経済系科目群	—	30単位以上	言語文化系科目群		コース必修 8単位 ^{※1} 選択 22単位 ^{※2}
区分	必修科目	選択科目																								
観光・地域創生系科目群	—	30単位以上 コース必修 12単位 ^{※1} 選択 18単位 ^{※2}																								
政治経済系科目群	—	4単位以上																								
言語文化系科目群																										
区分	必修科目	選択科目																								
観光・地域創生系科目群	—	4単位以上																								
政治経済系科目群	—	30単位以上																								
言語文化系科目群		コース必修 8単位 ^{※1} 選択 22単位 ^{※2}																								
以上、各コースにおける卒業要件単位数は、以下のとおり 【国際観光・地域創生コース】 共通教育科目 37単位以上、専門基礎科目 12単位以上 外国語科目 24単位以上、専門科目 54単位以上、合計127単位以上 【グローバルスタディーズコース】 共通教育科目 37単位以上、専門基礎科目 12単位以上 外国語科目 28単位以上、専門科目 50単位以上、合計127単位以上																										
5 履修科目の登録の上限 46単位（年間）																										

- （注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために**未開講となった科目**についても**科目名の後ろに「（未開講）」**として記入してください。
 - ・ **1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。**
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。
- （**2つの表が1ページに表示されるようにしてください。**）

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・教育内容の向上を図るため、「医療と文化」の担当教員を「兼任教員」から「専任教員」に変更（AC教員審査に提出し審査中。審査により認められれば、授業科目表記載のとおり実施する）。
- ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「日本国憲法」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「データ科学と社会」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
（30年度において、翌年度より専任教員となる新田雅道教授が兼任教員として授業を担当）
- ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「統計学」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・兼任教員に係る時間割調整に伴う共通教育科目（一般科目（科学力））における学生の授業履修の調整を行うため、「教養としての数学」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。

【令和元年度】

特になし

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
19 科目	139 科目	4 科目	162 科目	19 科目 [0]	139 科目 [0]	4 科目 [0]	162 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

特になし。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{162} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備考		
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	末広キャンパス 借用面積：3,676 m ² 借用期間：25年			
	校 舎 敷 地	18,962.05 m ²	0 m ²	0 m ²	18,962.05 m ²				
	運動場用地	14,271.00 m ²	0 m ²	0 m ²	14,271.00 m ²				
	小 計	33,233.05 m ²	0 m ²	0 m ²	33,233.05 m ²				
	そ の 他	8,251.28 m ²	0 m ²	0 m ²	8,251.28 m ²				
	合 計	41,484.33 m ²	0 m ²	0 m ²	41,484.33 m ²				
(2) 校 舎		専 用 16,305.47 m ² (4,555.95 m ²)	共 用 0 m ² (3,644.67 m ²)	共用する他の 学校等の専用 0 m ² (4,926.47 m ²)	計 16,305.47 m ² (13,127.09m ²)	末広キャンパス 借用面積：930 m ² 借用期間：25年 中央キャンパス 借用面積：4,030 m ² 借用期間：25年			
(3) 教 室 等		講 義 室 23 室	演 習 室 12 室	実験実習室 18 室	情報処理学習施設 0 室 (補助職員 0人)	語学学習施設 0 室 (補助職員 0人)	大学全体		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 国際文化交流学部 国際文化交流学科			室 数 17 室				
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
		国際文化交流 学部 国際文化交流 学科	12,000 [513] (16,944 [1245])	54 [20] (840 [812])	20 [20] (804 [804])	345 (233)	0 (0)	0 (0)	
		計	12,000 [513] (16,944 [1245])	54 [20] (840 [812])	20 [20] (804 [804])	345 (233)	0 (0)	0 (0)	
(6) 図 書 館		面 積 909.83 m ²		閱 覧 座 席 数 118 席		収 納 可 能 冊 数 80,000 冊		大学全体	
(7) 体 育 館		面 積 960.00 m ²		体育館以外のスポーツ施設の概要 —				大学全体	
(8)経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の 見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共通教育用の図書につ いては、国際文化交流 学部の図書として算定 を行っている (30) 設備の位置をについて リースにて対応するこ ととしたため (30) 設備購入費は大学全体
		教員 1 人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	6,668千円 15,955千円	6,668千円	3,753千円	
		共 同 研 究 費 等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	130,000千円 111,156千円	98,000千円	3,000千円	
	学生 1 人当 り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		市内学生918千 円	636千円	636千円	636千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			大学運営費交付金、資産運用収入、雑収入 等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	公 立 小 松 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
生産システム科学部	4	80	-	320	-	-	-	平成30	-	
生産システム科学科	4	80	-	320	学士 (工学)	1.01	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市四丁町ヌ1-3	
保健医療学部	4	80	-	320	-	-	-	平成30	-	
看護学科	4	50	-	200	学士 (看護学)	1.03	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市向本折町へ14-1	
臨床工学科	4	30	-	120	学士 (臨床工学)	1.06	-	平成30	同上	
国際文化交流学部	4	80	-	320	-	-	-	平成30	-	
国際文化交流学科	4	80	-	320	学士 (国際文化学)	1.03	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10	
大学全体	4	240	-	960	-	1.03	-	平成30	-	
大 学 の 名 称	小 松 短 期 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
該当なし	-	-	-	-	-	-	-	昭和63	石川県小松市四丁町ヌ1-3	平成30年4月学生募集停止 平成31年4月地域創造学科の廃止を届出 現在専攻科のみ

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を
・通信教育課程の開設の場合:「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

5 教員組織の状況

<国際文化交流学部 国際文化交流学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	岩田 礼 (65) <平成30年4月> 文学修士	キャリアデザイン・チーム論Ⅲ テーマ別基礎ゼミ 言葉と文化 ※ 国際交流論 ※ 言語学概論 ※ 中国言語文化論 中国語研究Ⅱ 中国語学演習 中国語Ⅰb 中国語理解Ⅰ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 異文化体験実習 海外語学研修 地域実習 卒業論文
専	教授	宮崎 猛 (67) <平成30年4月> 農学博士	テーマ別基礎ゼミ 自然資源と環境問題 地域政策概論 ※ サステナブルツーリズム論 ※ 観光産業概論 グリーンツーリズム論 地域ブランディング論 【隔年】 地域産業論 【隔年】 観光学演習Ⅲ 課題研究Ⅲ 地域実習 卒業論文
専	教授	VANCE, Timothy John (66) <平成30年4月> Ph. D., linguistics (米国)	テーマ別基礎ゼミ 言葉と文化 ※ 英語Ⅰb 英語Ⅱb 言語学概論 ※ 日本語の歴史 日本語学演習 卒業論文

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	岩田 礼 (65) <平成30年4月> 文学修士	キャリアデザイン・チーム論Ⅲ テーマ別基礎ゼミ 言葉と文化 ※ 国際交流論 ※ 言語学概論 ※ 中国言語文化論 中国語研究Ⅱ 中国語学演習 中国語Ⅰb 中国語理解Ⅰ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 異文化体験実習 海外語学研修 地域実習 卒業論文
専	教授	横川 善正 (69) <平成30年7月> 文学修士	医療と文化
専	教授	宮崎 猛 (67) <平成30年4月> 農学博士	テーマ別基礎ゼミ 自然資源と環境問題 地域政策概論 ※ サステナブルツーリズム論 ※ 観光産業概論 グリーンツーリズム論 地域ブランディング論 【隔年】 地域産業論 【隔年】 観光学演習Ⅲ 課題研究Ⅲ 地域実習 卒業論文
専	教授	VANCE, Timothy John (66) <平成30年4月> Ph. D., linguistics (米国)	テーマ別基礎ゼミ 言葉と文化 ※ 英語Ⅰb 英語Ⅱb 言語学概論 ※ 日本語の歴史 日本語学演習 卒業論文

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	岩田 礼 (66) <平成30年4月> 文学修士	キャリアデザイン・チーム論Ⅲ テーマ別基礎ゼミ 言葉と文化 ※ 国際交流論 ※ 言語学概論 ※ 中国言語文化論 中国語研究Ⅱ 中国語学演習 中国語Ⅰb 中国語理解Ⅰ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 異文化体験実習 海外語学研修 地域実習 卒業論文
専	教授	横川 善正 (70) <平成30年7月> 文学修士	医療と文化 英語Ⅰa English comprehensionⅠ Tourism EnglishⅡ
専	教授	宮崎 猛 (68) <平成30年4月> 農学博士	テーマ別基礎ゼミ 自然資源と環境問題 地域政策概論 ※ サステナブルツーリズム論 ※ 観光産業概論 グリーンツーリズム論 地域ブランディング論 【隔年】 地域産業論 【隔年】 観光学演習Ⅲ 課題研究Ⅲ 地域実習 卒業論文
専	教授	VANCE, Timothy John (67) <平成30年4月> Ph. D., linguistics (米国)	テーマ別基礎ゼミ 言葉と文化 ※ 英語Ⅰb 英語Ⅱb 言語学概論 ※ 日本語の歴史 日本語学演習 卒業論文

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	盛田 清秀 (65) ＜平成30年4月＞ 博士（農学）
		キャリアデザイン・チーム論Ⅲ テーマ別基礎ゼミ 経済学 ※ 地域政策概論 ※ 地域再生マネジメント論 フードシステム論 農村地域振興論 【隔年】 財政学 【隔年】 地域創生演習 課題研究A インターンシップⅠ インターンシップⅡ 地域実習 卒業論文
専	教授	西村 聡 (65) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		テーマ別基礎ゼミ 南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法 日本文化論 比較文学論 ※ 日本古典読解 日本文化論演習 地域実習 卒業論文
兼任	講師	西村 聡 (63) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
専	教授	SANDERS, Robert Martin (62) ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy in Linguistics(米国)
		テーマ別基礎ゼミ 中国語研究A 社会言語学 社会言語学演習 中国語Ⅰa 中国語Ⅱa 中国語Ⅲa 中国語Ⅳa 異文化体験実習 海外語学研修 卒業論文

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	盛田 清秀 (65) ＜平成30年4月＞ 博士（農学）
		キャリアデザイン・チーム論Ⅲ テーマ別基礎ゼミ 経済学 ※ 地域政策概論 ※ 地域再生マネジメント論 フードシステム論 農村地域振興論 【隔年】 財政学 【隔年】 地域創生演習 課題研究A インターンシップⅠ インターンシップⅡ 地域実習 卒業論文
専	教授	西村 聡 (63) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		テーマ別基礎ゼミ 南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法 日本文化論 比較文学論 ※ 日本古典読解 日本文化論演習 地域実習 卒業論文
兼任	講師	西村 聡 (63) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
専	教授	SANDERS, Robert Martin (62) ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy in Linguistics(米国)
		テーマ別基礎ゼミ 中国語研究A 社会言語学 社会言語学演習 中国語Ⅰa 中国語Ⅱa 中国語Ⅲa 中国語Ⅳa 異文化体験実習 海外語学研修 卒業論文

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	盛田 清秀 (66) ＜平成30年4月＞ 博士（農学）
		キャリアデザイン・チーム論Ⅲ テーマ別基礎ゼミ 経済学 ※ 地域政策概論 ※ 地域再生マネジメント論 フードシステム論 農村地域振興論 【隔年】 財政学 【隔年】 地域創生演習 課題研究A インターンシップⅠ インターンシップⅡ 地域実習 卒業論文
専	教授	西村 聡 (64) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		テーマ別基礎ゼミ 南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法 日本文化論 比較文学論 ※ 日本古典読解 日本文化論演習 地域実習 卒業論文
兼任	講師	西村 聡 (64) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
専	教授	SANDERS, Robert Martin (63) ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy in Linguistics(米国)
		テーマ別基礎ゼミ 中国語研究A 社会言語学 社会言語学演習 中国語Ⅰa 中国語Ⅱa 中国語Ⅲa 中国語Ⅳa 異文化体験実習 海外語学研修 卒業論文

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	岡村 徹 (56) ＜平成30年4月＞ 博士(比較社会文化)
		テーマ別基礎ゼミ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb 言語学概論 ※ 多文化共生社会論 ※ 英語圏言語文化論 英語研究A 【隔年】 英語研究B 【隔年】 言語学演習 English comprehensionⅠ English comprehensionⅢ English presentationⅡ 海外語学研修 卒業論文
専	教授	杓谷 茂樹 (55) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		テーマ別基礎ゼミ 文化人類学 スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ 観光学概論 ※ サステナブルツーリズム論 ※ 世界遺産を学ぶ 観光資源論 観光人類学 【隔年】 観光地理学 【隔年】 観光学演習A 課題研究A インターンシップⅠ インターンシップⅡ 地域実習 卒業論文
専	教授	刘 迺华 (55) ＜平成30年4月＞ 文学硕士 (中国)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅱb 中国語Ⅲb 中国語Ⅳb 中国語理解Ⅱ 中国語表現法 中国語会話 ビジネス中国語 異文化体験実習 海外語学研修

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	岡村 徹 (56) ＜平成30年4月＞ 博士(比較社会文化)
		テーマ別基礎ゼミ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb 言語学概論 ※ 多文化共生社会論 ※ 英語圏言語文化論 英語研究A 【隔年】 英語研究B 【隔年】 言語学演習 English comprehensionⅠ English comprehensionⅢ English presentationⅡ 海外語学研修 卒業論文
専	教授	杓谷 茂樹 (55) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		テーマ別基礎ゼミ 文化人類学 スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ 観光学概論 ※ サステナブルツーリズム論 ※ 世界遺産を学ぶ 観光資源論 観光人類学 【隔年】 観光地理学 【隔年】 観光学演習A 課題研究A インターンシップⅠ インターンシップⅡ 地域実習 卒業論文
専	教授	刘 迺华 (55) ＜平成30年4月＞ 文学硕士 (中国)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅱb 中国語Ⅲb 中国語Ⅳb 中国語理解Ⅱ 中国語表現法 中国語会話 ビジネス中国語 異文化体験実習 海外語学研修

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	岡村 徹 (57) ＜平成30年4月＞ 博士(比較社会文化)
		テーマ別基礎ゼミ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb 言語学概論 ※ 多文化共生社会論 ※ 英語圏言語文化論 英語研究A 【隔年】 英語研究B 【隔年】 言語学演習 English comprehensionⅠ English comprehensionⅢ English presentationⅡ 海外語学研修 卒業論文
専	教授	杓谷 茂樹 (56) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		テーマ別基礎ゼミ 文化人類学 スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ 観光学概論 ※ サステナブルツーリズム 論 ※ 世界遺産を学ぶ 観光資源論 観光人類学 【隔年】 観光地理学 【隔年】 観光学演習A 課題研究A インターンシップⅠ インターンシップⅡ 地域実習 卒業論文
専	教授	刘 迺华 (56) ＜平成30年4月＞ 文学硕士 (中国)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅱb 中国語Ⅲb 中国語Ⅳb 中国語理解Ⅱ 中国語表現法 中国語会話 ビジネス中国語 異文化体験実習 海外語学研修

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (63) ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy (印国)
		テーマ別基礎ゼミ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb 国際交流論 ※ 異文化コミュニケーション論 ※ Tourism EnglishⅠ 多文化共生社会論 ※ 多文化共生社会演習 異文化体験実習 海外語学研修 卒業論文
専	准教授	酒井 亨 (52) ＜平成30年4月＞ 法學碩士 (台灣)
		キャリアデザイン・チーム論Ⅲ テーマ別基礎ゼミ アジア社会論 ※ 中国語圏社会文化論 グローバル論 サブカルチャー論 メディア情報論 国際社会論演習 課題研究B インターンシップⅠ インターンシップⅡ 地域実習 卒業論文
専	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (50) ＜平成30年4月＞ 博士（創造都市）
		テーマ別基礎ゼミ 観光学概論 ※ サスティナブルツーリズム論 ※ ホスピタリティマネジメント ※ 観光人材育成論 【隔年】 バリアフリーツーリズム論 【隔年】 社会調査法 観光学演習B 課題研究A インターンシップⅠ インターンシップⅡ 地域実習 卒業論文
専	准教授	小原 文衛 (49) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		テーマ別基礎ゼミ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 国際交流論 ※ 異文化コミュニケーション論 ※ English comprehensionⅡa 英語圏文芸論 卒業論文

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (63) ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy (印国)
		テーマ別基礎ゼミ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb 国際交流論 ※ 異文化コミュニケーション論 ※ Tourism EnglishⅠ 多文化共生社会論 ※ 多文化共生社会演習 異文化体験実習 海外語学研修 卒業論文
専	准教授	酒井 亨 (52) ＜平成30年4月＞ 法學碩士 (台灣)
		キャリアデザイン・チーム論Ⅲ テーマ別基礎ゼミ アジア社会論 ※ 中国語圏社会文化論 グローバル論 サブカルチャー論 メディア情報論 国際社会論演習 課題研究B インターンシップⅠ インターンシップⅡ 地域実習 卒業論文
専	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (50) ＜平成30年4月＞ 博士（創造都市）
		テーマ別基礎ゼミ 観光学概論 ※ サスティナブルツーリズム論 ※ ホスピタリティマネジメント ※ 観光人材育成論 【隔年】 バリアフリーツーリズム論 【隔年】 社会調査法 観光学演習B 課題研究A インターンシップⅠ インターンシップⅡ 地域実習 卒業論文
専	准教授	小原 文衛 (49) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		テーマ別基礎ゼミ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 国際交流論 ※ 異文化コミュニケーション論 ※ English comprehensionⅡa 英語圏文芸論 卒業論文

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (64) ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy (印国)
		テーマ別基礎ゼミ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb 国際交流論 ※ 異文化コミュニケーション論 ※ Tourism EnglishⅠ 多文化共生社会論 ※ 多文化共生社会演習 異文化体験実習 海外語学研修 卒業論文
専	准教授	酒井 亨 (53) ＜平成30年4月＞ 法學碩士 (台灣)
		キャリアデザイン・チーム論Ⅲ テーマ別基礎ゼミ アジア社会論 ※ 中国語圏社会文化論 グローバル論 サブカルチャー論 メディア情報論 国際社会論演習 課題研究B インターンシップⅠ インターンシップⅡ 地域実習 卒業論文
専	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (51) ＜平成30年4月＞ 博士（創造都市）
		テーマ別基礎ゼミ 観光学概論 ※ サスティナブルツーリズム論 ※ ホスピタリティマネジメント ※ 観光人材育成論 【隔年】 バリアフリーツーリズム論 【隔年】 社会調査法 観光学演習B 課題研究A インターンシップⅠ インターンシップⅡ 地域実習 卒業論文
専	准教授	小原 文衛 (50) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		テーマ別基礎ゼミ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 国際交流論 ※ 異文化コミュニケーション論 ※ English comprehensionⅡa 英語圏文芸論 卒業論文

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	一ノ渡 忠之 (43) ＜平成30年4月＞ 博士（商学）
		テーマ別基礎ゼミ 経済学 ※ ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ グローバルヒストリー ※ 国際貿易論 資源エネルギー・環境論 新興国経済論 国際経済論演習 課題研究B English comprehensionⅡb 卒業論文
専	准教授	木村 誠 (38) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）
		テーマ別基礎ゼミ 心理学 人間の発達と心 国際交流論 ※ 相互理解の心理学 異文化体験実習
兼任	講師	木村 誠 (37) ＜平成30年4月＞ 博士（学術）
		テーマ別基礎ゼミ 心理学 人間の発達と心
専	准教授	木場 紗綾 (37) ＜平成30年4月＞ 博士（政治学）
		テーマ別基礎ゼミ 政治学 ※ アジア社会論 ※ 国際政治論 ※ 東南アジア地域社会論 NGO論 国際協力論 国際政治論演習A 課題研究B 卒業論文
専	准教授	千葉 悠志 (32) ＜平成30年4月＞ 博士（地域研究）
		テーマ別基礎ゼミ 政治学 ※ アジア社会論 ※ 国際政治論 ※ イスラーム社会論 中東政治論 現代メディア史 国際政治論演習B 課題研究B 卒業論文

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	一ノ渡 忠之 (43) ＜平成30年4月＞ 博士（商学）
		テーマ別基礎ゼミ 経済学 ※ ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ グローバルヒストリー ※ 国際貿易論 資源エネルギー・環境論 新興国経済論 国際経済論演習 課題研究B English comprehensionⅡb 卒業論文
専	准教授	木村 誠 (38) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）
		テーマ別基礎ゼミ 心理学 人間の発達と心 国際交流論 ※ 相互理解の心理学 異文化体験実習
兼任	講師	木村 誠 (38) ＜平成30年4月＞ 博士（学術）
		テーマ別基礎ゼミ 心理学 人間の発達と心
専	准教授	木場 紗綾 (37) ＜平成30年4月＞ 博士（政治学）
		テーマ別基礎ゼミ 政治学 ※ アジア社会論 ※ 国際政治論 ※ 東南アジア地域社会論 NGO論 国際協力論 国際政治論演習A 課題研究B 卒業論文
専	准教授	千葉 悠志 (32) ＜平成30年4月＞ 博士（地域研究）
		テーマ別基礎ゼミ 政治学 ※ アジア社会論 ※ 国際政治論 ※ イスラーム社会論 中東政治論 現代メディア史 国際政治論演習B 課題研究B 卒業論文

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	一ノ渡 忠之 (44) ＜平成30年4月＞ 博士（商学）
		テーマ別基礎ゼミ 経済学 ※ ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ グローバルヒストリー ※ 国際貿易論 資源エネルギー・環境論 新興国経済論 国際経済論演習 課題研究B English comprehensionⅡb 卒業論文
専	准教授	木村 誠 (39) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）
		テーマ別基礎ゼミ 心理学 人間の発達と心 国際交流論 ※ 相互理解の心理学 異文化体験実習
兼任	講師	木村 誠 (39) ＜平成30年4月＞ 博士（学術）
		テーマ別基礎ゼミ 心理学 人間の発達と心
専	准教授	木場 紗綾 (38) ＜平成30年4月＞ 博士（政治学）
		テーマ別基礎ゼミ 政治学 ※ アジア社会論 ※ 国際政治論 ※ 東南アジア地域社会論 NGO論 国際協力論 国際政治論演習A 課題研究B 卒業論文
専	准教授	千葉 悠志 (33) ＜平成30年4月＞ 博士（地域研究）
		テーマ別基礎ゼミ 政治学 ※ アジア社会論 ※ 国際政治論 ※ イスラーム社会論 中東政治論 現代メディア史 国際政治論演習B 課題研究B 卒業論文

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	長辻 幸 (34) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		テーマ別基礎ゼミ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 語用論 日英対照言語表現論 英語学演習 English expressionⅠ English expressionⅢ 異文化体験実習 海外語学研修 卒業論文
兼任	教授	木村 繁男 (67) ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)
		現代科学技術論 ※
兼任	教授	山田 外史 (68) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		日本産業史 ※
兼任	教授	山田 良穂 (66) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※
兼任	教授	安達 正明 (66) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 教養としての物理 現代科学技術論 ※
兼任	教授	木村 春彦 (66) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼任	教授	川端 信義 (65) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		現代科学技術論 ※
兼任	教授	田村 博志 (65) ＜平成31年4月＞ 理学博士
		教養としての数学 統計学 現代科学技術論 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	長辻 幸 (35) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		テーマ別基礎ゼミ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 語用論 日英対照言語表現論 英語学演習 English expressionⅠ English expressionⅢ 異文化体験実習 海外語学研修 卒業論文
兼任	教授	木村 繁男 (67) ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)
		現代科学技術論 ※
兼任	教授	山田 外史 (68) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		日本産業史 ※
兼任	教授	山田 良穂 (67) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※
兼任	教授	安達 正明 (66) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 教養としての物理 現代科学技術論 ※
兼任	教授	木村 春彦 (66) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼任	教授	川端 信義 (65) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		現代科学技術論 ※
兼任	教授	田村 博志 (64) ＜平成31年4月＞ 理学博士
		教養としての数学 統計学 現代科学技術論 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	長辻 幸 (36) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		テーマ別基礎ゼミ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 語用論 日英対照言語表現論 英語学演習 English expressionⅠ English expressionⅢ 異文化体験実習 海外語学研修 卒業論文
兼任	教授	木村 繁男 (68) ＜平成30年4月＞ Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)
		現代科学技術論 ※
兼任	教授	山田 外史 (69) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		日本産業史 ※
兼任	教授	山田 良穂 (68) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※
兼任	教授	安達 正明 (67) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 教養としての物理 現代科学技術論 ※
兼任	教授	木村 春彦 (67) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼任	教授	川端 信義 (66) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		現代科学技術論 ※
兼任	教授	田村 博志 (65) ＜平成31年4月＞ 理学博士
		教養としての数学 統計学 現代科学技術論 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田村 博志 (64) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		現代科学技術論 ※
兼任	教授	岩田 佳雄 (65) ＜平成31年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※
兼任	講師	岩田 佳雄 (64) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		日本産業史 ※
兼任	教授	新田 雅道 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	教授	新田 雅道 (59) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	教授	富澤 淳 (59) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		日本産業史 ※
兼任	教授	上田 芳弘 (60) ＜令和3年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼任	准教授	石若 裕子 (51) ＜令和3年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 情報処理応用A
兼任	准教授	足津 正利 (47) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田村 博志 (64) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		現代科学技術論 ※
兼任	教授	岩田 佳雄 (64) ＜平成31年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※
兼任	講師	岩田 佳雄 (64) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		日本産業史 ※
兼任	教授	新田 雅道 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	教授	新田 雅道 (59) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	教授	富澤 淳 (59) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		日本産業史 ※
兼任	教授	上田 芳弘 (58) ＜令和3年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼任	准教授	石若 裕子 (48) ＜令和3年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 情報処理応用A
兼任	准教授	足津 正利 (47) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田村 博志 (65) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		現代科学技術論 ※
兼任	教授	岩田 佳雄 (65) ＜平成31年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※
兼任	講師	岩田 佳雄 (65) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		日本産業史 ※
兼任	教授	新田 雅道 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	教授	新田 雅道 (60) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	教授	富澤 淳 (60) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		日本産業史 ※
兼任	教授	上田 芳弘 (59) ＜令和3年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼任	准教授	石若 裕子 (49) ＜令和3年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 情報処理応用A
兼任	准教授	足津 正利 (48) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	梶原 祐輔 (32) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 情報処理応用 A
兼任	教授	北岡 和代 (64) ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	教授	中島 素子 (65) ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		健康と体の科学 ※
兼任	教授	松井 優子 (52) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	教授	徳田 真由美 (52) ＜平成30年4月＞ 博士（看護学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	佐藤 大介 (38) ＜平成30年4月＞ 博士（看護学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	教授	中山 謙二 (72) ＜平成31年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 統計学
兼任	講師	中山 謙二 (71) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		健康と体の科学 ※
兼任	教授	井関 尚一 (66) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		アカデミック・スキルズ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	梶原 祐輔 (32) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 情報処理応用 A
兼任	教授	北岡 和代 (64) ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	教授	中島 素子 (65) ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		健康と体の科学 ※
兼任	教授	松井 優子 (52) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	教授	徳田 真由美 (52) ＜平成30年4月＞ 博士（看護学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	佐藤 大介 (38) ＜平成30年4月＞ 博士（看護学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	教授	中山 謙二 (71) ＜平成31年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 統計学
兼任	講師	中山 謙二 (71) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		健康と体の科学 ※
兼任	教授	井関 尚一 (66) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		アカデミック・スキルズ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	梶原 祐輔 (33) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎 情報処理応用 A
兼任	教授	北岡 和代 (65) ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	教授	中島 素子 (66) ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		健康と体の科学 ※
兼任	教授	松井 優子 (53) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	教授	徳田 真由美 (53) ＜平成30年4月＞ 博士（看護学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	佐藤 大介 (39) ＜平成30年4月＞ 博士（看護学）
		アカデミック・スキルズ
兼任	教授	中山 謙二 (72) ＜平成31年4月＞ 工学博士
		アカデミック・スキルズ 統計学
兼任	講師	中山 謙二 (72) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		健康と体の科学 ※
兼任	教授	井関 尚一 (67) ＜平成30年4月＞ 医学博士
		アカデミック・スキルズ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	八賀 正司 (64) ＜平成30年4月＞ 学術博士
		アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	李 鍾昊 (44) ＜平成30年4月＞ 博士（学術）
		教養としての物理
兼任	准教授	辻村 真一 (39) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理応用B
兼任	講師	井澤 純子 (48) ＜平成30年4月＞ 博士（情報科学）
		情報処理基礎 教養としての数学
兼任	講師	南保 英孝 (46) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎
兼任	講師	三浦 要 (59) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		哲学 クリティカルシンキング
兼任	講師	宇根 義己 (38) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		人文地理学 地理情報学概説
兼任	講師	碓 陽子 (41) ＜平成30年4月＞ 博士（学術）
		医療と文化
兼任	講師	溝部 明男 (68) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		社会学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	八賀 正司 (64) ＜平成30年4月＞ 学術博士
		アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	李 鍾昊 (44) ＜平成30年4月＞ 博士（学術）
		教養としての物理
兼任	准教授	藤田 一寿 (39) ＜平成30年7月＞ 博士（工学）
		情報処理応用B
兼任	講師	井澤 純子 (48) ＜平成30年4月＞ 博士（情報科学）
		情報処理基礎 教養としての数学
兼任	講師	南保 英孝 (46) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎
兼任	講師	三浦 要 (59) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		哲学 クリティカルシンキング
兼任	講師	宇根 義己 (38) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		人文地理学 地理情報学概説
兼任	講師	
兼任	講師	溝部 明男 (68) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		社会学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	八賀 正司 (65) ＜平成30年4月＞ 学術博士
		アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	李 鍾昊 (45) ＜平成30年4月＞ 博士（学術）
		教養としての物理
兼任	准教授	藤田 一寿 (40) ＜平成30年7月＞ 博士（工学）
		情報処理応用B
兼任	講師	井澤 純子 (49) ＜平成30年4月＞ 博士（情報科学）
		情報処理基礎 教養としての数学
兼任	講師	南保 英孝 (47) ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		情報処理基礎
兼任	講師	三浦 要 (60) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		哲学 クリティカルシンキング
兼任	講師	宇根 義己 (39) ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		人文地理学 地理情報学概説
兼任	講師	
兼任	講師	溝部 明男 (69) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		社会学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	木村 高宏 (43) ＜平成30年4月＞ 博士（政策科学）
		公共政策論
兼任	講師	井上 英夫 (70) ＜平成30年4月＞ 法学修士
		社会福祉論
兼任	講師	山崎 友也 (45) ＜平成30年4月＞ 修士（法学）
		日本国憲法
兼任	講師	榊原 千秋 (56) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		健康と体の科学 ※
兼任	講師	松下 裕子 (58) ＜平成30年4月＞ 体育学士
		スポーツ演習（バレーボール） スポーツ演習（硬式テニス） スポーツ演習（フットサル） スポーツ演習（卓球） スポーツ演習（バドミントン）
兼任	講師	川島 嘉美 (49) ＜令和2年4月＞ 修士（文学）
		英語 I a
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (55) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		英語 I a
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (49) ＜平成30年4月＞ B. A. (Psychology) (米国)
		英語 I b 英語 II b English presentation I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	木村 高宏 (43) ＜平成30年4月＞ 博士（政策科学）
		公共政策論
兼任	講師	井上 英夫 (70) ＜平成30年4月＞ 法学修士
		社会福祉論
兼任	講師	山崎 友也 (45) ＜平成30年4月＞ 修士（法学）
		日本国憲法
兼任	講師	榊原 千秋 (56) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		健康と体の科学 ※
兼任	講師	松下 裕子 (58) ＜平成30年4月＞ 体育学士
		スポーツ演習（バレーボール） スポーツ演習（硬式テニス） スポーツ演習（フットサル） スポーツ演習（卓球） スポーツ演習（バドミントン）
兼任	講師	川島 嘉美 (49) ＜令和2年4月＞ 修士（文学）
		英語 I a
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (55) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		英語 I a
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (49) ＜平成30年4月＞ B. A. (Psychology) (米国)
		英語 I b 英語 II b English presentation I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	木村 高宏 (44) ＜平成30年4月＞ 博士（政策科学）
		公共政策論
兼任	講師	井上 英夫 (71) ＜平成30年4月＞ 法学修士
		社会福祉論
兼任	講師	山崎 友也 (46) ＜平成30年4月＞ 修士（法学）
		日本国憲法
兼任	講師	榊原 千秋 (57) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）
		健康と体の科学 ※
兼任	講師	松下 裕子 (59) ＜平成30年4月＞ 体育学士
		スポーツ演習（バレーボール） スポーツ演習（硬式テニス） スポーツ演習（フットサル） スポーツ演習（卓球） スポーツ演習（バドミントン）
兼任	講師	川島 嘉美 (50) ＜令和2年4月＞ 修士（文学）
		英語 I a
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (56) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		英語 I a
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (50) ＜平成30年4月＞ B. A. (Psychology) (米国)
		英語 I b 英語 II b English presentation I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (43) ＜平成30年4月＞ PhD Cultural Anthropology (米国)
		英語 I b Tourism English II
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (42) ＜平成30年4月＞ PhD in International Relations (英国)
		英語 II b
兼任	講師	島内 俊彦 (48) ＜平成30年4月＞ 学士（外国研究）
		英語 III 実用英語 I 実用英語 II 実用英語 III 実用英語 IV
兼任	講師	岩津 航 (42) ＜平成30年4月＞ Doctorat (Littérature comparée) (仏国)
		フランス語 I フランス語 II 比較文学論 ※
兼任	講師	名執 純子 (49) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	講師	田邊 文彦 (64) ＜令和2年4月＞ 修士（経済学）
		マーケティング調査論
兼任	講師	小野田 金司 (60) ＜平成30年4月＞ 経済学修士
		インバウンド観光論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (43) ＜平成30年4月＞ PhD Cultural Anthropology (米国)
		英語 I b Tourism English II
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (42) ＜平成30年4月＞ PhD in International Relations (英国)
		英語 II b
兼任	講師	島内 俊彦 (48) ＜平成30年4月＞ 学士（外国研究）
		英語 III 実用英語 I 実用英語 II 実用英語 III 実用英語 IV
兼任	講師	岩津 航 (42) ＜平成30年4月＞ Doctorat (Littérature comparée) (仏国)
		フランス語 I フランス語 II 比較文学論 ※
兼任	講師	名執 純子 (49) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	講師	田邊 文彦 (64) ＜令和2年4月＞ 修士（経済学）
		マーケティング調査論
兼任	講師	小野田 金司 (60) ＜平成30年4月＞ 経済学修士
		インバウンド観光論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (43) ＜平成30年4月＞ PhD in International Relations (英国)
		英語 I b 英語 II b English expression II a English expression II b
兼任	講師	島内 俊彦 (49) ＜平成30年4月＞ 学士（外国研究）
		英語 III 実用英語 I 実用英語 II 実用英語 III 実用英語 IV
兼任	講師	岩津 航 (43) ＜平成30年4月＞ Doctorat (Littérature comparée) (仏国)
		フランス語 I フランス語 II 比較文学論 ※
兼任	講師	大竹口 麻里 (55) ＜平成31年4月＞ 修士（フランス語教授法）
		フランス語 I フランス語 II
兼任	講師	名執 純子 (50) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	講師	田邊 文彦 (65) ＜令和2年4月＞ 修士（経済学）
		マーケティング調査論
兼任	講師	小野田 金司 (61) ＜平成30年4月＞ 経済学修士
		インバウンド観光論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Pornpisanu Promsivapallop (44) ＜令和2年4月＞ Ph.D. in Hospitality Management (英国)
		ホスピタリティマネジメント ※
兼任	講師	古泉 達矢 (39) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）
		グローバルヒストリー ※ アジア現代史概論
兼任	講師	上田 望 (54) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		比較文学論 ※
兼任	講師	鈴木 暁世 (42) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		比較文学論 ※
兼任	講師	結城 正美 (50) ＜平成31年4月＞ Ph.D in English (米国)
		English comprehension I English expression I
兼任	講師	LYNCH Gavin Leigh (42) ＜平成31年4月＞ Master of Education (英国)
		English expression II a English expression II b
兼任	講師	遠藤 英樹 (57) ＜平成31年4月＞
		観光社会学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Pornpisanu Promsivapallop (44) ＜令和2年4月＞ Ph.D. in Hospitality Management (英国)
		ホスピタリティマネジメント ※
兼任	講師	古泉 達矢 (39) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）
		グローバルヒストリー ※ アジア現代史概論
兼任	講師	上田 望 (54) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		比較文学論 ※
兼任	講師	鈴木 暁世 (42) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		比較文学論 ※
兼任	講師	結城 正美 (50) ＜平成31年4月＞ Ph.D in English (米国)
		English comprehension I English expression I
兼任	講師	LYNCH Gavin Leigh (42) ＜平成31年4月＞ Master of Education (英国)
		English expression II a English expression II b
兼任	講師	遠藤 英樹 (57) ＜平成31年4月＞
		観光社会学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Pornpisanu Promsivapallop (45) ＜令和2年4月＞ Ph.D. in Hospitality Management (英国)
		ホスピタリティマネジメント ※
兼任	講師	古泉 達矢 (40) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）
		グローバルヒストリー ※ アジア現代史概論
兼任	講師	上田 望 (55) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		比較文学論 ※
兼任	講師	鈴木 暁世 (43) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		比較文学論 ※
兼任	講師	結城 正美 (51) ＜平成31年4月＞ Ph.D in English (米国)
		English comprehension I English expression I
兼任	講師	
兼任	講師	遠藤 英樹 (58) ＜平成31年4月＞
		観光社会学

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実（実））、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・共通教育科目「医療と文化」の担当教員を、兼任教員から兼担教員である横川善正教授に変更。国際文化交流学部専任教員として平成30年度第1回AC教員審査に提出（平成30年4月教員審査済）。

【令和元年度】

- ・共通教育科目「英語Ia」の担当教員として、専任教員の横川善正教授を追加（平成31年1月教員審査済）
- ・共通教育科目「英語Ib」の担当教員を、兼任教員のERTL JOHN JOSEF講師から兼任教員のFOX SENAN JAMES講師に変更
- ・共通教育科目「English comprehension I」の担当教員として、専任教員の横川善正教授を追加（平成31年1月教員審査済）
- ・専門科目「Tourism English II」の担当教員を、兼任教員のERTL JOHN JOSEF講師から専任教員の塩谷 サルフィ マクスーダ准教授に変更
- ・専門科目「English expression IIa」「English expression IIb」の担当教員を、兼任教員のLYNCH Gavin Leigh講師から兼任教員のFOX SENAN JAMES講師に変更
- ・共通教育科目「フランス語 I」「フランス語 II」の担当教員を、兼任教員の岩津 航講師から兼任教員の太竹口 麻里講師に変更

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10	5
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
9	8	0	1	18	9	8	0	1	17
(8)	(7)	(0)	(1)	(16)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)
10	8	0	1	19	10	8	0	1	19
[1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、

完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員の うち、定年を延長し て採用する教員数
65	5	8
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{19}{18} = \boxed{105.55} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{5}{17} = \boxed{29.41} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計（D）					後任補充状況の集計（E）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合計（F）					後任補充状況の集計（G）		
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計（Ｄ）＋（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｅ）＋（Ｇ）							
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目		

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設置時 (29年8月)	・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	留意事項 ・理事長・学長のトップマネジメントのもとに、設置計画を確実に履行し、的確な大学運営を行っている。 ・教育研究活動水準の向上に向け、全学委員会及び学部教授会の両体制から取り組みを行うことを予定している。 (平成30年度) ・設置計画の的確な履行に向け、各種審議会や全学委員会を組織し、理事長・学長のトップマネジメントのもとに大学を組織的に運営するための体制を構築した。 ・授業評価アンケートに基づく授業改善活動や学部内でのプロジェクト型研究の始動など、教育研究活動の水準向上のための活動を実施している。 ・中期計画及び年度計画に基づき、一つひとつの事項を計画的に推進するとともに、定期的な進捗管理を行う体制を構築した。 (令和元年度)	履行中 ・5月に6年間の計画である中期計画(6年間の計画)を策定し、その後、年度計画を策定する。 ・年度計画を踏まえ、全学委員会である「教育企画委員会」、「研究・地域連携委員会」が具体的な活動計画を策定し、個々の活動は学部教授会のもとに行っていく。(平成30年度) ・大学の各組織が行う活動が設置の趣旨・目的を踏まえた取組となっているのかを、理事長・学長のトップマネジメントもとに行う進捗管理の中で確認し、計画が適切に履行されているのかを検証していく。 (令和元年度)
設置時 (29年8月)	・「インターンシップ」及び「地域実習」の教育効果を高めるためには担当教員が十分に関わることが重要だが、一方で、研究に従事する時間の確保が困難になる等の弊害も考えられるため、関係する委員会、各センター及び各教員の役割分担や責任の所在を明確に設定する等により、担当教員の研究時間の確保に努めること。	留意事項 ・開学から1ヵ月を迎え、各センターや全学委員会の活動が開始されている。「インターンシップ」や「地域実習」に対する支援について、具体的な議論を行い、全学として支援する体制を構築していく。 ・担当教員の負担を軽減するため、テーマ設定や他の教員による支援体制などの詳細な検討を行う。 (平成30年度) ・地域連携センターやキャリアサポートセンター、事務局職員による支援により、担当教員をサポートする体制をとっている。 ・協力企業の制度を設け、既に280社以上の協力が得られている。これにより、インターンシップ先が広がり、担当教員の負担軽減にもつながっている。 (令和元年度)	履行中 ・「インターンシップ」及び「地域実習」は平成32年度より開講される科目であり、平成31年度に受入先との調整を行うことを計画している。 ・平成30年度においては、実習にあたって関係する組織・教員の役割や責任の明確化を行い、具体的な実施計画の検討に入る。 ・平成31年度には、担当教員ごとの具体的な業務内容を定め、この中で研究時間の確保についても十分に留意していく。 (平成30年度) ・地域連携センターやキャリアサポートセンター、事務局職員の支援のもと、過大な負担がかからないように配慮しつつ、適切に実施できるよう関係先と調整を行っていく。 (令和元年度)

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設置時 (29年8月)	・「インターンシップ」と「地域実習」の学修目的の違いが分かりづらいため、学生がこれらの科目の学修目的を正しく理解した上で、履修ができるよう十分に周知すること。	留意事項 ・入学時の学部オリエンテーションにおいて、それぞれの授業科目の学修目的や違いについて履修指導している。 ・今後も継続的に、学生への説明を行う機会を設け、学修目的を正しく理解できるよう努めていく。 (平成30年度) ・入学時の学部オリエンテーションに加え、2年進級時にもオリエンテーションを行い、分かりやすく履修指導を行っている。 (令和元年度)	履行済 ・学生と担当教員が行う定期的な面談や、進級時などにオリエンテーションを行うなど、きめ細かな学習支援を行うため、学生の声を聴き、学習指導に生かしていく。(平成30年度) ・引き続き、オリエンテーションや個別の面談を実施し、学生の声を聞いた履修指導を行っていく (令和元年度)
設置時 (29年8月)	・「観光社会学」については、観光学の基幹科目となることから、専門的知識のある教員を専任として確保できるよう努めること。	留意事項 ・本学部の基幹科目である「観光社会学」については、当該分野で著名な教授を非常勤講師として招くこととなっている。(30年度) ・「観光社会学」の担当となる非常勤講師と連絡をとり、適切に授業を開講する準備を行っている。 (令和元年度)	履行中 ・ディプロマポリシーに照らし、観光学に係る学修の到達度を把握・認識するとともに、より高い教育効果を得られるよう、できるだけ早い時期に専任教員を確保するよう努める。(30年度) ・引き続き、より高い教育効果を得られるよう、できるだけ早い時期に専任教員を確保するよう取組を進める。(令和元年度)
設置時 (29年8月)	・運動場及び体育館が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	留意事項 ・スポーツ演習科目においては、中央キャンパス近くの体育施設を利用するとともに、シャトルバスの運行により支障が生じないよう対応している。 ・小松市により、中央キャンパスの近傍に課外活動の拠点として利用できる建物が設置され、学生の活動を支える環境が高まっている。(平成30年度) ・シャトルバスの追加導入を行い、スポーツ演習だけではなく、課外活動においても利用できるよう運行表を組んでいる。 (令和元年度)	履行済 ・今後も、アンケート等により学生のニーズの把握に努め、地域社会との協力のもとに、教育環境の向上を図っていく。 (平成30年度) ・学生の動きを把握するとともにそのニーズを捉え、教育活動や課外活動等を行いやすくなるよう環境の改善に引き続き取り組んでいく。(令和元年度)

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設置時 (29年8月)	・完成年度前に、定年 規程に定める退職年齢 を超える専任教員数の 割合が比較的高いこと から、定年規程の趣旨 を踏まえた適切な運用 に努めるとともに、教 員組織編制の将来構想 について着実に実施す ること。	留意事項 ・中長期的な観点から、教 員採用・育成のための計画 を策定し、それに沿って教 員人事の適正な運用を行う 予定である。 (平成30年度) ・教員組織の在り方につい て検討を行っている。ま た、今後の教員採用にあ たっての全学的な基準づく りを行っている。 (令和元年度)	・今年度中に、完成年度ま での教員採用・育成計画を 策定に着手する。策定後 は、計画のもとに、教員の 公募・育成等を行うとと もに、適宜AC教員審査に 諮っていく。 (平成30年度) ・教員採用・育成のための 計画づくりを推進すると ともに、学部学科間のバラ ンスや経営状況を踏まえた全 学的な視点での検討も行 う。 (令和元年度)

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は
寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。) と、それに対する履行状況等について、
具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**
全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。
その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際文化交流学部 国際文化交流学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

公立小松大学FD・SD推進委員会規則を制定（30年4月）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成31年3月 開催

c 委員会の審議事項等

FD・SDの推進計画の策定、実施に関する事

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 財務システム研修会
- ・ 公立大学の役割を学ぶ研修会
- ・ 入試の全国的な動向や高校生の傾向を学ぶ研修会
- ・ 労働安全衛生に係る研修会
- ・ 競争的研究資金獲得に向けた研修会
- ・ 研究倫理研修会（e-ラーニング）
- ・ 新任事務職員のための研修会

b 実施方法

- ・ 開学後早急にFD・SD活動を開始するため、理事長・学長の指導のもと、各委員会等が研修会を企画した。全学における実施結果は、公立小松大学FD・SD推進委員会がとりまとめ総括した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 財務システム研修会（30年4月） 教員・事務職員対象 全員受講
- ・ 公立大学の役割を学ぶ研修会（30年7月） 教員・事務職員対象 78人参加
- ・ 入試の全国的な動向や高校生の傾向を学ぶ研修会（30年8月） 教員・入試関連事務職員対象 62人参加
- ・ 労働安全衛生に係る研修会（31年2月） 教員・事務職員対象 66人参加
- ・ 競争的研究資金獲得に向けた研修会（31年3月） 教員・研究関連事務職員対象 32人参加
- ・ 研究倫理研修会（e-ラーニング） 教員対象 3月までに全教員の受講完了を確認
- ・ 新任事務職員のための研修会（30年4月～10月） 新任事務職員対象 11人参加

- ・ 授業評価アンケートの結果を受け、学長から学部長・学科長に対し指導を指示
学科ごとに対応を実施（３０年１２月）
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・ 授業評価アンケートに基づき、学部学科単位で改善を実施
 - ・ プレゼンテーション能力やアクティブラーニング等の研修実施に向けた準備を実施中

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期・後期のそれぞれの終了時に授業科目ごとに実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業評価アンケートの結果を受け、学長から学部長・学科長に対し指導を指示
学科ごとに対応を実施（３０年１２月）
- ・ アンケート結果を受けての大学としての対応について、学長メッセージとして掲示板に掲示し周知している
（前期・後期終了後）

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

地方独立行政法人法の規定も踏まえ、自己点検・評価委員会を設置し、理事長・学長のトップマネジメントによる法人・大学の運営が行われる仕組みを構築した。大学の各組織は、年に2度理事長・学長によるヒアリングを受けることとなっており、目標や方針の確認及び進捗状況の点検確認を行っている。

職員の資質や意識の更なる向上を図りつつ、設置の趣旨・目的に達成に向け組織全体が一丸となって取り組んでいく環境を引き続き整えていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和元年6月 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和元年6月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・学内で検討を行っている。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ ☒ 有 ・ ☐ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （令和元年6月30日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。